

4 土砂災害関係

(1) 急傾斜地崩壊危険区域・急傾斜地崩壊危険箇所

ア 急傾斜地崩壊危険区域指定箇所

整理番号	危険区域名称	郡市	町村名	指定年月日				告示 番号	第次 指定	備考
				元号	年	月	日			
1	中山1号	彦根市	中山町字中村 816 外 8	昭和	44	12	22	454	2	
2	中山2号	彦根市	中山町字井戸谷 253 外 4	昭和	44	12	22	454	2	
3	芹中	彦根市	芹中町 42 外	昭和	60	3	30	200	30	
4	下岡部町	彦根市	下岡部町字尾本 47-1 外	平成	1	4	3	163	36	
5	善谷	彦根市	善谷町字下街道 588 外	平成	2	2	2	33	38	
6	石寺	彦根市	石寺町字山王 175-6 外	平成	2	2	2	33	38	
7	甲田	彦根市	甲田町字君ヶ畑 85 外	平成	3	4	5	181	42	
8	里根	彦根市	里根町字若林 175-4 外	平成	3	4	5	181	42	
9	中山3号	彦根市	中山町字井戸谷 236-1 外	平成	3	4	5	181	42	
10	莊厳寺	彦根市	莊厳寺町字西ノ海道 147 外	平成	3	12	27	622	43	
11	山崎山	彦根市	稲里町字桜木 35 外	平成	5	3	31	159	46	
12	笹尾	彦根市	笹尾町字奥ノ谷 257 外	平成	7	2	13	48		
13	仏生寺	彦根市	仏生寺町	平成	15	7	23	403		
14	笹尾2号	彦根市	笹尾町	平成	15	9	12	487		
15	鳥居本（高根）	彦根市	鳥居本町	平成	21	1	30	40		
16	東沼波	彦根市	東沼波町	平成	21	4	10	309		
17	稲里	彦根市	稲里町	平成	28	1	27	39		
18	宮田	彦根市	宮田町	平成	31	1	29	51		
19	正法寺	彦根市	正法寺町	令和	4	7	29	329		

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

イ 急傾斜地崩壊危険箇所（自然斜面）

箇所名	位置				地形			人家戸数	公共施設
	郡市	町村	大字	小字	斜面 (°)	延長 (m)	高さ (m)		
武奈	彦根市	武奈町	武奈		35	190	18	12	市道
男鬼	彦根市	男鬼町	男鬼		38	230	35	10	市道
善谷	彦根市	善谷町	善谷		35	160	15	11	市道
中山①	彦根市	中山町	中山	摺針	38	28	20	16	市道
中山②	彦根市	中山町	中山	摺針	45	250	20	5	市道
中山③	彦根市	中山町	中山	中山	46	190	20	11	市道
中山④	彦根市	中山町	中山	中山	31	80	30	8	市道
中山⑤	彦根市	中山町	中山	中山	33	100	20	5	市道
荘厳寺①	彦根市	荘厳寺町	荘厳寺		41	150	20	5	
荘厳寺②	彦根市	荘厳寺町	荘厳寺		38	178	20	5	市道
笹尾	彦根市	笹尾町	笹尾		45	90	18	5	市道
宮田①	彦根市	宮田町	宮田	物生山	53	210	20	13	市道
宮田②	彦根市	宮田町	宮田	西山	45	140	14	6	市道
里根	彦根市	里根町	里根	天寧寺	40	90	11	7	市道
地蔵	彦根市	地蔵町	地蔵	竹ノ内	45	85	30	23	県道
芹川	彦根市	芹川町	芹川	天王山	30	110	8	9	県道
芹中	彦根市	芹中町	芹中	観音山	48	150	17	19	市道
新	彦根市	新町	新	毘沙門天	38	220	10	8	
和田	彦根市	和田町	和田	小鳥原	30	130	18	18	市道
平田	彦根市	平田町	平田	和田	50	25	10	0	県道
山ノ脇	彦根市	山ノ脇町	山ノ脇	山ノ越	40	80	14	1	市道
清崎	彦根市	清崎町	清崎	西清崎	37	250	31	29	市道
稲里①	彦根市	稲里町	稲里	延寿寺	37	210	22	8	市道
稲里②	彦根市	稲里町	稲里	山崎	31	370	18	19	市道
石寺①	彦根市	石寺町	石寺	上石寺	30	235	22	26	市道
石寺②	彦根市	石寺町	石寺	山脇	30	280	20	17	市道
甲田	彦根市	甲田町		君ヶ畑	34	130	25	12	
下岡部	彦根市	下岡部町		尾本	30	130	15	8	

(2) 土石流危険渓流

河川名	渓流名	区域			砂防指定地の告示日・番号	面積 (ha)	備考
		郡市	町名	字			
寒谷川	上矢倉川	彦根市	中山町 莊厳寺町	シラ 小坂	2条昭和39年3月18日	2.70	地すべりなし
					建設省告示 第595号		保安林有り
矢倉川	寒谷川	彦根市	仏生寺町	寒谷・匿谷	2条昭和39年3月18日	1.06	地すべりなし
					建設省告示 第595号		保安林有り
矢倉川	小野川	彦根市	小野町	清水谷・古宿	2条昭和39年3月18日	1.16	地すべりなし
					建設省告示 第595号		保安林有り
芹川	早川	彦根市	野田山町	小谷・下桜井	2条昭和39年3月18日	2.79	地すべりなし
					建設省告示 第595号		保安林なし
上矢倉川	中山川	彦根市	中山町 善谷町	村上 山の腰	2条昭和41年6月4日	1.43	地すべりなし
					建設省告示 第1758号		保安林なし
寒谷川	莊厳寺川	彦根市	莊厳寺町	滝元・中溝	2条昭和41年6月4日	1.17	地すべりなし
					建設省告示 第1758号		保安林なし
芹川	不知谷川	彦根市	原町 正法寺町	東山 池ノ内	2条昭和43年3月30日	71.43	地すべりなし
					建設省告示 第1028号		保安林なし
寒谷川	上矢倉川	彦根市	中山町	秩父・シラ	2条昭和48年2月2日	1.82	地すべりなし
					建設省告示 第223号		保安林有り
早川	岩谷川	彦根市	野田山町	岩谷・桃木谷	2条昭和53年1月21日	5.93	地すべりなし
	桃木谷川				建設省告示 第45号		保安林なし
水谷川	清蔵谷川	彦根市	笹尾町	清蔵谷	2条昭和59年1月30日	0.63	地すべりなし
					建設省告示 第96号		保安林なし

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

寒谷川	矢倉川	彦根市	仏生寺町	松葉	2 条昭和 59 年 1 月 30 日	0.55	地すべりなし
					建設省告示 第 96 号		保安林なし
寒谷川	矢倉川 斧磨川	彦根市	仏生寺町	松葉・斧磨	2 条昭和 60 年 7 月 23 日	2.29	地すべりなし
					建設省告示 第 1044 号		保安林なし
寒谷川	荘厳寺川	彦根市	善谷町	荒谷	2 条平成元年 1 月 21 日	0.44	地すべりなし
					建設省告示 第 75 号		保安林なし
寒谷川	矢倉川	彦根市	仏生寺町	斧磨・是道	2 条平成元年 5 月 29 日	1.46	地すべりなし
					建設省告示 第 1127 号		保安林有り
上矢倉川	中山川	彦根市	中山町	池ノ谷・村上	2 条平成 9 年 7 月 14 日	1.46	地すべりなし
					国交省告示 第 1441 号		保安林なし
寒谷川	荘厳寺川	彦根市	荘厳寺町	奥ノ谷・向羅	2 条平成 10 年 3 月 23 日	1.95	地すべりなし
					国交省告示 第 770 号		保安林有り
矢倉川	矢倉川	彦根市	荘厳寺町 仏生寺町	半清寺・西領・ 匿谷・是道	2 条令和 2 年 6 月 4 日	0.53	地すべりなし
					国交省告示第 639 号		保安林有り

(3) 山地災害危険地区

ア 山腹崩壊危険地区

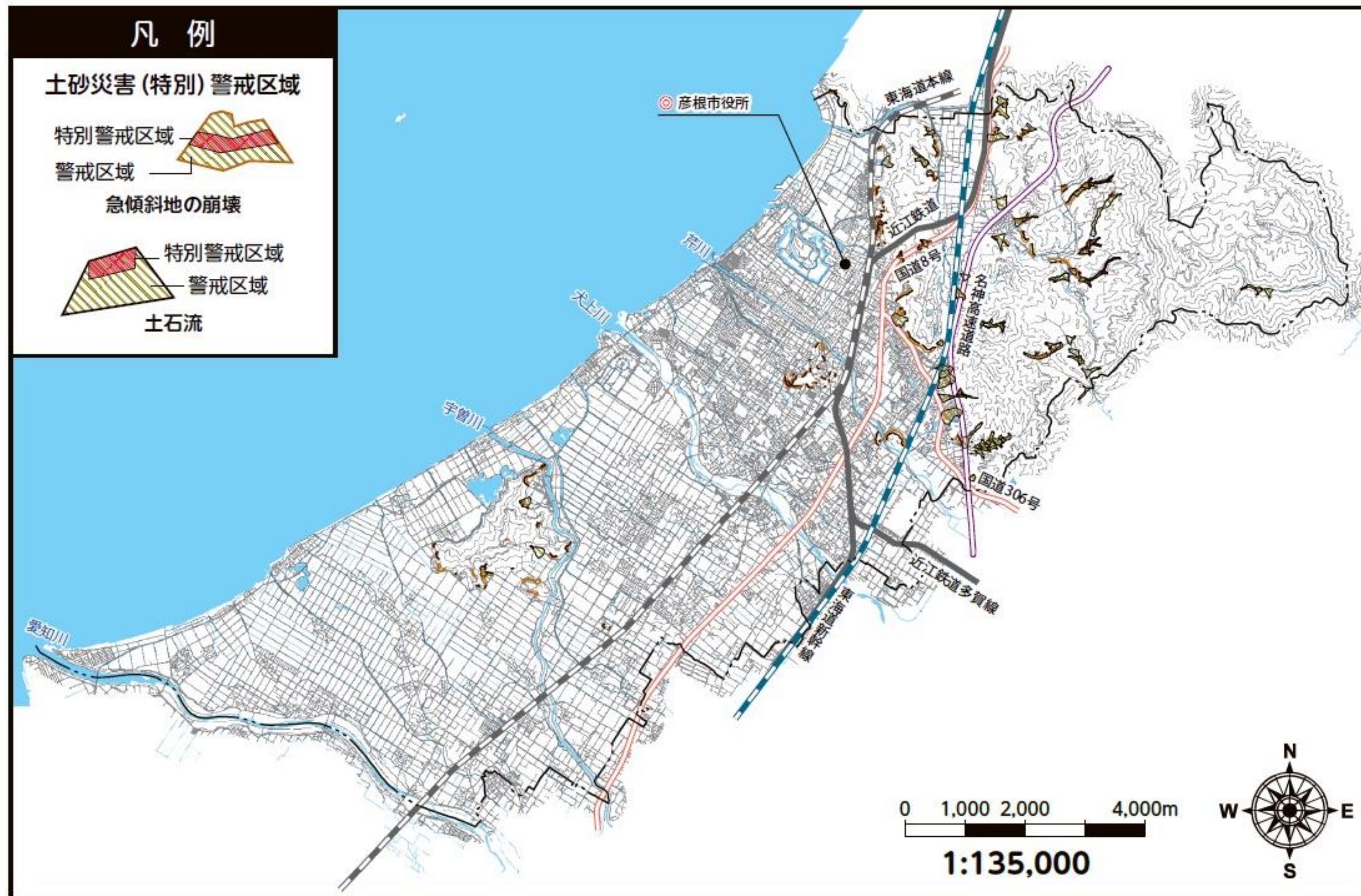
地区番号	地区名	所在地	保全対象		
202-1	石ヶ崎①	彦根市古沢町石ヶ崎	人家	3	公共施設 道路
202-2	石ヶ崎姫袋崎	彦根市古沢町石ヶ崎・姫袋			
202-3	石ヶ崎②	彦根市古沢町	人家	65	公共施設
202-4	若林	彦根市里根町若林	人家	25	
202-7	善谷 長後谷	彦根市野田山町善谷、長後谷	人家	17	道路
202-8	南谷	彦根市日夏町南谷	人家	12	公共施設 道路
202-10	向谷	彦根市鳥居本町向谷			
202-11	笹ヶ谷南ヶ谷	彦根市鳥居本町笹ヶ谷、南ヶ谷			道路
202-12	鳥居本	彦根市鳥居本町	人家	10	道路
202-13	奥ノ坊	彦根市甲田町奥ノ坊	人家	31	
202-14	谷西山	彦根市宮田町	人家	8	
202-15	佐和山	彦根市佐和山町佐和山	人家	11	
202-17	谷の奥	彦根市笹尾町谷の奥	人家	11	
202-19	ショム谷	彦根市莊厳寺町ショム谷	人家	7	
202-20	谷荒谷	彦根市善谷町谷、荒谷	人家	8	
202-22	村中 村下	彦根市中山町村中、村下	人家	16	道路
202-23	井戸谷①	彦根市中山町井戸谷	人家	15	
202-28	井戸谷②	彦根市中山町井戸谷	人家	9	道路
202-33	奥畑	彦根市男鬼町奥畑	人家	15	道路
202-34	ケンノ上	彦根市男鬼町ケンノ上	人家	3	道路
202-37	南ノ谷	彦根市清崎町南之谷	人家	2	
202-38	大手谷	彦根市稲里町大手谷	人家	18	
202-39	本堂山	彦根市稲里町本堂山	人家	5	
202-40	山王山(稲里)	彦根市稲里町山王山	人家	10	
202-41	桜木	彦根市稲里町桜木	人家	8	
202-42	山王山(下岡部)	彦根市下岡部町山王山	人家	34	
202-43	弁天	彦根市宮田町	人家	55	
202-44	佐和山②	彦根市古沢町石ヶ崎	人家	90	公共施設
202-45	石ヶ崎姫袋崎②	彦根市古沢町石ヶ崎・姫袋	人家	6	道路
202-46	古沢①	彦根市古沢町石ヶ崎・姫袋	人家	9	
202-47	若林②	彦根市里根町若林	人家	20	
202-48	仏生寺	彦根市仏生寺	人家	11	道路
202-49	大谷②	彦根市正法寺町大谷			道路
202-50	日夏	彦根市日夏町			
202-51	南谷②	彦根市日夏町南谷	人家	6	道路
202-52	清崎	彦根市清崎町	人家	6	
202-53	稲里①	彦根市稲里町山王山	人家	6	
202-54	稲里②	彦根市稲里町山王山			公共施設

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

イ 崩壊土砂流出危険地区

地区番号	地区名	所在地	保全対象		
202-1	大谷	彦根市正法寺町大谷	人家	59	道路
202-2	滝ヶ奥	彦根市野田山町滝ヶ奥	人家	80	道路
202-4	清水谷	彦根市小野町清水谷	人家	51	道路
202-5	泉水谷	彦根市小野町泉水谷	人家	3	道路
202-6	東山	彦根市原町東山	人家	8	道路
202-7	奥の谷	彦根市笹尾町奥の谷			道路
202-8	ショムニダニ	彦根市莊厳寺町莊厳寺町ショム谷	人家	21	
202-9	荒谷	彦根市善谷町荒谷	人家	16	
202-10	池ノ谷	彦根市中山町池ノ谷	人家	22	道路
202-11	アジロ谷	彦根市中山町アジロ谷			公共施設
202-12	谷の奥	彦根市笹尾町谷の奥	人家	10	
202-14	流し②	彦根市仏生寺町流し	人家	15	道路
202-16	堂立	彦根市武奈町堂立			道路

(4) 土砂災害の要注意地区



(5) 土砂災害警戒区域等

ア 土砂災害警戒区域

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
鳥居本谷支流 (1202007)	鳥居本町	土石流	平成17年3月30日	鳥居本谷支流 (1202007)
鳥居本谷支流 (1202064)	鳥居本町	土石流	平成17年3月30日	鳥居本谷支流 (1202064)
野田山(3)(I-5729)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年3月30日	野田山(3)(I-5729)
鳥居本(1)(I-5703)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成17年3月30日	鳥居本(1)(I-5703)
早川支流(2202031)	野田山町	土石流	平成17年3月30日	早川支流(2202031)
黒ヶ谷(1202018)	野田山町	土石流	平成17年3月30日	黒ヶ谷(1202018)
古沢(13)(I-5804)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	古沢(13)(I-5804)
鳥居本(6)(I-5805)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	鳥居本(6)(I-5805)
野田山(4)(I-5806)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	野田山(4)(I-5806)
野田山(5)(I-5807)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	野田山(5)(I-5807)
野田山(6)(II-5772)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	野田山(6)(II-5772)
荘厳寺(1)(I-5009)	荘厳寺町	急傾斜地の崩壊	平成18年3月30日	荘厳寺(1)(I-5009)
宮田(2)(I-5013)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成18年3月30日	宮田(2)(I-5013)
荘厳寺川支流 (1202012)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	荘厳寺川支流 (1202012)
荘厳寺川支流 (2202026)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	荘厳寺川支流 (2202026)
荘厳寺川支流 (2202027)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	荘厳寺川支流 (2202027)
矢倉谷支流 (1202001)	甲田町	土石流	平成18年3月30日	矢倉谷支流 (1202001)
荘厳寺川支流 (1202013)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	荘厳寺川支流 (1202013)
西山谷(2202021)	宮田町	土石流	平成18年3月30日	西山谷(2202021)
物生山谷(1202003)	宮田町	土石流	平成19年3月16日	物生山谷(1202003)
清崎(1)(I-5022)	清崎町 稲里町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	清崎(1)(I-5022)
稲里(2)(I-5024)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	稲里(2)(I-5024)
石寺(1)(I-5025)	石寺町 岡部町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	石寺(1)(I-5025)
下岡部(1)(I-5026)	下岡部町 稲里町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	下岡部(1)(I-5026)
清崎(2)(I-5734)	清崎町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第126号
稲里(4)(II-5709)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第126号
石寺(2)(II-5710)	石寺町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第126号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
下岡部(2)(Ⅱ-5769)	下岡部町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第126号
宮田(1)(Ⅰ-5012)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第126号
宮田(5)(Ⅲ-5705)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第126号
笹尾谷(1202015)	笹尾町	土石流	平成19年3月30日	滋賀県告示第201号
笹尾(1)(Ⅰ-5709)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月30日	滋賀県告示第201号
笹尾(2)(Ⅰ-5710)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月30日	滋賀県告示第201号
笹尾(3)(Ⅱ-5703)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月30日	滋賀県告示第201号
日吉谷(1202016)	正法寺町	土石流	平成19年8月1日	滋賀県告示第484号
正法寺(1)(Ⅰ-5711)	正法寺町	急傾斜地の崩壊	平成19年8月1日	滋賀県告示第484号
正法寺(2)(Ⅰ-5727)	正法寺町 地蔵町 大堀町	急傾斜地の崩壊	平成19年8月1日	滋賀県告示第484号
慶光院谷(1202065)	正法寺町	土石流	平成19年12月25日	滋賀県告示第667号
慶光院谷(2202028)	正法寺町	土石流	平成19年12月25日	滋賀県告示第667号
中山川支(1202009)	中山町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
ひがん谷(1202082)	中山町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
むかえや(1202083)	中山町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
矢倉川(1202084)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
矢倉川(1202085)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
ヨノギ谷(2202086)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
匿谷(2)(3202087)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
匿谷(1)(3202041)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
深谷(1202088)	日夏町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
延寿寺谷(1202019)	稲里町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
中山(3)(Ⅰ-5006)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
中山(4)(Ⅰ-5007)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
中山(5)(Ⅱ-5790)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
中山(6)(Ⅱ-5791)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
仏生寺(1)(Ⅰ-5707)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
仏生寺(2)(Ⅰ-5708)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
仏生寺(3)(Ⅱ-5702)	仏生寺町 莊厳寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
仏生寺(4)(Ⅱ-5792)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
日夏(1)(Ⅰ-5731)	日夏町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
日夏(2)(Ⅰ-5732)	日夏町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
石寺(4)(Ⅱ-5711)	石寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
稲里(3)(Ⅰ-5735)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
稲里(5)(Ⅱ-5793)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
清崎(3)(Ⅱ-5708)	清崎町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
抜ノ下谷(1202006)	里根町 幸町	土石流	平成20年2月29日	滋賀県告示第93号
里根(Ⅰ-5014)	里根町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月29日	滋賀県告示第93号
里根(2)(Ⅰ-5820)	里根町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月29日	滋賀県告示第93号
東谷(3202037)	小野町	土石流	平成20年7月23日	滋賀県告示第419号
山かど(2202059)	小野町	土石流	平成20年7月23日	滋賀県告示第419号
早川支流 (4)(3202059)	野田山町	土石流	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
早川支流 (5)(3202060)	野田山町	土石流	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
早川支流 (6)(3202061)	野田山町	土石流	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
早川支流 (7)(3203062)	野田山町	土石流	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(1)(Ⅰ-5016)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(2)(Ⅰ-5723)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(10)(Ⅰ-5796)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(4)(Ⅰ-5707)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(3)(Ⅰ-5724)	芹川町 元岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(11)(Ⅰ-5822)	芹川町 岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹中(Ⅰ-5017)	芹川町 芹中長 新町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
後三条(10) (Ⅲ-5720)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
後三条(11) (Ⅲ-5721)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
和田(Ⅰ-5019)	和田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
和田(Ⅰ-5824)	和田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
山之脇(1)(Ⅰ-5021)	山之脇町 岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
岡(10)(Ⅰ-5823)	岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
山之脇(2)(Ⅰ-5021)	山之脇町 平田町 和田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
平田(I-5020)	平田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
東沼波(I-5726)	東沼波町・大堀町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
百々谷(22022024)	鳥居本町	土石流	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
早川支流(12022017)	野田山町	土石流	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(3)(I-5705)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(4)(I-5706)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(5)(III-5701)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(8)(III-5771)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
古沢(4)(I-5718)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
古沢(15)(I-5769)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
後三条(I-5718)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
野田山 (10)(I-5730)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
小野川支流 (3202034)	宮田町	土石流	平成22年3月5日	滋賀県告示第142号
小野川支流(320289)	宮田町	土石流	平成22年3月5日	滋賀県告示第142号
甲田(I-5702)	甲田町	急傾斜地の崩壊	平成22年3月26日	滋賀県告示第216号
芹川支流(2202029)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
芹川支流(2202030)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
芹川支流(3202057)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
中山川支流 (1202010)	中山町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
中山川支流 (1202090)	中山町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
小野川支流 (2202080)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202092)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202093)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202094)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202095)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202096)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
水谷川支流 (3443162)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
水谷川支流 (3202048)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
水谷川支流 (3202049)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
水谷川支流 (3202050)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
水谷川支流 (3202051)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
清蔵谷川 (3202052)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
荒神山谷 (3202063)	清崎町	土石流	平成30年2月7日	滋賀県告示第34号
早川支流 (3202097)	野田山	土石流	平成30年2月7日	滋賀県告示第34号
矢倉川 (1202091)	仏生寺	土石流	平成30年3月28日	滋賀県告示第132号
磯① (I-6731)	彦根市松原町 米原市磯	急傾斜地の崩壊	平成30年3月28日	滋賀県告示第133号
矢倉川支流 (1202002)	甲田町	土石流	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
中山 (1) (I-5004)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
中山 (2) (I-5005)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
甲田 (2) (I-5701)	甲田町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (17) (I-5802)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (18) (I-5803)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
中山 (7) (II-5701)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (9) (II-5705)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (10) (II-5706)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (14) (II-5768)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
宮田 (3) (III-5702)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
上矢倉川支流 (1202099)	中山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
矢倉川支流 (1202100)	甲田町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
矢倉川支流 (1202101)	松原町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
支小野川支流 (1202102)	佐和山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
荘厳寺川支流 (1202104)	善谷町 荘厳寺町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
水谷川支流 (1202105)	笹尾町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
水谷川支流 (1202106)	笹尾町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
不知谷川支流 (1202108)	原町 正法寺町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
不知谷川支流 (1202109)	正法寺町 原町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
芹川支流(1202110)	正法寺町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
早川支流(1202111)	野田山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
赤田川支流 (1202112)	野田山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
上矢倉川支流 (2202098)	中山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
矢倉川支流 (3202103)	鳥居本町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
稲里(1)(I-5023)	稲里町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
鳥居本②(I-5704)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
日夏(3)(I-5733)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
荘厳寺(2)(I-5832)	荘厳寺町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
善谷(1)(I-5833)	善谷町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
中山(8)(I-5834)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
中山(9)(I-5835)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
甲田(4)(I-5836)	甲田町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
鳥居本(9)(I-5837)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
松原(1)(I-5838)	松原町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(19)(I-5839)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(20)(I-5840)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(21)(I-5841)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(22)(I-5842)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(24)(I-5844)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
佐和山(1)(I-5845)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(25)(I-5848)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(26)(I-5849)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
里根(3)(I-5850)	里根町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
正法寺(3)(Ⅰ-5853)	正法寺町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
日夏(4)(Ⅰ-5854)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
日夏(5)(Ⅰ-5855)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
日夏(7)(Ⅰ-5857)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
清崎(4)(Ⅰ-5858)	清崎町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
稲里(6)(Ⅰ-5859)	稲里町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
賀田山(1)(Ⅰ-5888)	賀田山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
笹尾(4)(Ⅰ-5918)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(27)(Ⅰ-5920)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(23)(Ⅱ-5843)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
佐和山(2)(Ⅲ-5846)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
佐和山(3)(Ⅲ-5847)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
東沼波(2)(Ⅲ-5852)	東沼波町 大堀町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
日夏(6)(Ⅲ-5856)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
原(1202107)	原町	土石流	令和3年7月16日	滋賀県告示第426号
原(1)(Ⅲ-5851)	原町	急傾斜地の崩壊	令和3年7月16日	滋賀県告示第426号

(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止に関する法律(平成12年法律第57号)第6条第1項の規定による)

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

イ 土砂災害特別警戒区域

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
野田山(3)(Ⅰ-5729)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年3月30日	滋賀県告示第380号
鳥居本(1)(Ⅰ-5703)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成17年3月30日	滋賀県告示第382号
早川支流(2202031)	野田山町	土石流	平成17年3月30日	滋賀県告示第397号
黒ヶ谷(1202018)	野田山町	土石流	平成17年3月30日	滋賀県告示第398号
古沢(13)(Ⅰ-5804)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第689号
鳥居本(6)(Ⅰ-5805)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第690号
野田山(4)(Ⅰ-5806)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第691号
野田山(5)(Ⅰ-5807)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第692号
野田山(6)(Ⅱ-5772)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第693号
荘厳寺(1)(Ⅰ-5009)	荘厳寺町	急傾斜地の崩壊	平成18年3月30日	滋賀県告示第764号
宮田(2)(Ⅰ-5013)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成18年3月30日	滋賀県告示第765号
荘厳寺川支流 (1202012)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	滋賀県告示第754号
荘厳寺川支流 (2202026)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	滋賀県告示第755号
荘厳寺川支流 (2202027)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	滋賀県告示第756号
清崎(2)(Ⅰ-5734)	清崎町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
稲里(4)(Ⅱ-5709)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
石寺(2)(Ⅱ-5710)	石寺町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
下岡部(2) (Ⅱ-5769)	下岡部町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
宮田(1)(Ⅰ-5012)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
宮田(5)(Ⅲ-5705)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
笹尾谷 (1202015)	笹尾町	土石流	平成19年3月30日	滋賀県告示第207号
笹尾(1)(Ⅰ-5709)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月30日	滋賀県告示第207号
正法寺(1)(Ⅰ-5711)	正法寺町	急傾斜地の崩壊	平成19年8月1日	滋賀県告示第486号
正法寺(2)(Ⅰ-5727)	正法寺町 地蔵町 大堀町	急傾斜地の崩壊	平成19年8月1日	滋賀県告示第486号
慶光院谷(1202065)	正法寺町	土石流	平成19年12月25日	滋賀県告示第670号
中山川支(1202009)	中山町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第66号
矢倉川(1202084)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第66号
矢倉川(1202085)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第66号
匿谷(2)(3202087)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第66号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
匿谷 (1) (3202041)	仏生寺町	土石流	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
深谷 (1202088)	日夏町	土石流	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
延寿寺谷 (1202019)	稲里町	土石流	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
中山 (3) (I-5006)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
中山 (5) (II-5790)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
中山 (6) (II-5791)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
仏生寺 (2) (I-5708)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
仏生寺 (3) (II-5702)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
仏生寺 (4) (II-5792)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
日夏 (1) (I-5731)	日夏町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
日夏 (2) (I-5732)	日夏町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
石寺 (4) (II-5711)	石寺町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
稲里 (3) (I-5735)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
稲里 (5) (II-5793)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
清崎 (3) (II-5708)	清崎町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
里根 (I-5014)	里根町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 29 日	滋賀県告示第 96 号
里根 (2) (I-5820)	里根町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 29 日	滋賀県告示第 96 号
早川支流(4) (3202059)	野田山町	土石流	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
早川支流(5) (32032060)	野田山町	土石流	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
早川支流(7) (3203062)	野田山町	土石流	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(1) (I-5016)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(2) (I-5723)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(10) (I-5796)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(4) (I-5707)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(3) (I-5724)	芹川町 元岡町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(11) (I-5822)	芹川町 岡町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
後三条(10) (III-5720)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
後三条(11) (III-5721)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
和田 (I-5019)	和田町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
和田 (I-5824)	和田町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
山之脇(1)(I-5021)	山之脇町 岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
岡(10)(I-5823)	岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
山之脇(2)(I-5020)	山之脇町 平田町 和田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
平田(I-5020)	平田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
東沼波(I-5726)	東沼波町 大堀町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
百々谷(22022024)	鳥居本町	土石流	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
早川支流A(12022017)	野田山町	土石流	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(3)(I-5705)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(4)(I-5706)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(5)(Ⅲ-5701)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(8)(Ⅲ-5771)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
古沢(4)(I-5718)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
古沢(15)(I-5769)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
後三条(I-5718)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
野田山(10)(I-5730)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
甲田(I-5702)	甲田町	急傾斜地の崩壊	平成22年3月26日	滋賀県告示第216号
芹川支流(2202029)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
芹川支流(2202030)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
芹川支流(3202057)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
中山川支流(1202010)	中山町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
中山川支流(1202090)	中山町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
小野川支流(2202094)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第92号
清蔵谷川(3202052)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第478号
荒神山谷(3202063)	清崎町	土石流	平成30年2月7日	滋賀県告示第35号
早川支流(3202097)	野田山町	土石流	平成30年2月7日	滋賀県告示第35号
矢倉川(1202091)	仏生寺町	土石流	平成30年3月28日	滋賀県告示第134号
磯①(I-6731)	彦根市松原町 米原市磯	急傾斜地の崩壊	平成30年3月28日	滋賀県告示第135号
中山(1) (I-5004)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
甲田(2) (I-5701)	甲田町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
古沢 (17) (Ⅰ-5802)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
古沢 (18) (Ⅰ-5803)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
中山 (7) (Ⅱ-5701)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
古沢 (9) (Ⅱ-5705)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
古沢 (10) (Ⅱ-5706)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
古沢 (14) (Ⅱ-5768)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
宮田 (3) (Ⅲ-5702)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
上矢倉川支流(1202099)	中山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
矢倉川支流(1202100)	甲田町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
水谷川支流(1202105)	笹尾町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
水谷川支流(1202106)	笹尾町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
不知谷川支流(1202108)	原町 正法寺町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
早川支流(1202111)	野田山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
赤田川支流(1202112)	野田山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
矢倉川支流(3202103)	鳥居本町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
稲里(1)(Ⅰ-5023)	稲里町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
鳥居本②(Ⅰ-5704)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
日夏(3)(Ⅰ-5733)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
荘厳寺(2)(Ⅰ-5832)	荘厳寺町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
善谷(1)(Ⅰ-5833)	善谷町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
中山(8)(Ⅰ-5834)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
中山(9)(Ⅰ-5835)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
甲田(4)(Ⅰ-5836)	甲田町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
鳥居本(9)(Ⅰ-5837)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
松原(1)(Ⅰ-5838)	松原町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢(20)(Ⅰ-5840)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢(21)(Ⅰ-5841)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢(22)(Ⅰ-5842)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
佐和山(1)(Ⅰ-5845)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
古沢 (25) (Ⅰ-5848)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢 (26) (Ⅰ-5849)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
里根 (3) (Ⅰ-5850)	里根町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
正法寺 (3) (Ⅰ-5853)	正法寺町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
日夏 (4) (Ⅰ-5854)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
日夏 (5) (Ⅰ-5855)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
賀田山 (1) (Ⅰ-5888)	賀田山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
笹尾 (4) (Ⅰ-5918)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢 (27) (Ⅰ-5920)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢 (23) (Ⅱ-5843)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
佐和山 (2) (Ⅲ-5846)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
佐和山 (3) (Ⅲ-5847)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
東沼波 (2) (Ⅲ-5852)	東波沼町 大堀町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
日夏 (6) (Ⅲ-5856)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
原(1202107)	原町	土石流	令和3年7月16日	滋賀県告示第427号
原 (1) (Ⅲ-5851)	原町	急傾斜地の崩壊	令和3年7月16日	滋賀県告示第427号

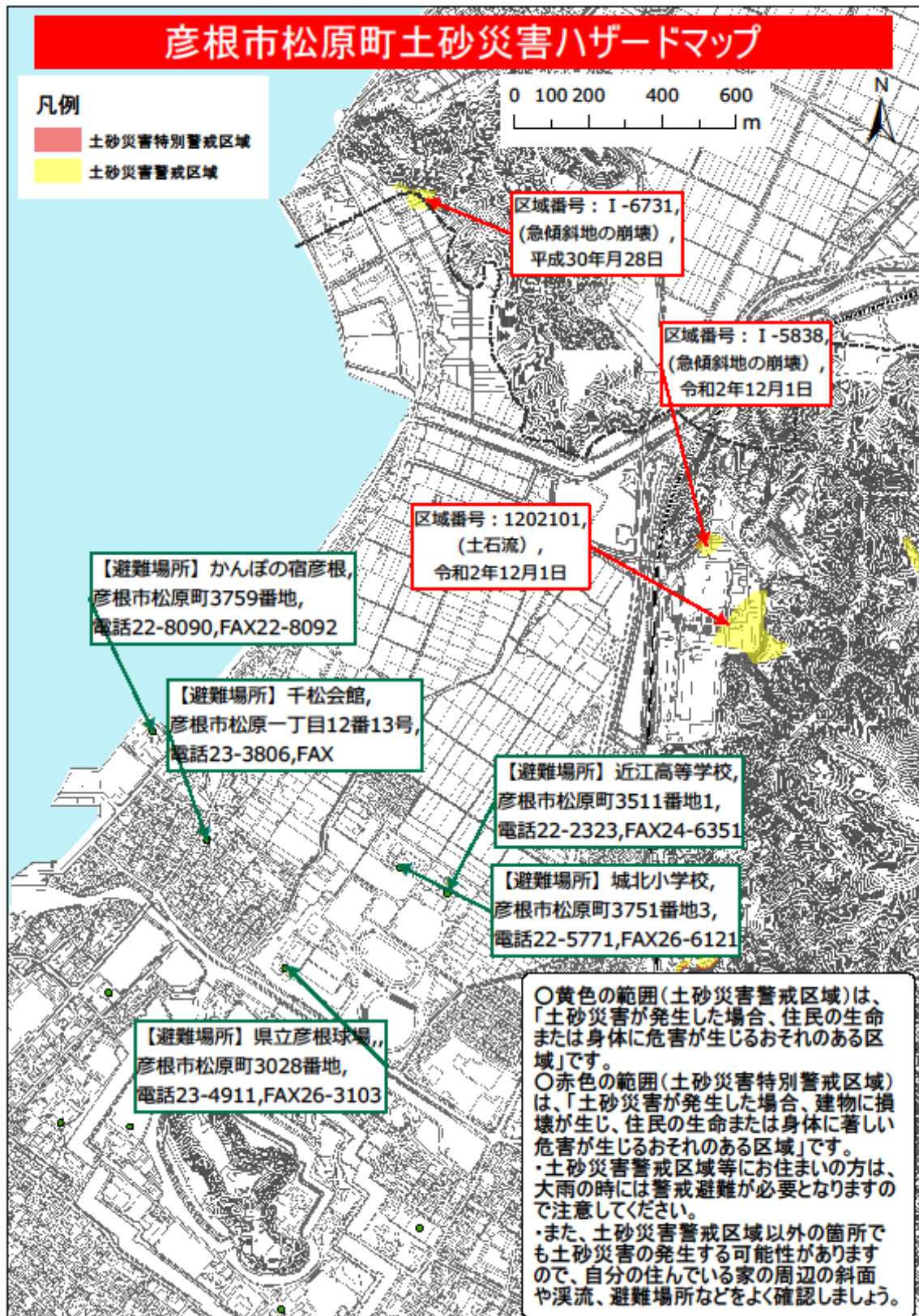
(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止に関する法律(平成12年法律第57号)第6条第1項の規定による。

(6) 土砂災害ハザードマップ

図面番号	地区名称
①	松原町
②	甲田町北甲田
③	甲田町南甲田
④	宮田町物生山地区
⑤	宮田町西山地区
⑥	中山町中山地区
⑦	鳥居本養護学校
⑧	古沢町大洞地区
⑨	古沢町東山地区
⑩	鳥居本町百々地区
⑪	鳥居本町中町地区
⑫	鳥居本町高根地区
⑬	荘厳寺町
⑭	仏生寺町
⑮	男鬼町
⑯	小野町
⑰	笹尾町
⑱	里根町
⑲	幸町
⑳	新町
㉑	芹中町
㉒	後三条町
㉓	和田町
㉔	芹川町千鳥ヶ丘
㉕	芹川町（南芹川地区）
㉖	元岡町
㉗	平田町
㉘	山之脇町
㉙	岡町
㉚	正法寺町・地藏町
㉛	東沼波町
㉜	大堀町
㉝	野田山町
㉞	荒神山自然の家
㉟	千手寺
㊱	日夏町島地区
㊲	清崎町西清崎地区
㊳	石寺町上石寺地区・下岡部町
㊴	稲里町
㊵	古沢町松縄手
㊶	賀田山町
㊷	荒神山神社
㊸	佐和山町
㊹	原町
㊺	アンビエントガーデン彦根

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

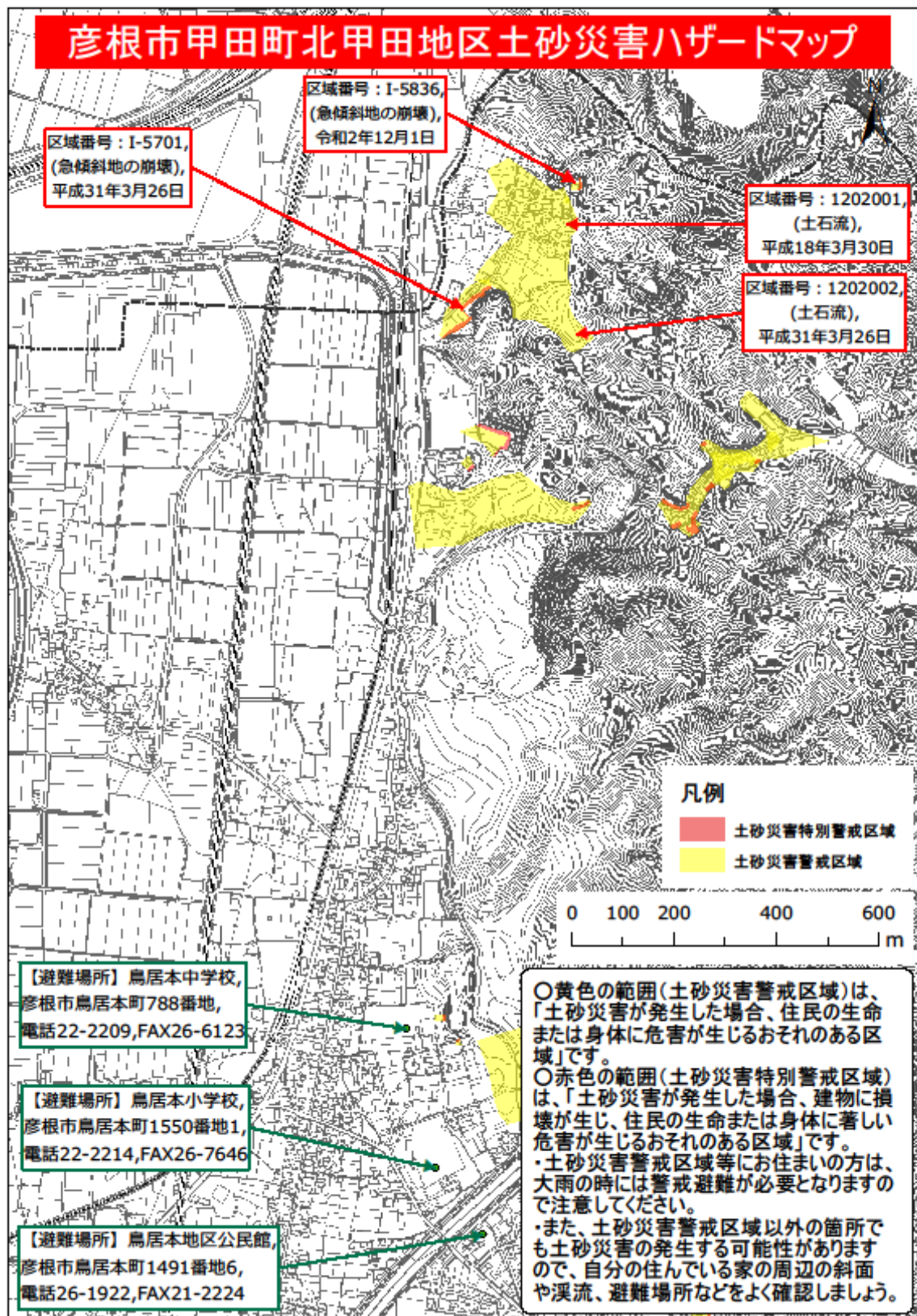
① 松原町



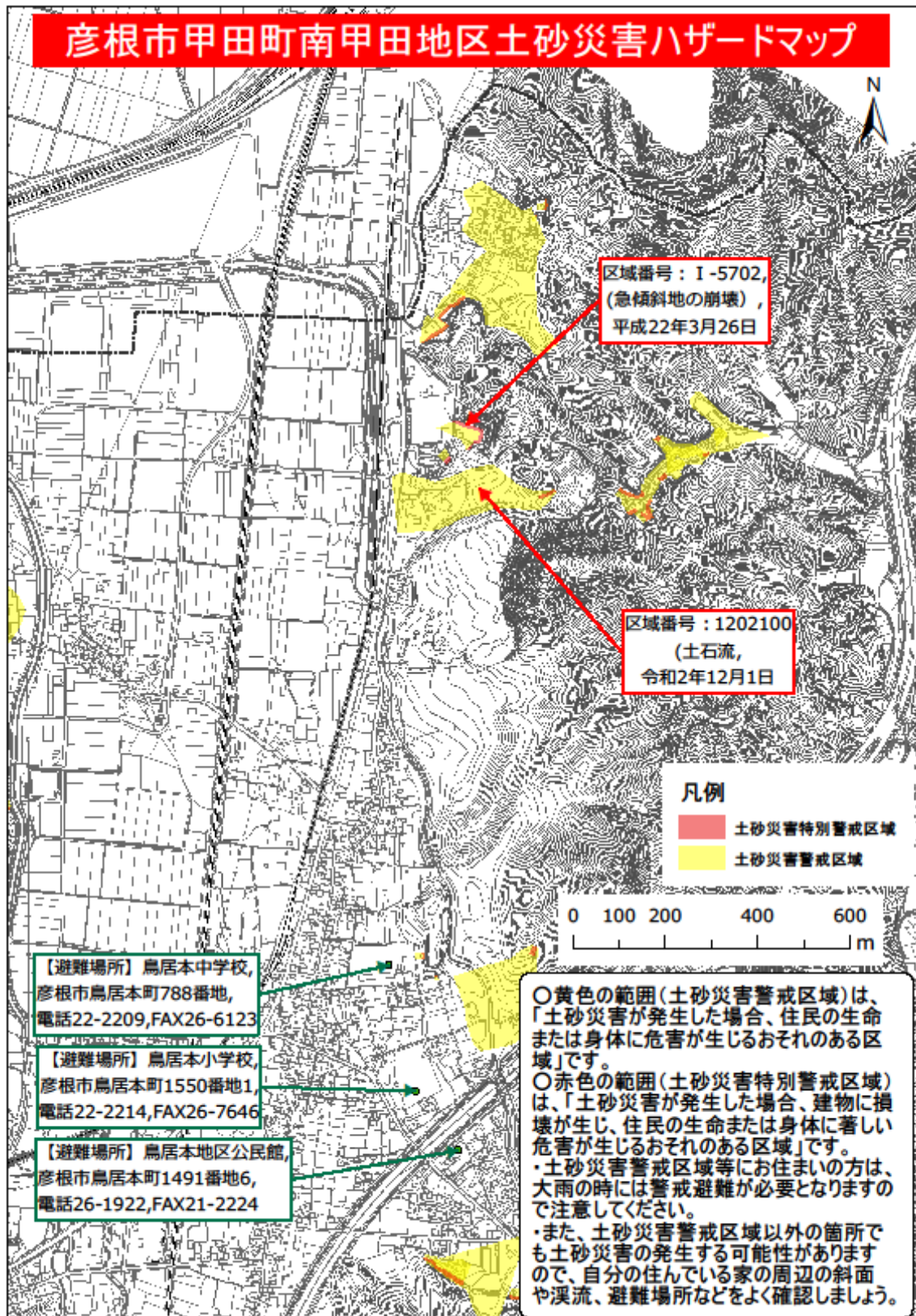
※かんぼの宿彦根は、亀の井ホテル彦根に名称変更

※県立彦根球場は、彦根総合スポーツ公園（野球場）に名称変更

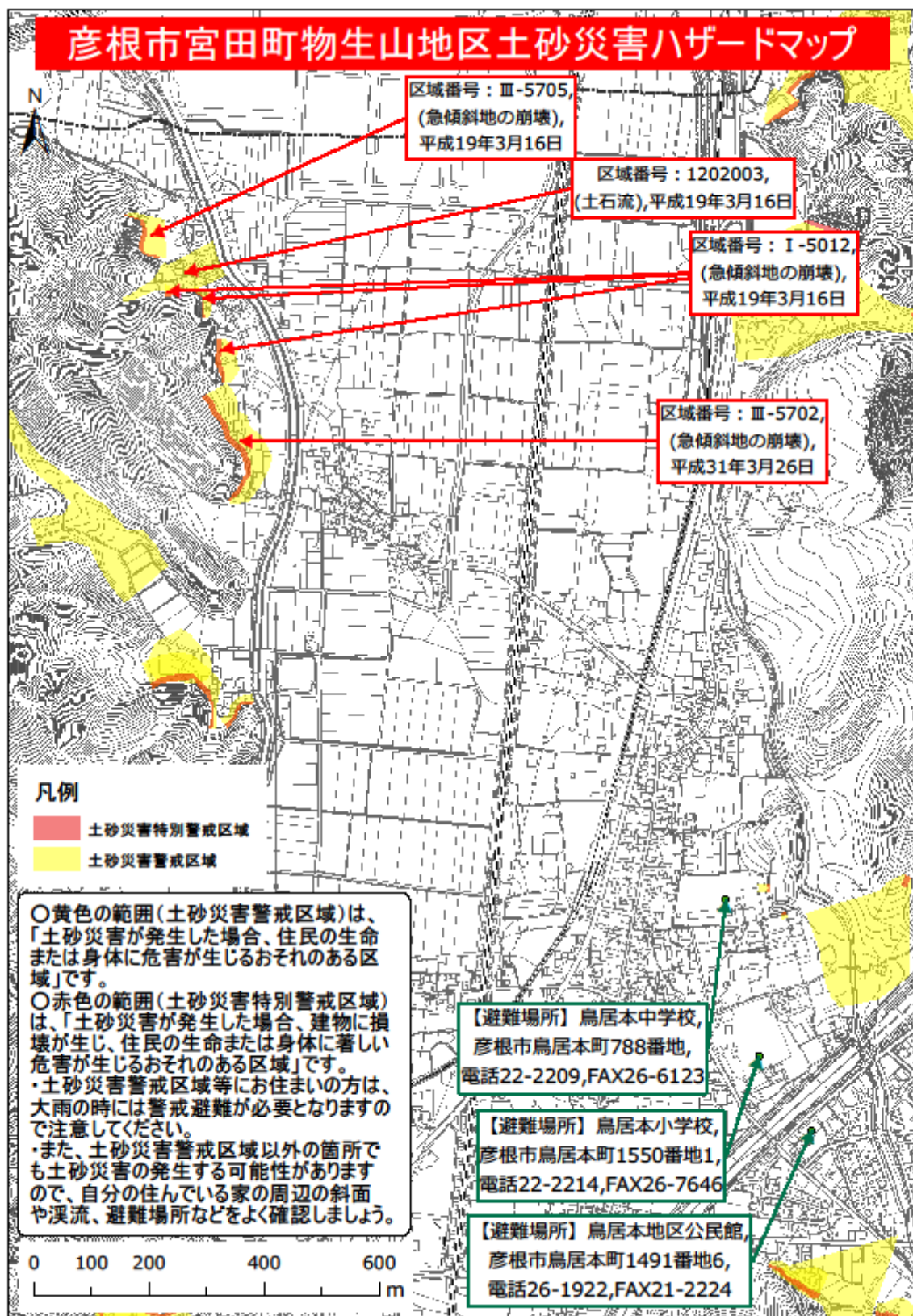
② 甲田町北甲田



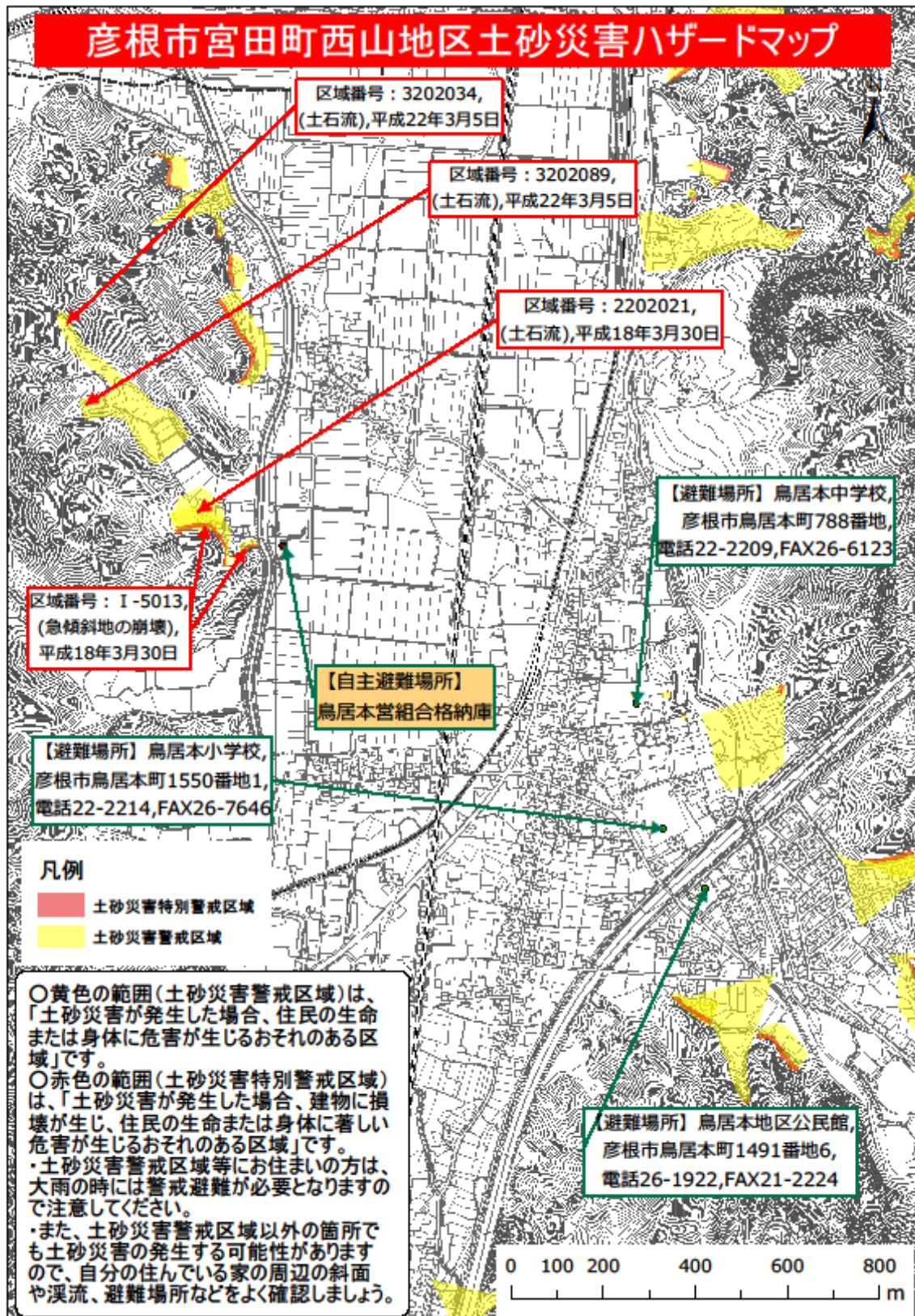
③ 甲田町南甲田



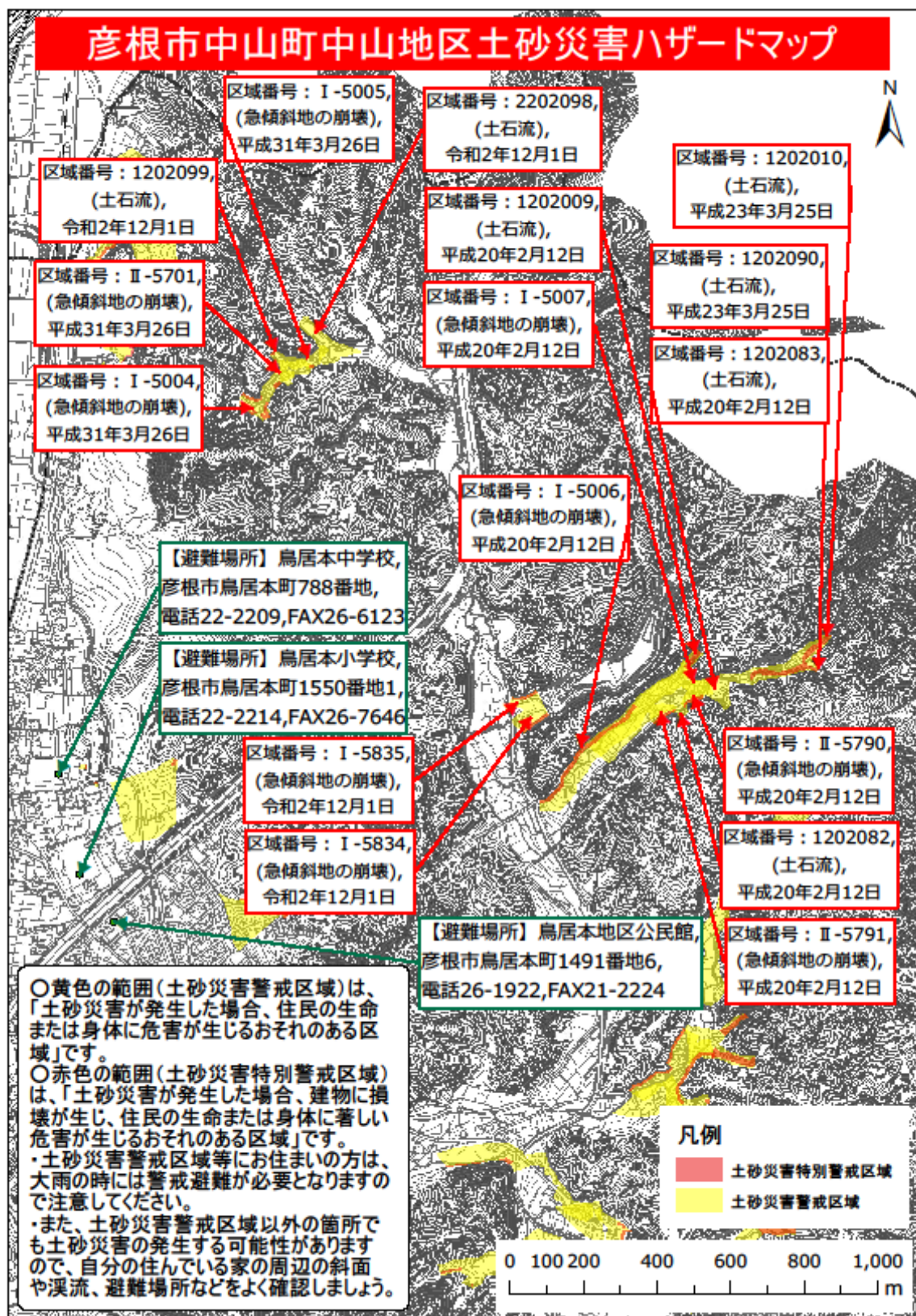
④ 宮田町物生山地区



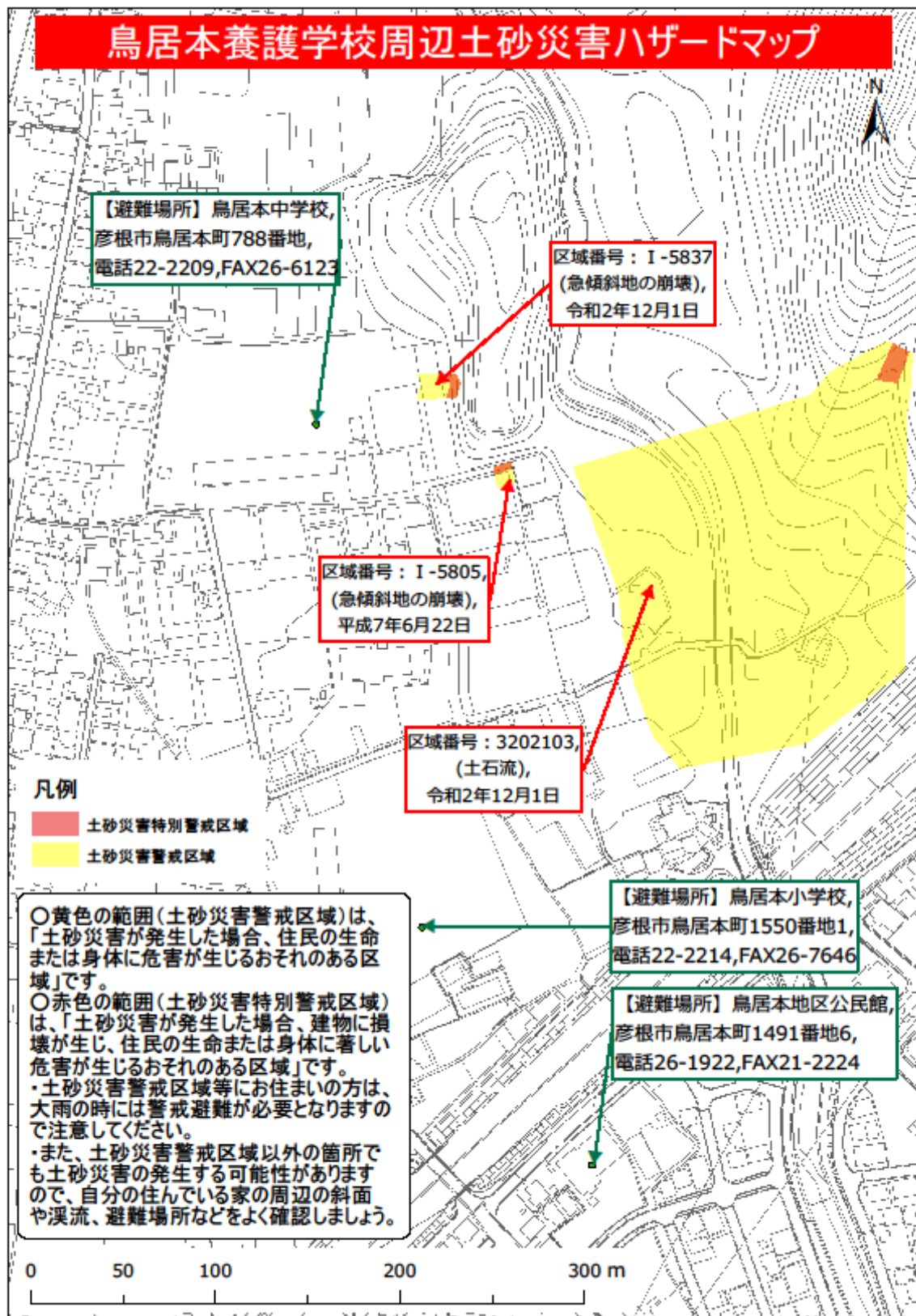
⑤ 宮田町西山地区



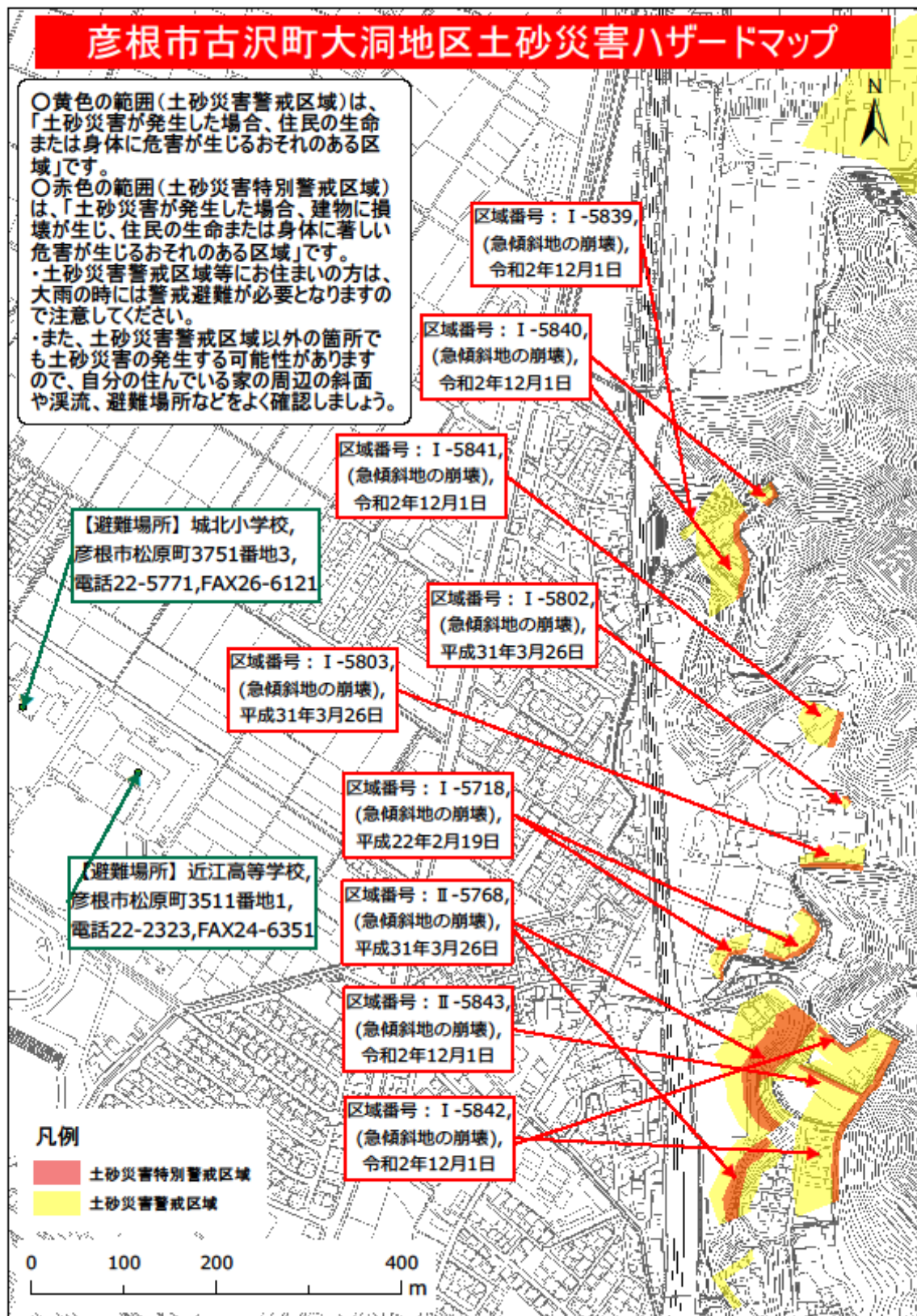
⑥ 中山町中山地区



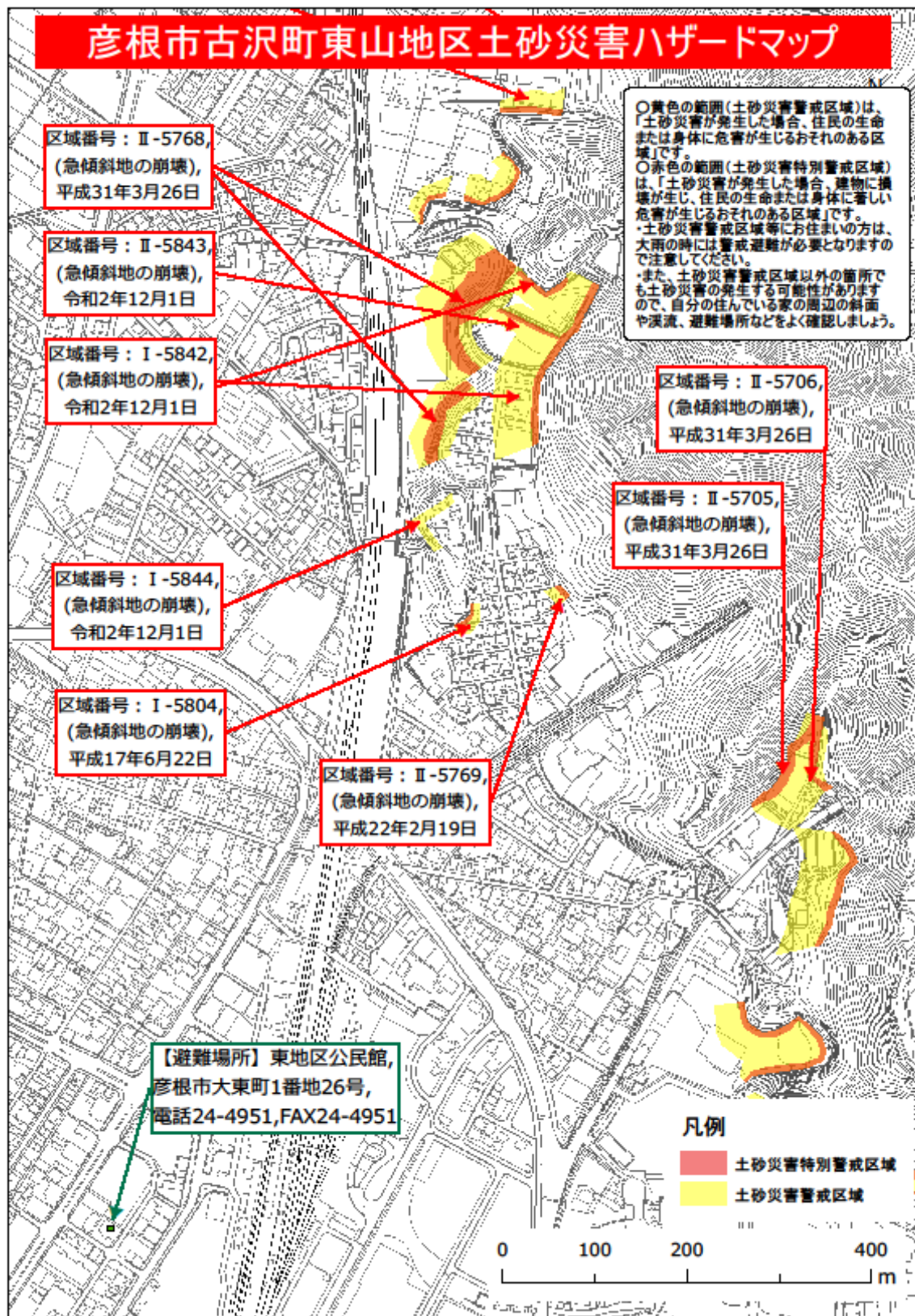
⑦ 鳥居本養護学校



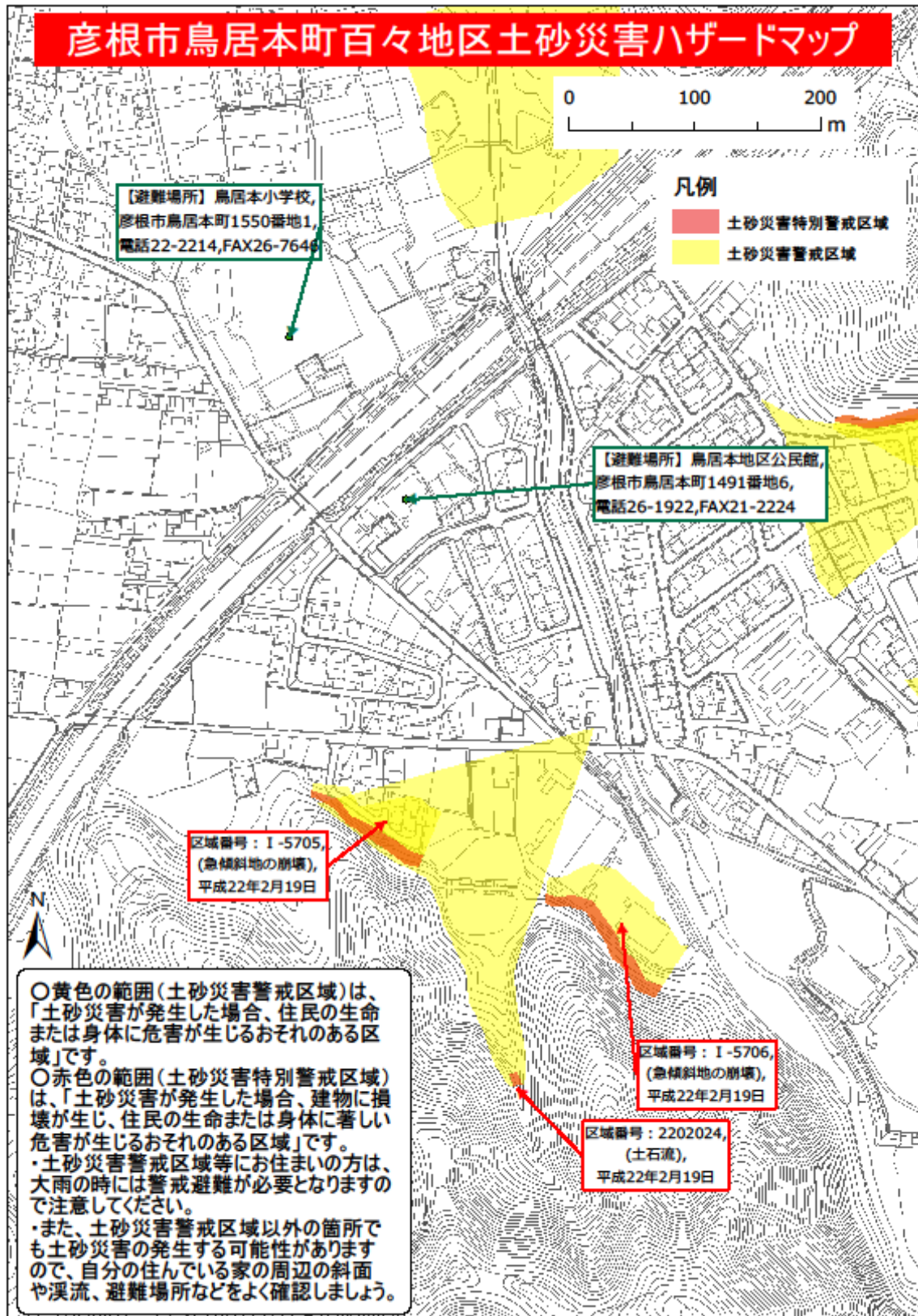
⑧ 古沢町大洞地区



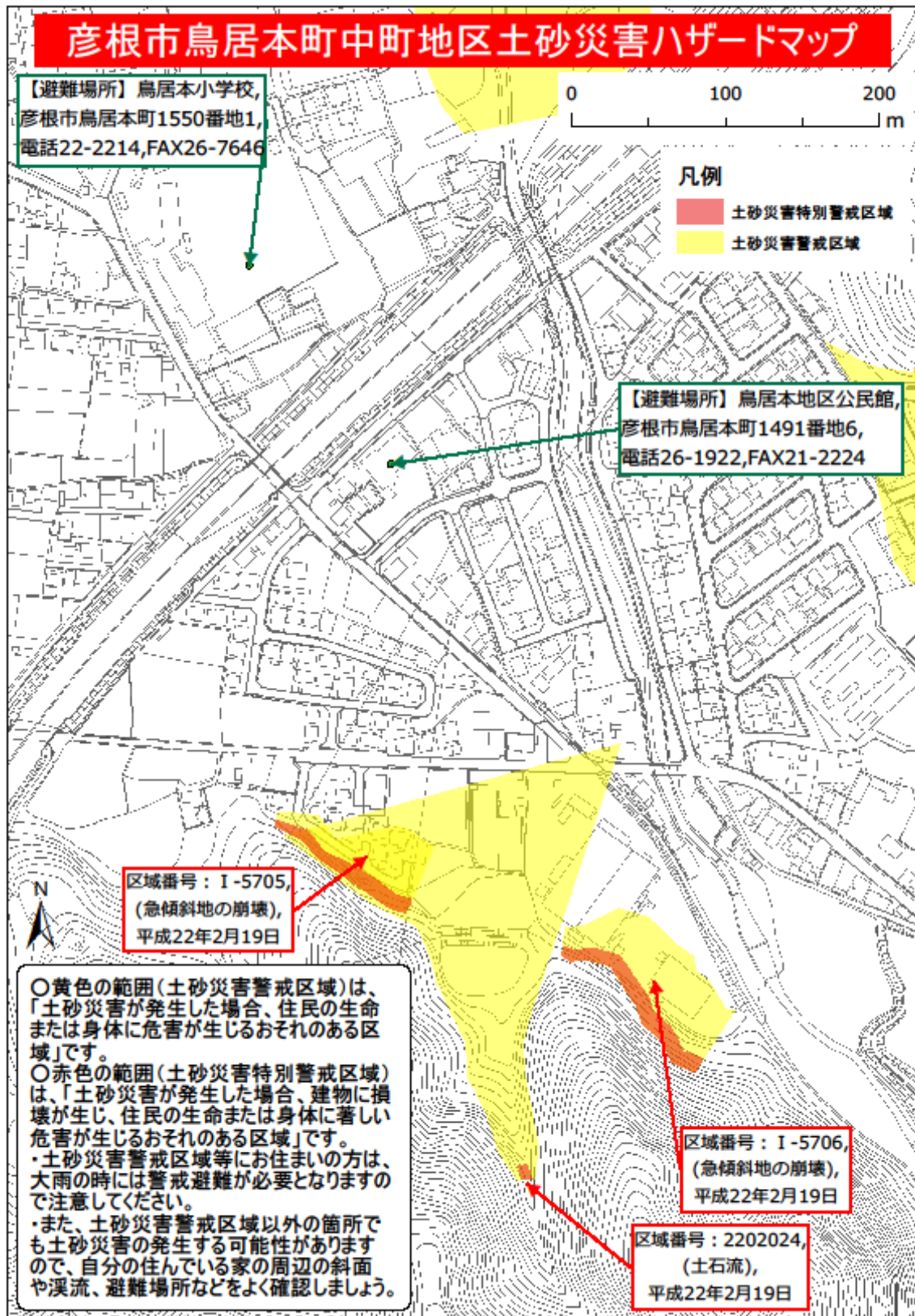
⑨ 古沢町東山地区



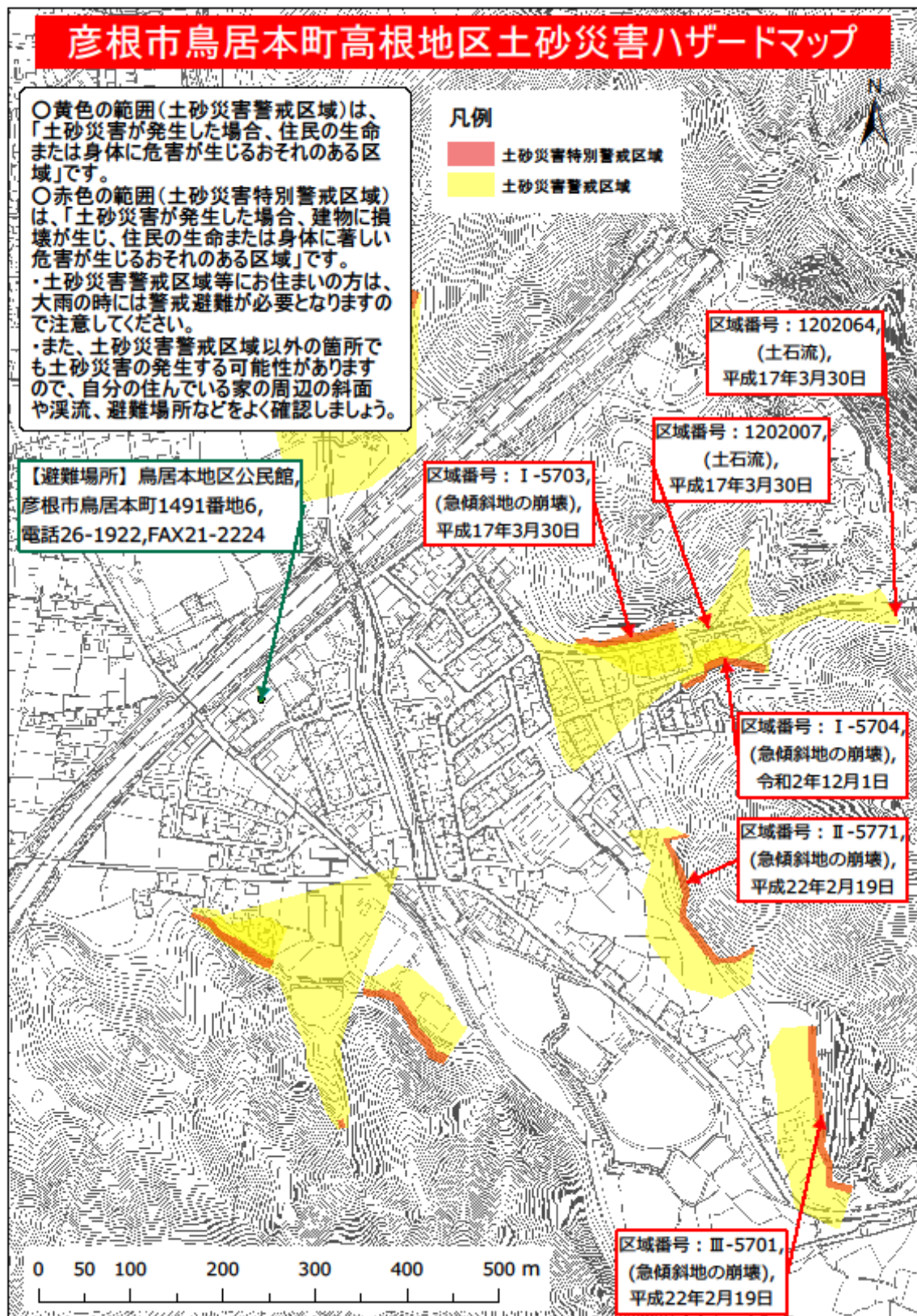
⑩ 鳥居本町百々地区



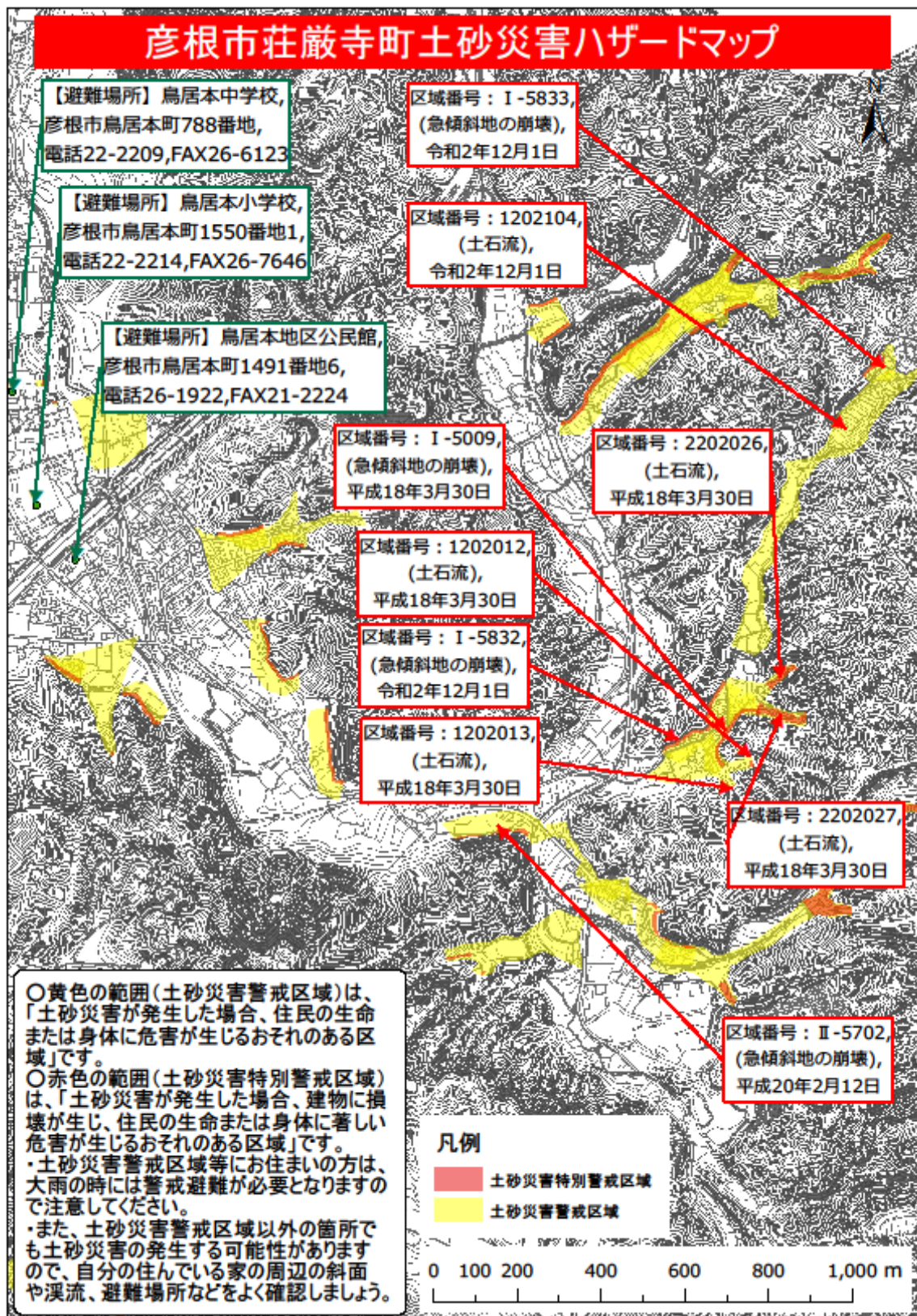
⑪ 鳥居本町中町地区



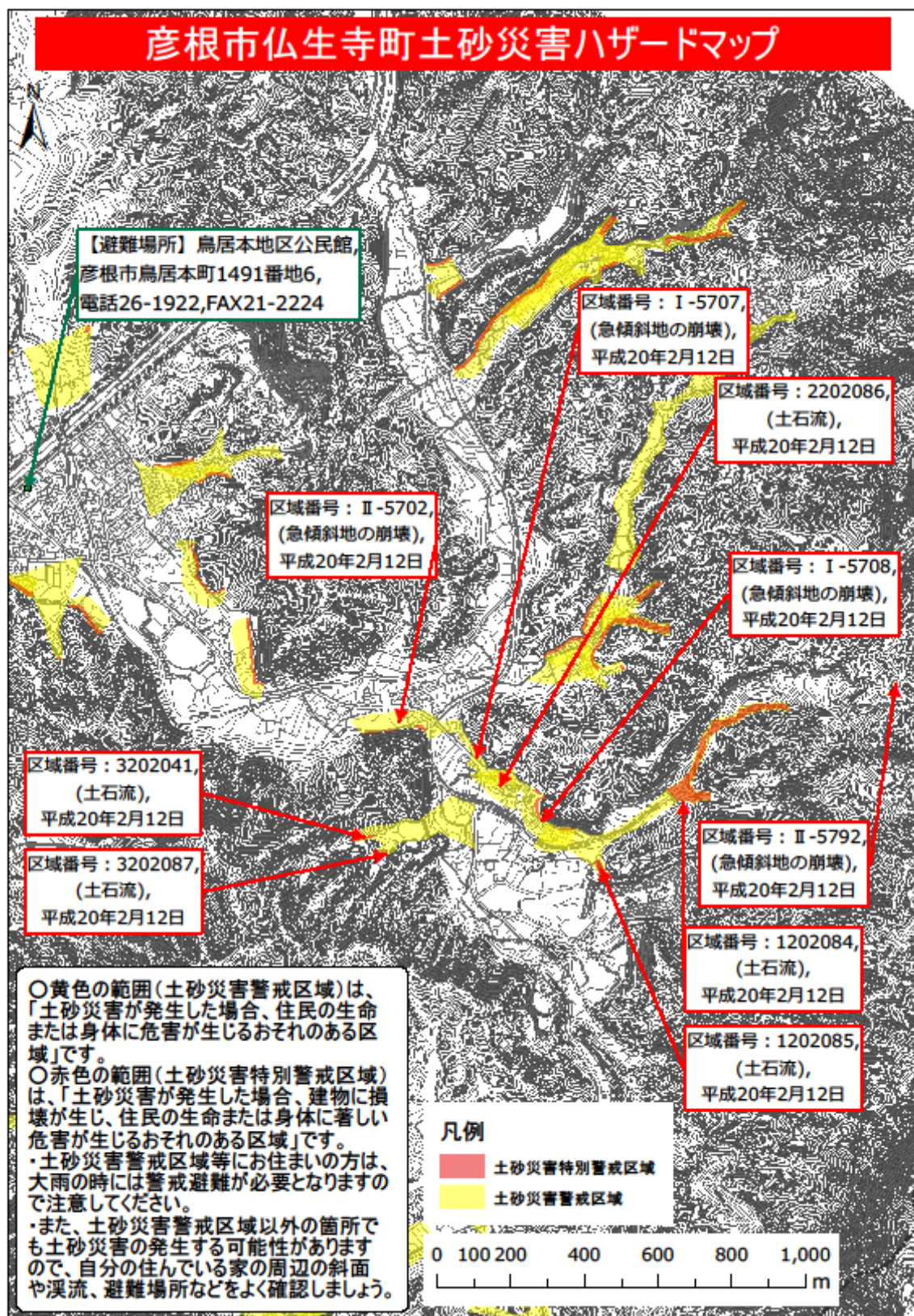
⑫ 鳥居本町高根地区



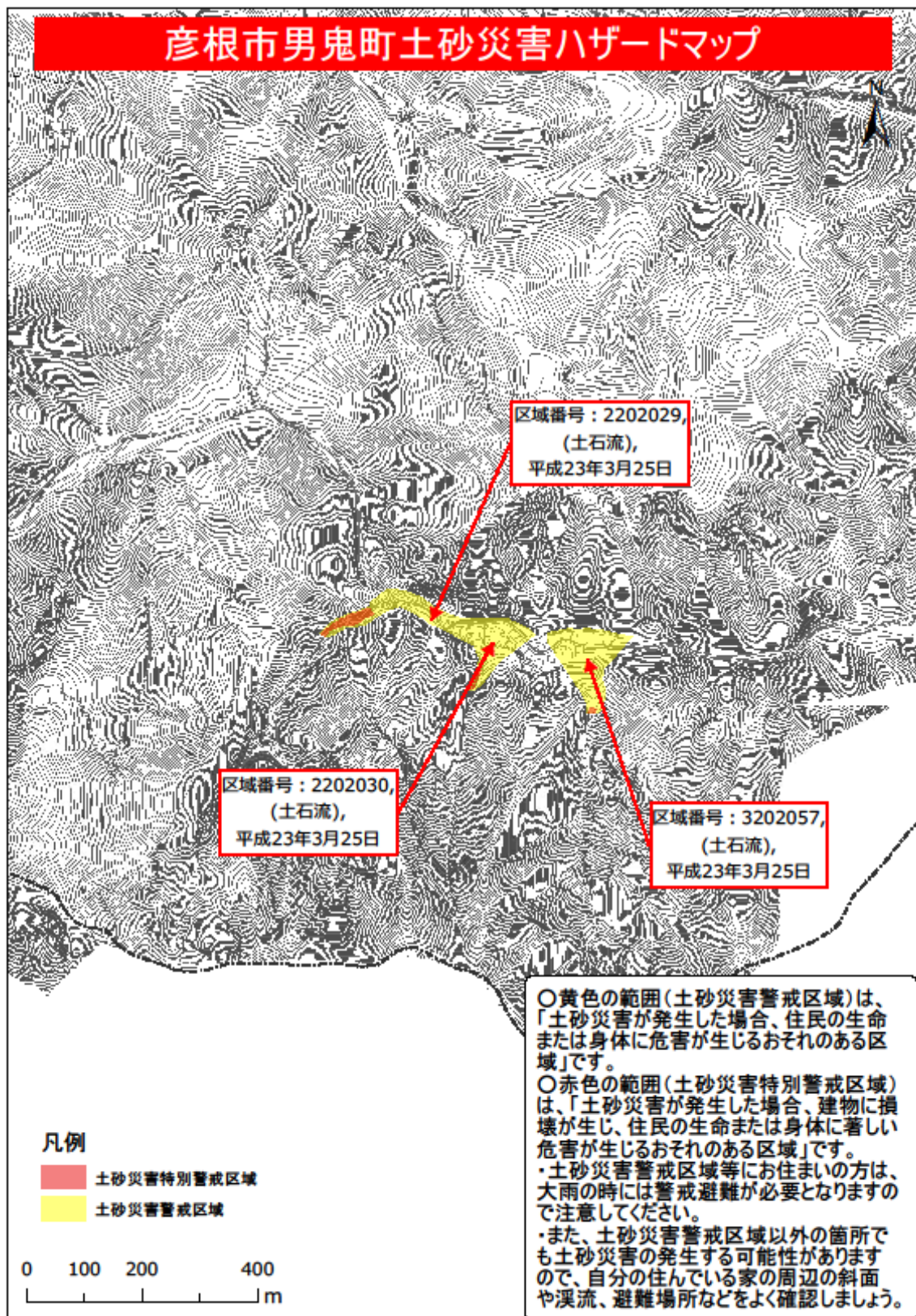
⑬ 荘厳寺町



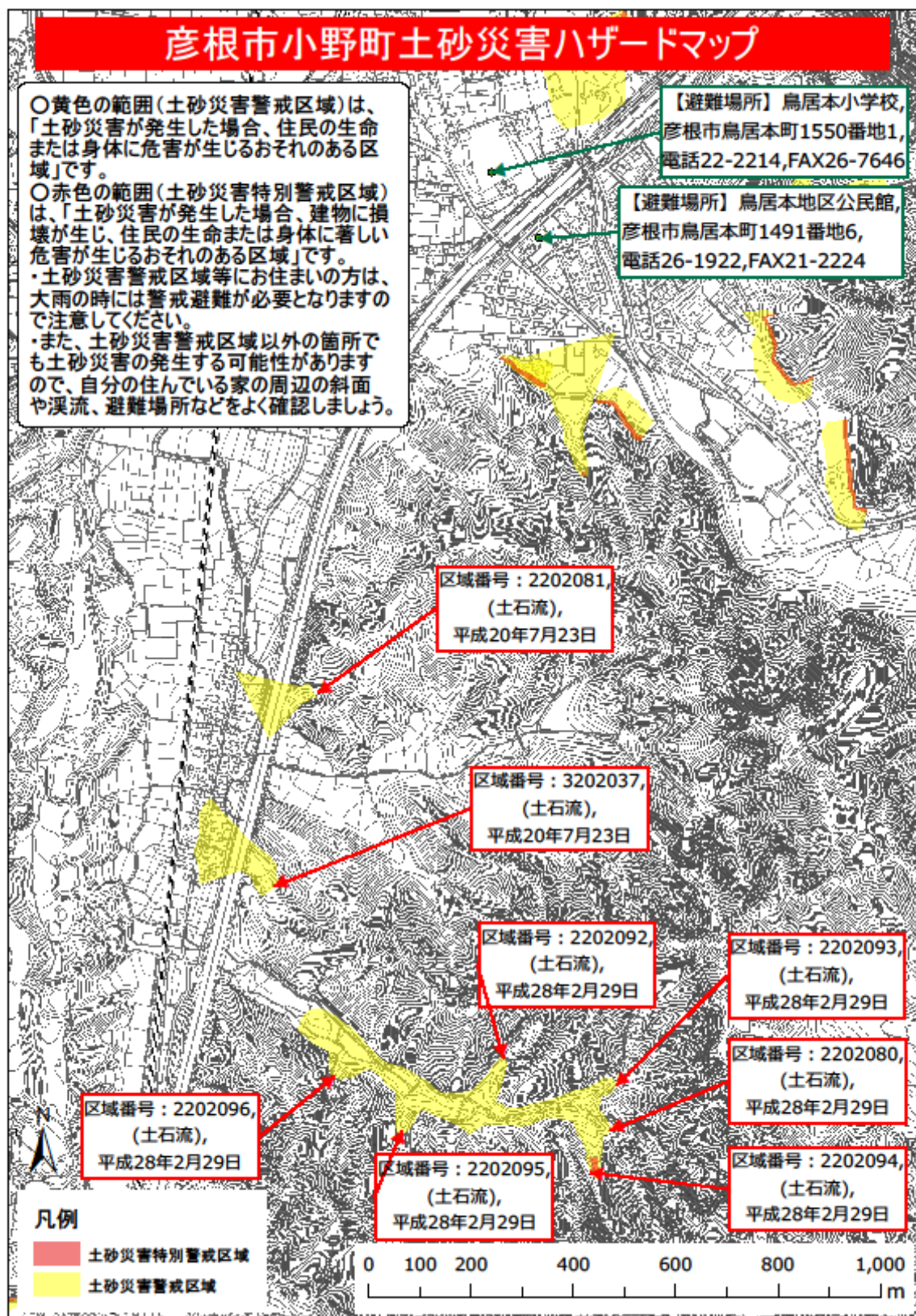
⑭ 仏生寺町



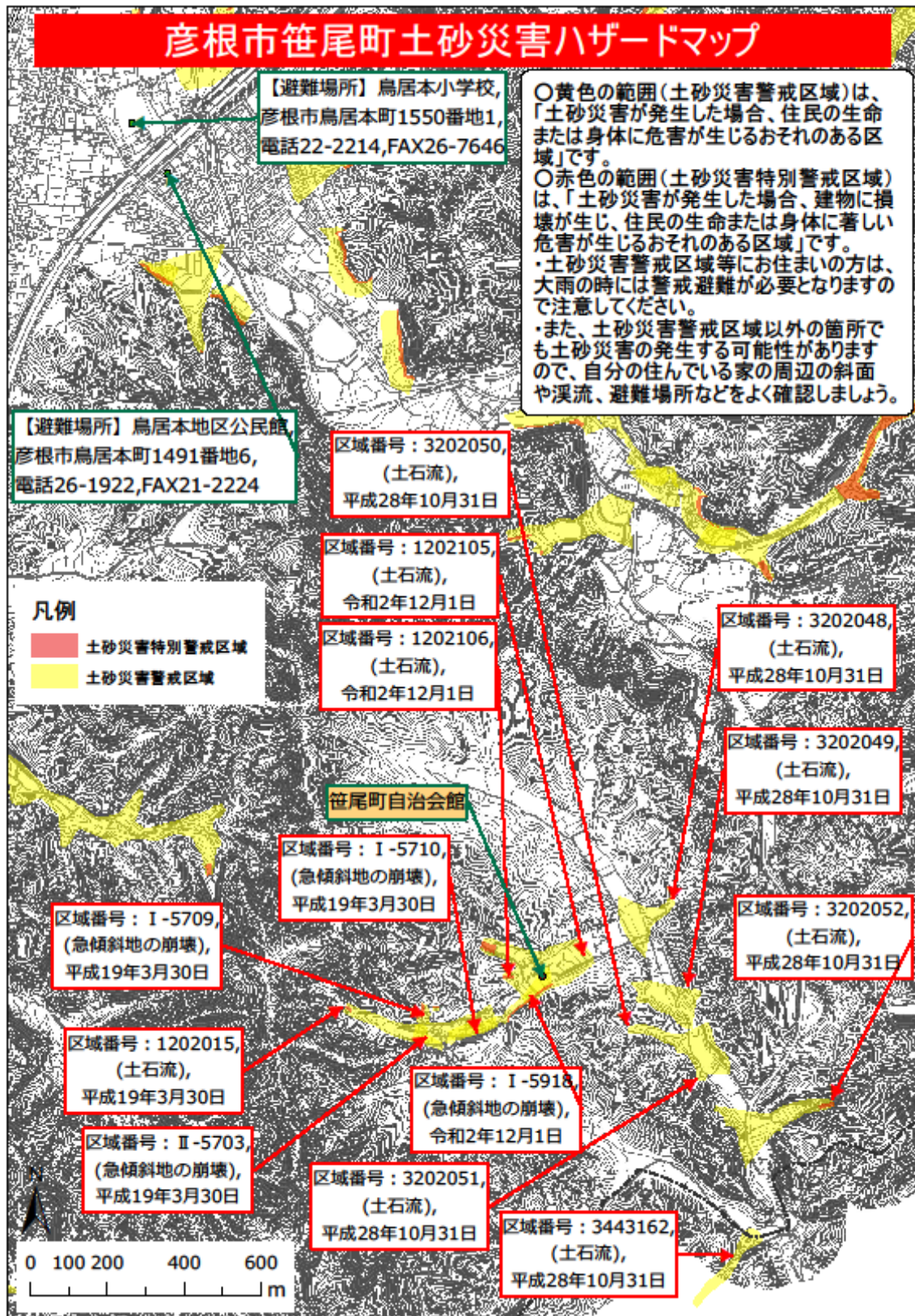
⑮ 男鬼町



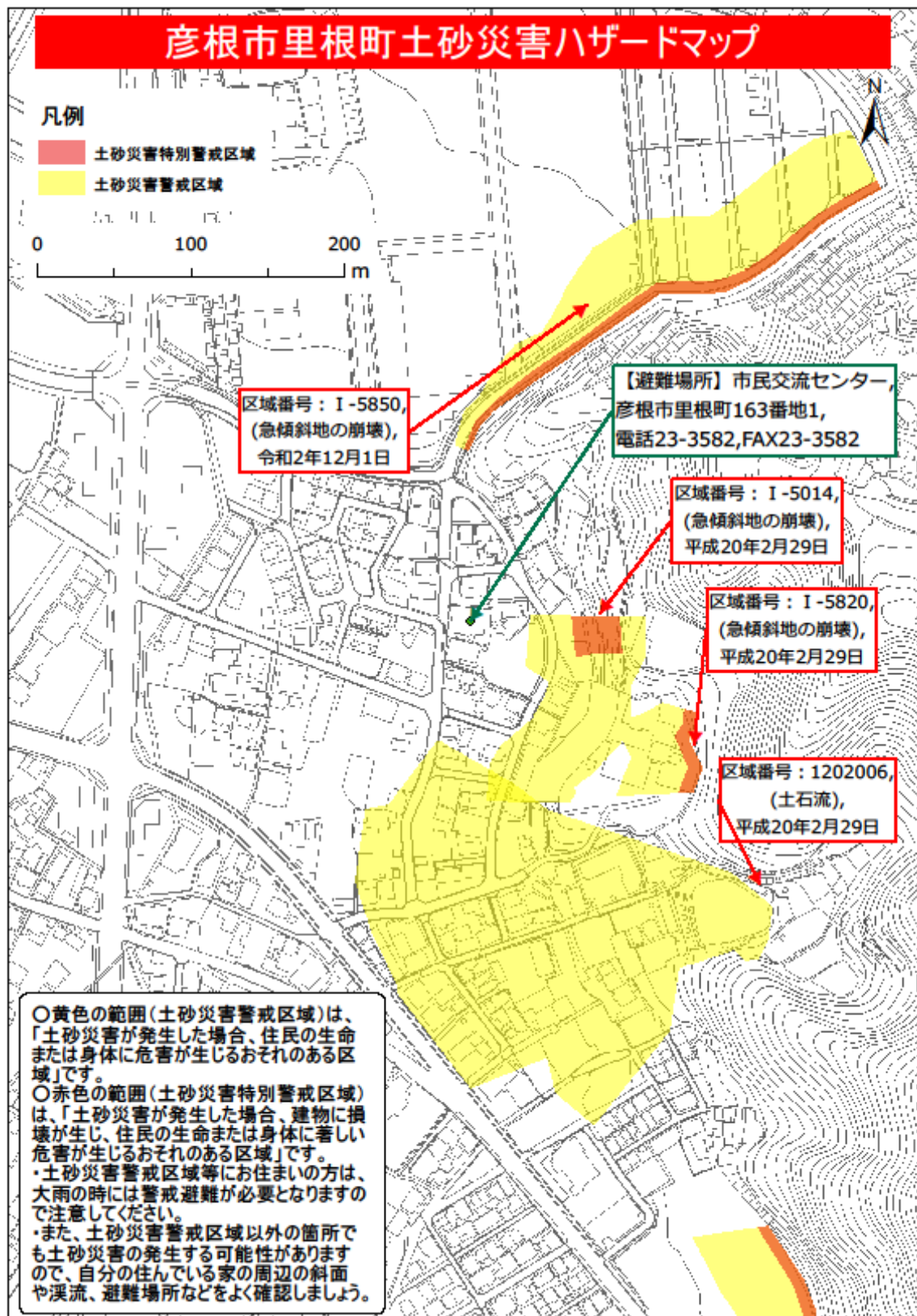
⑯ 小野町



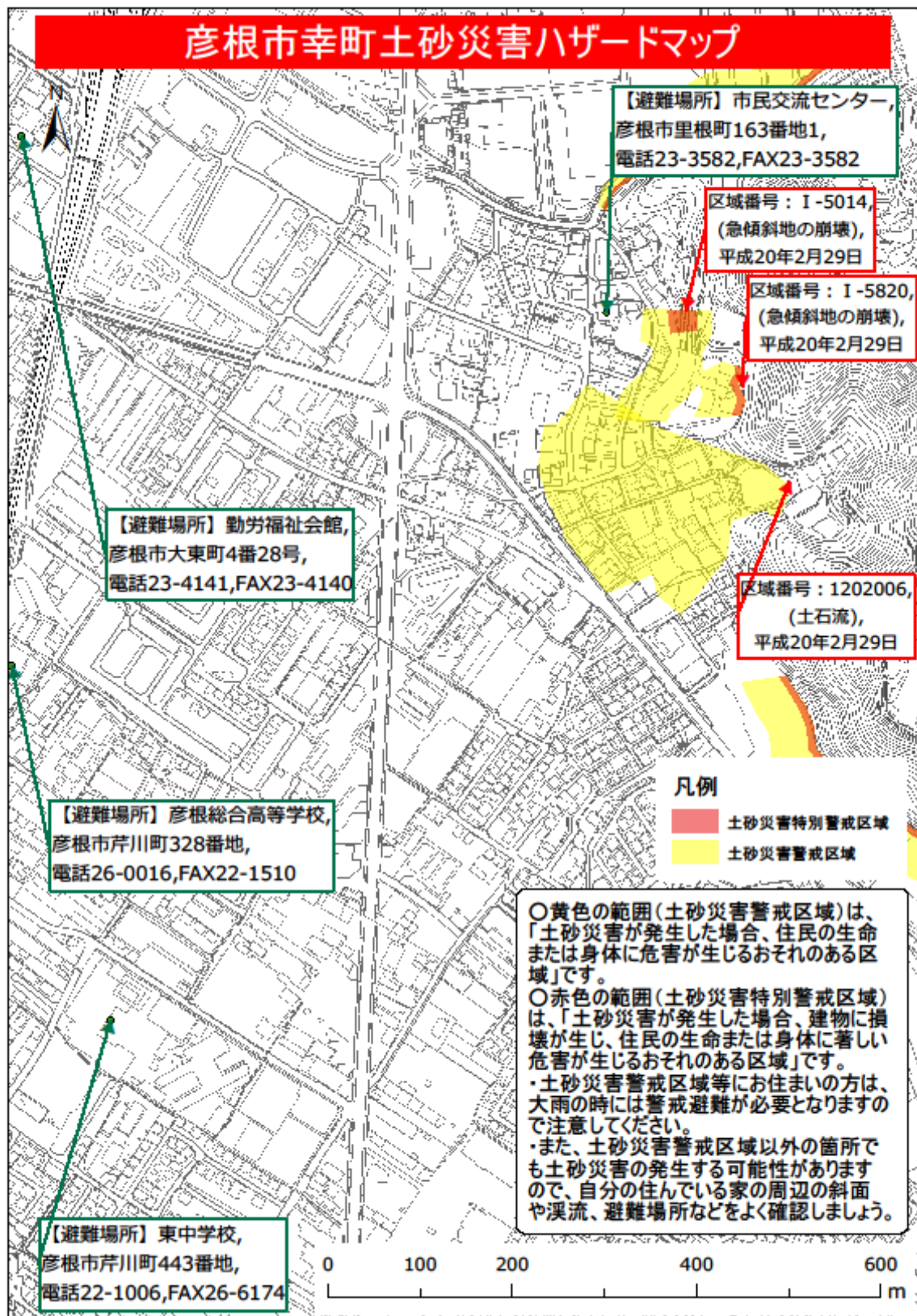
⑰ 笹尾町



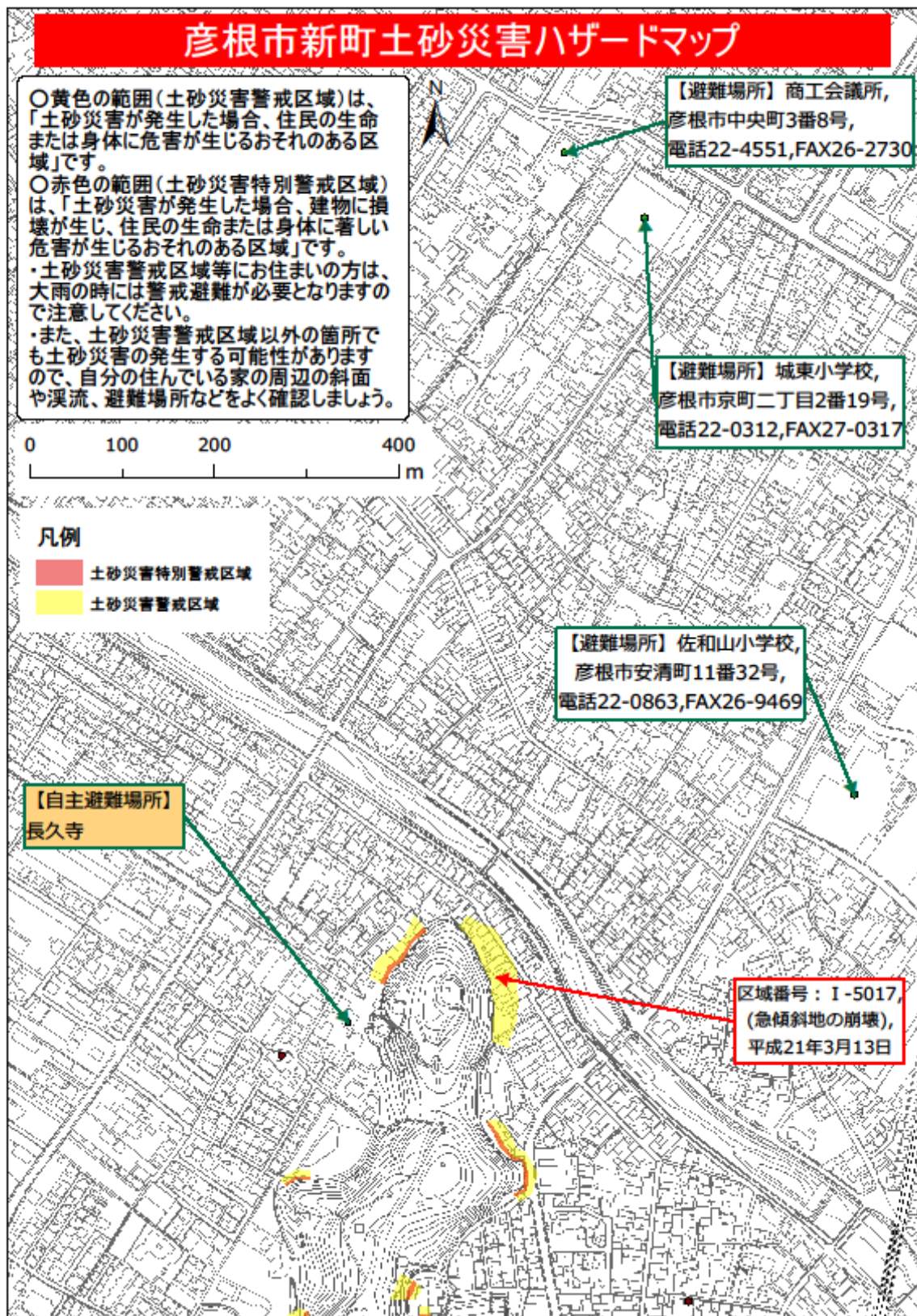
⑱ 里根町



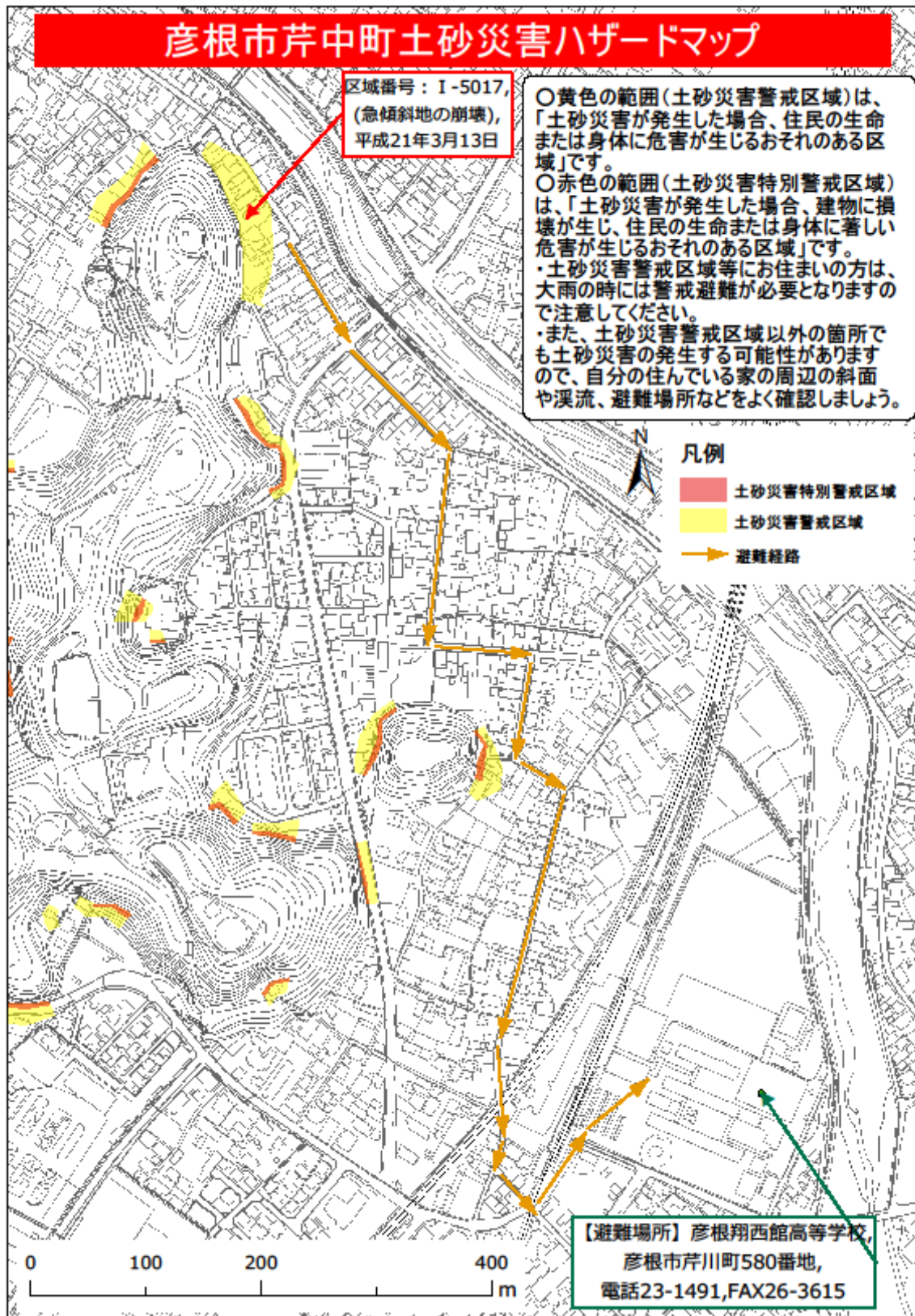
①9 幸町



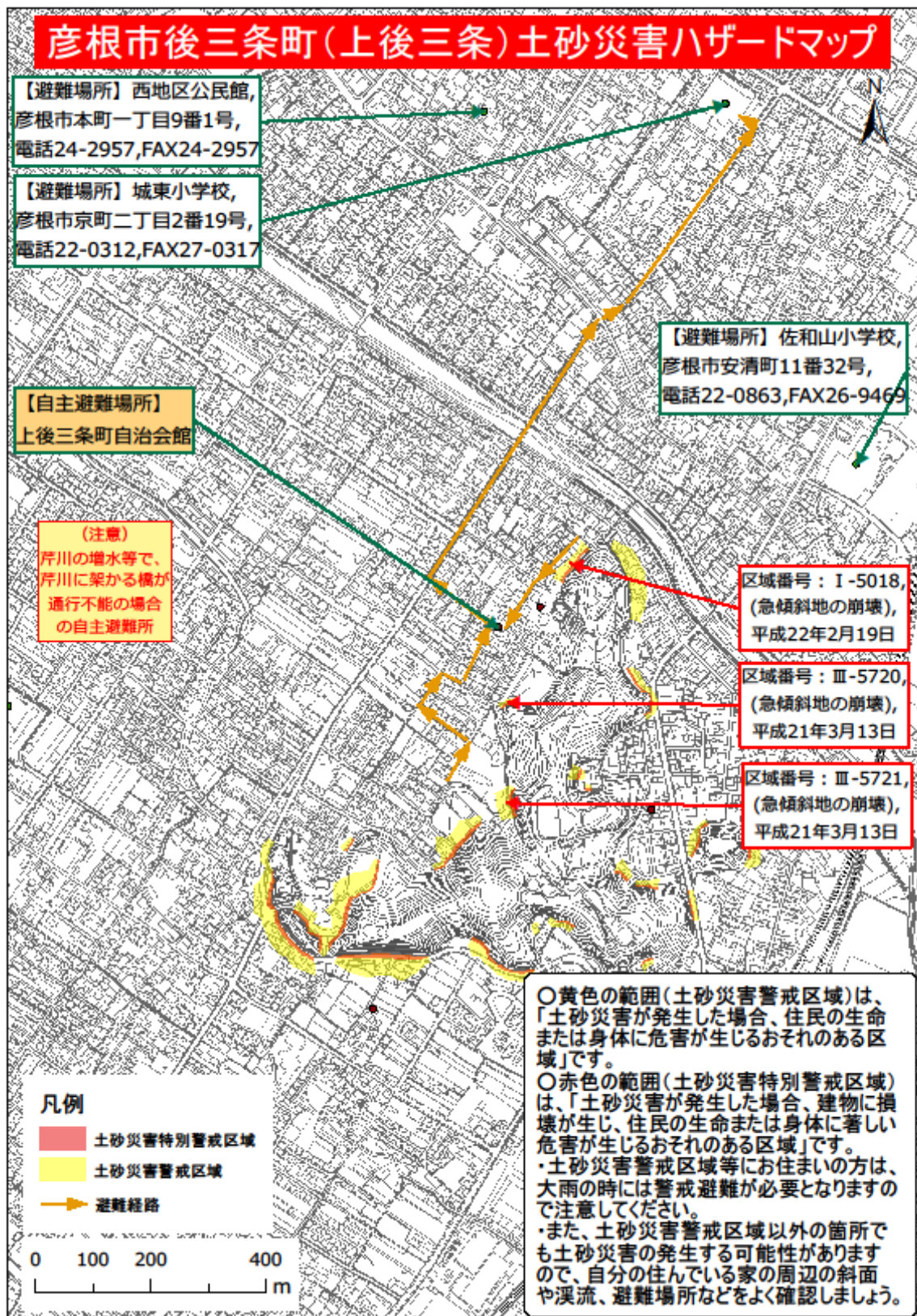
② 新町



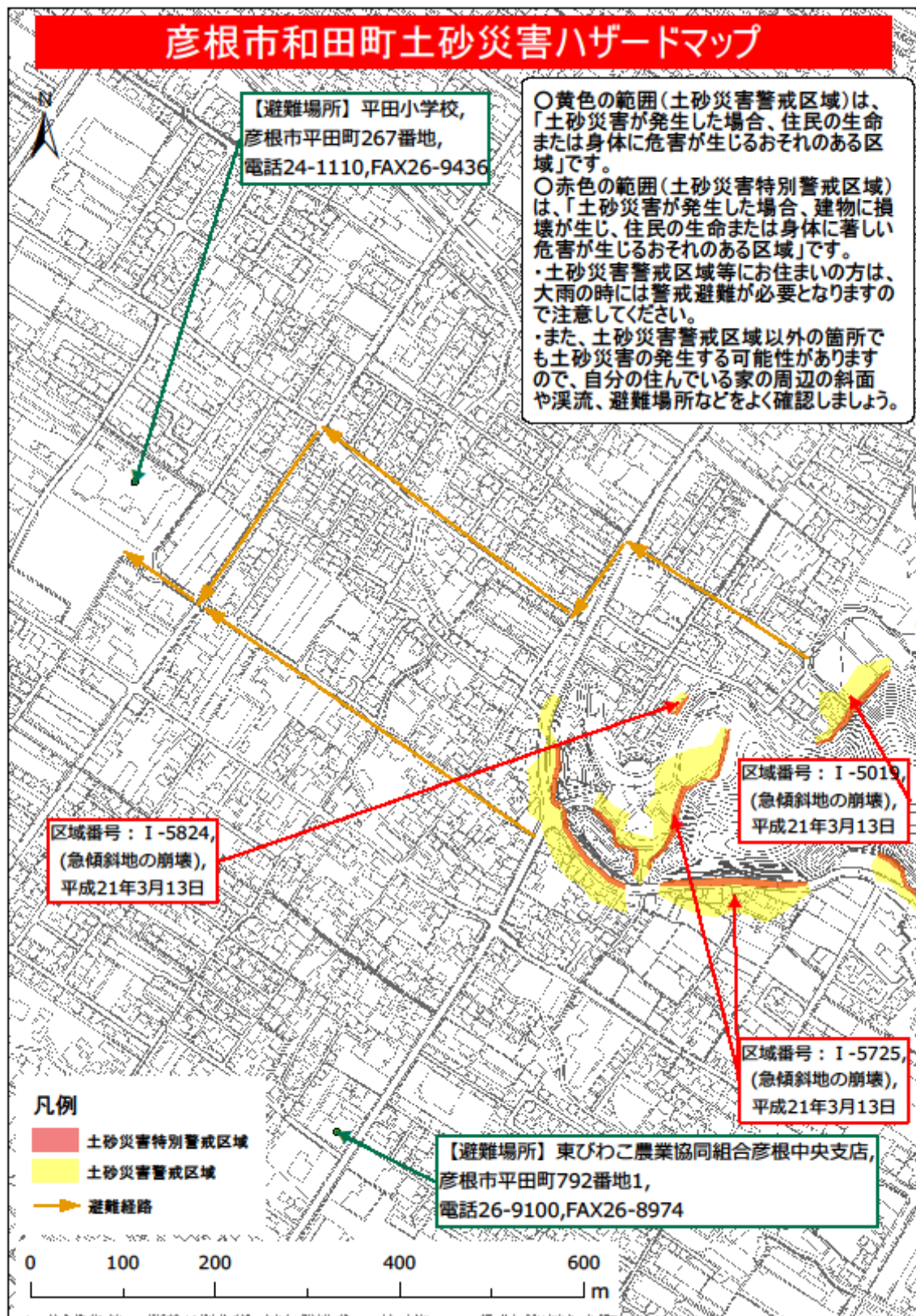
② 芹中町



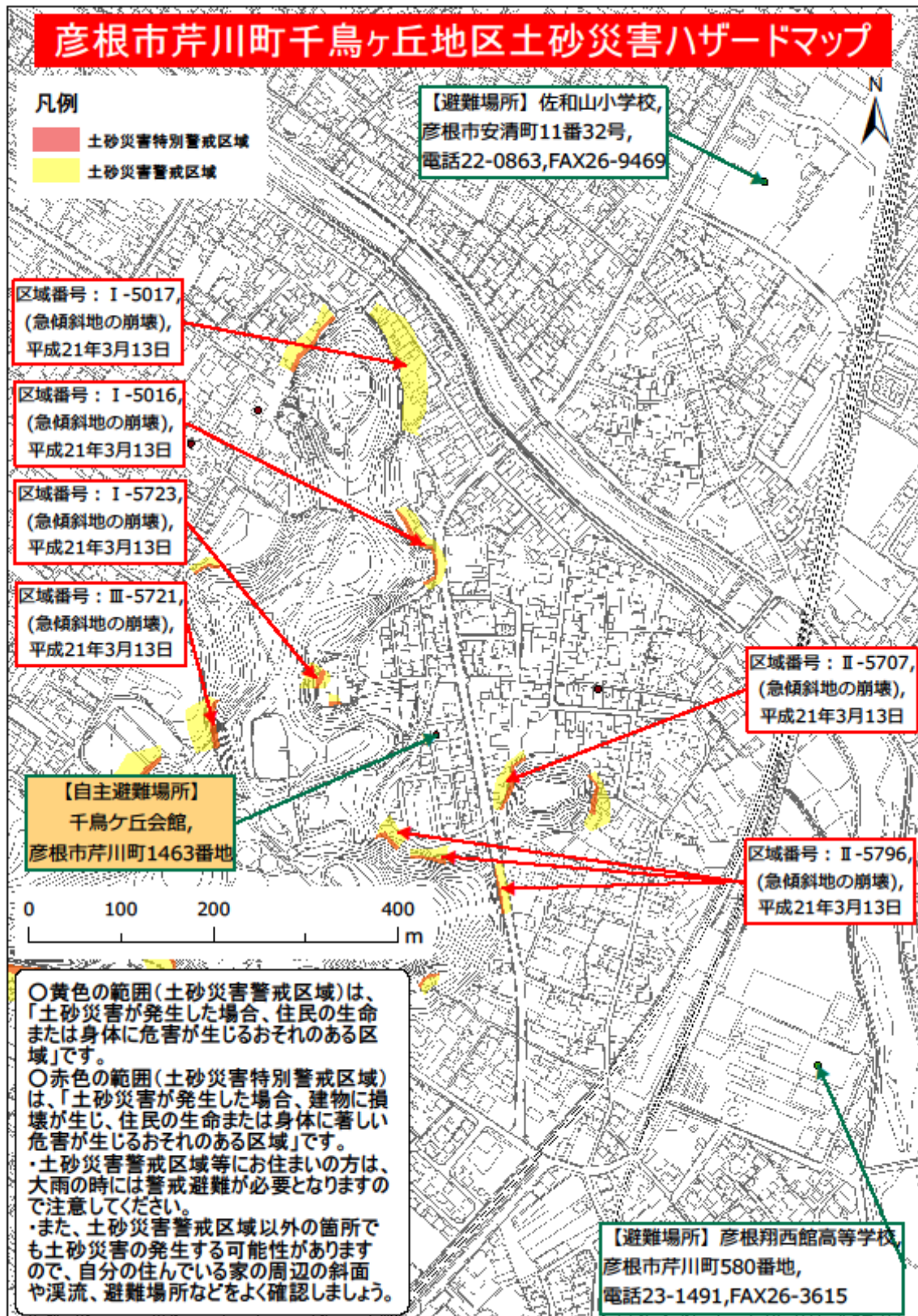
② 後三条町



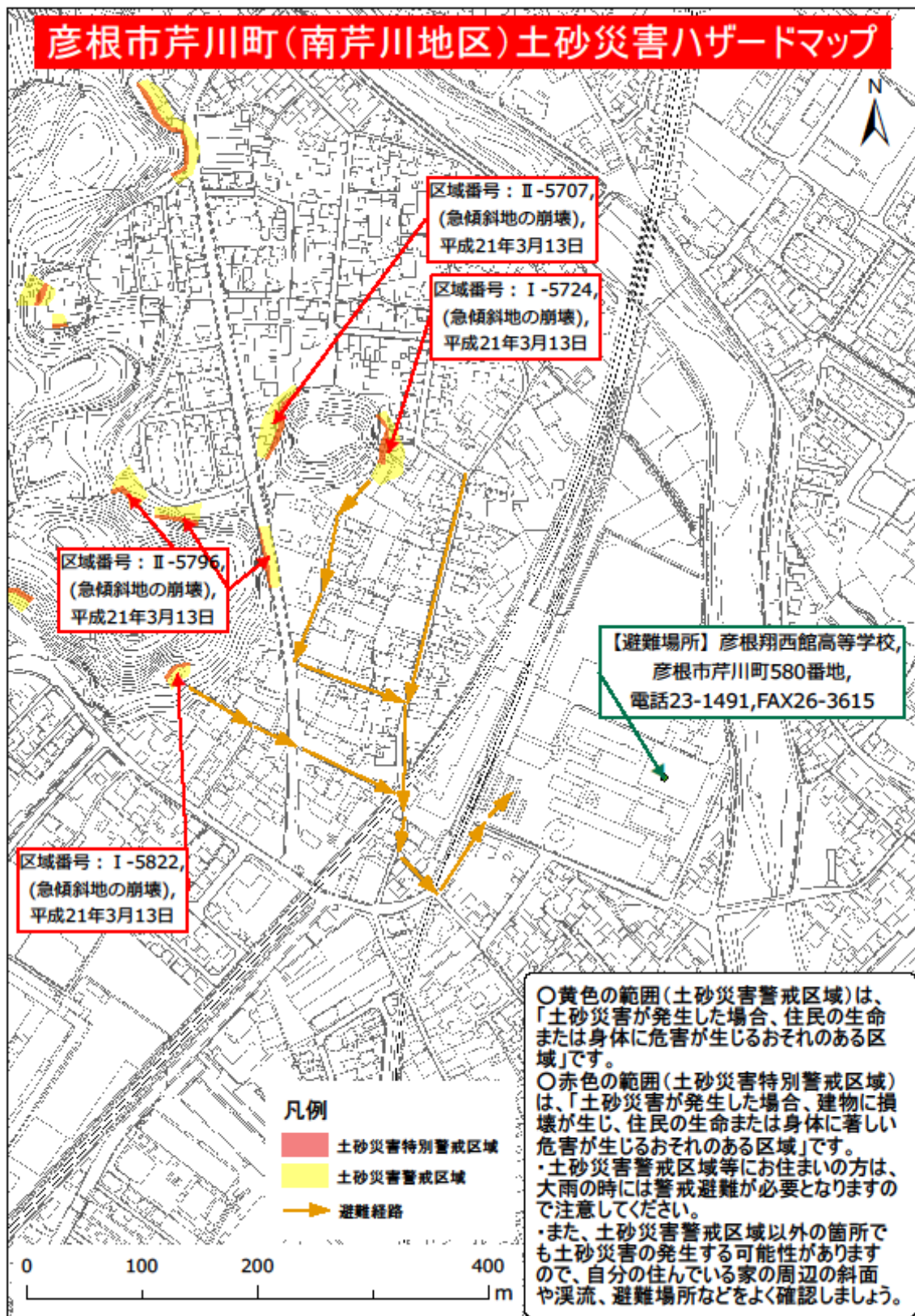
② 和田町



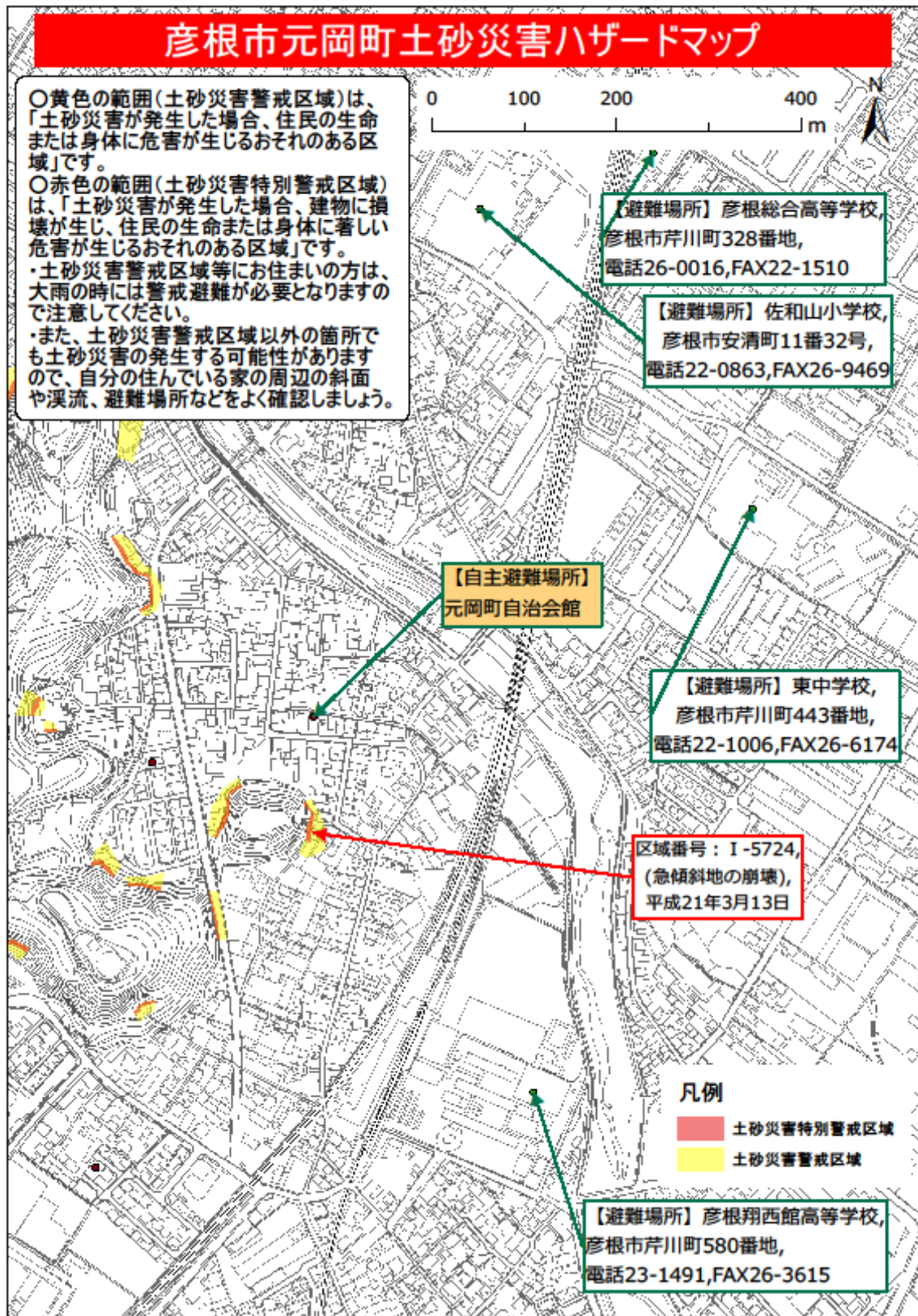
④ 芹川町千鳥ヶ丘



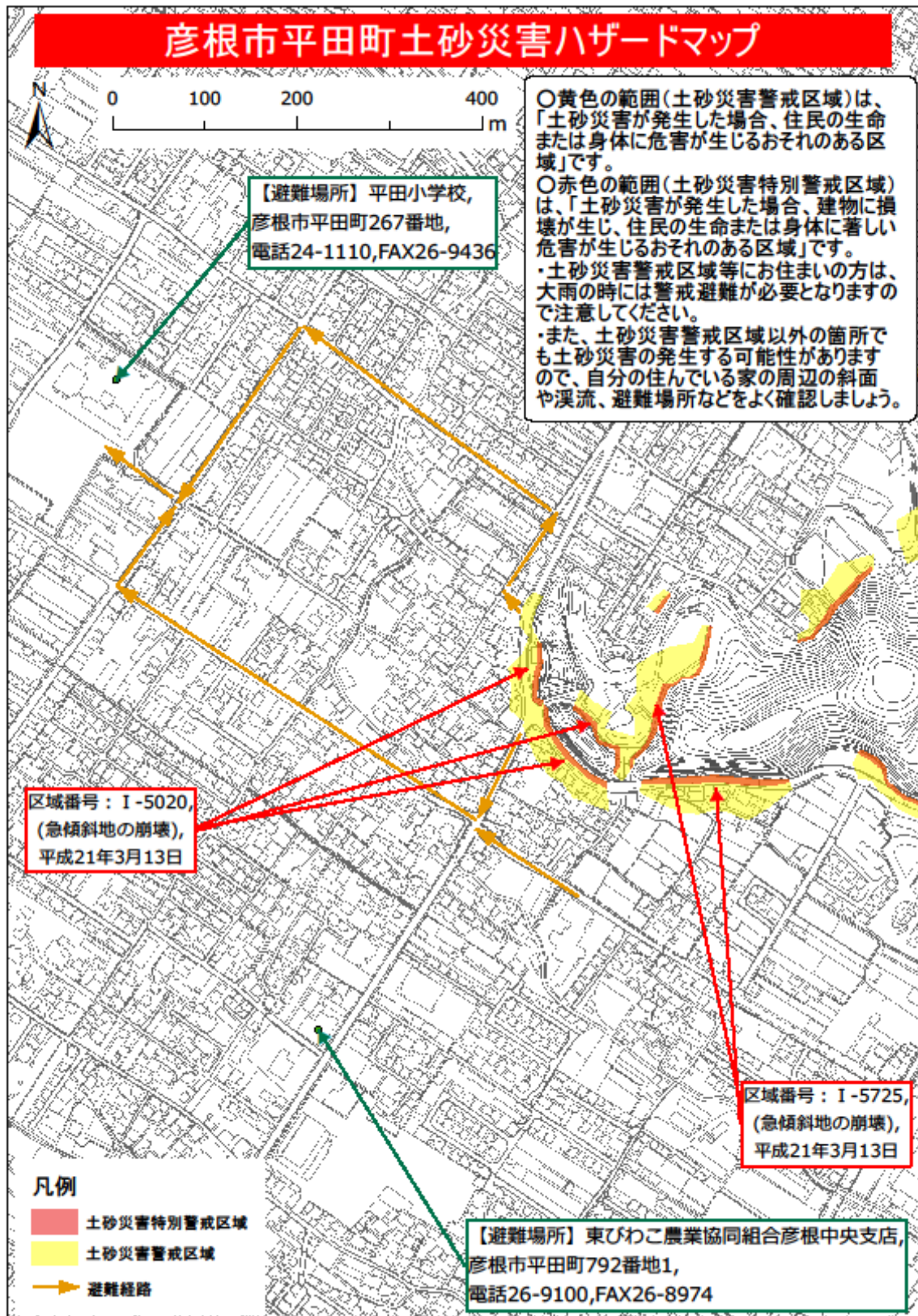
㊤ 芹川町（南芹川地区）



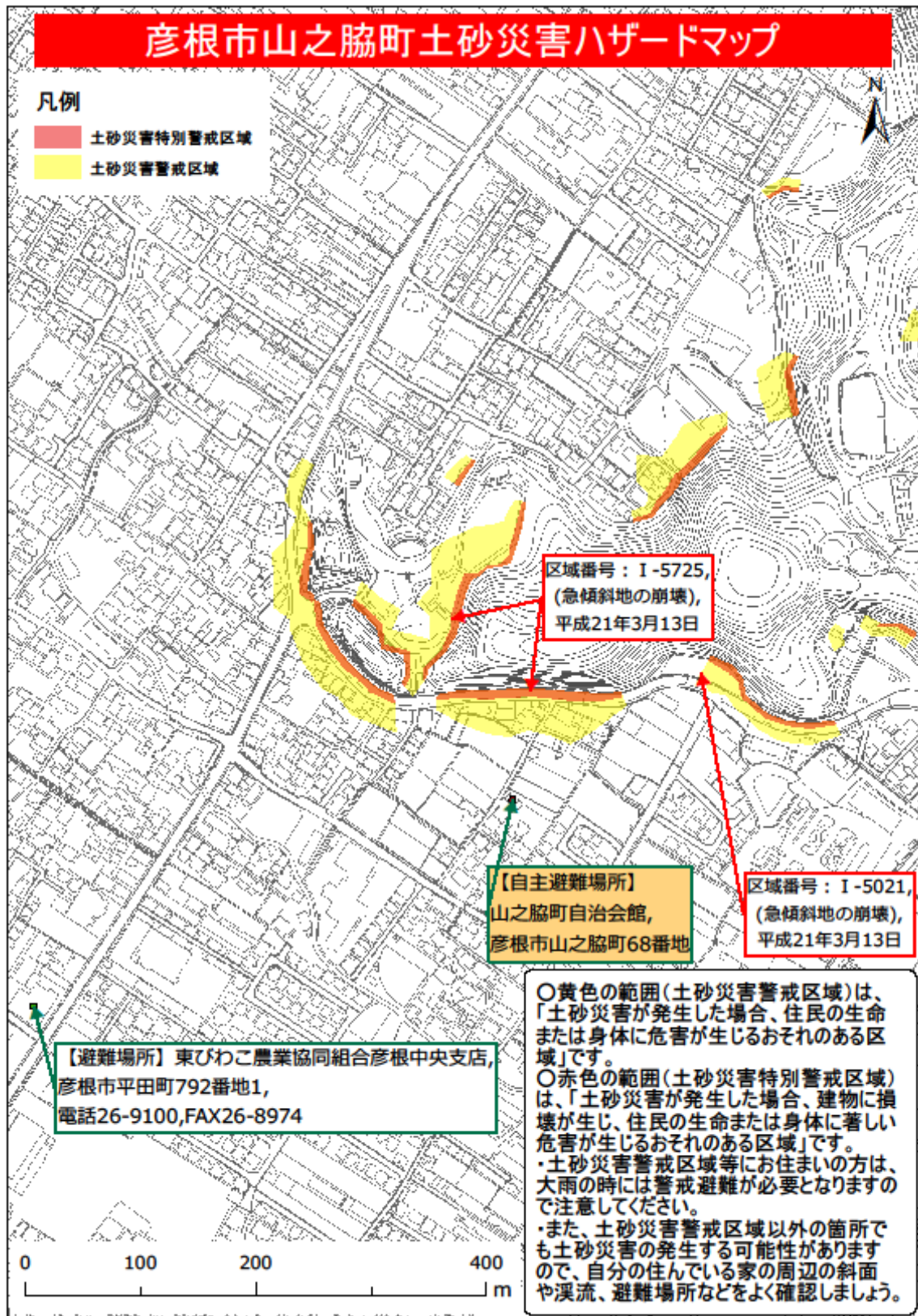
②⑥ 元岡町



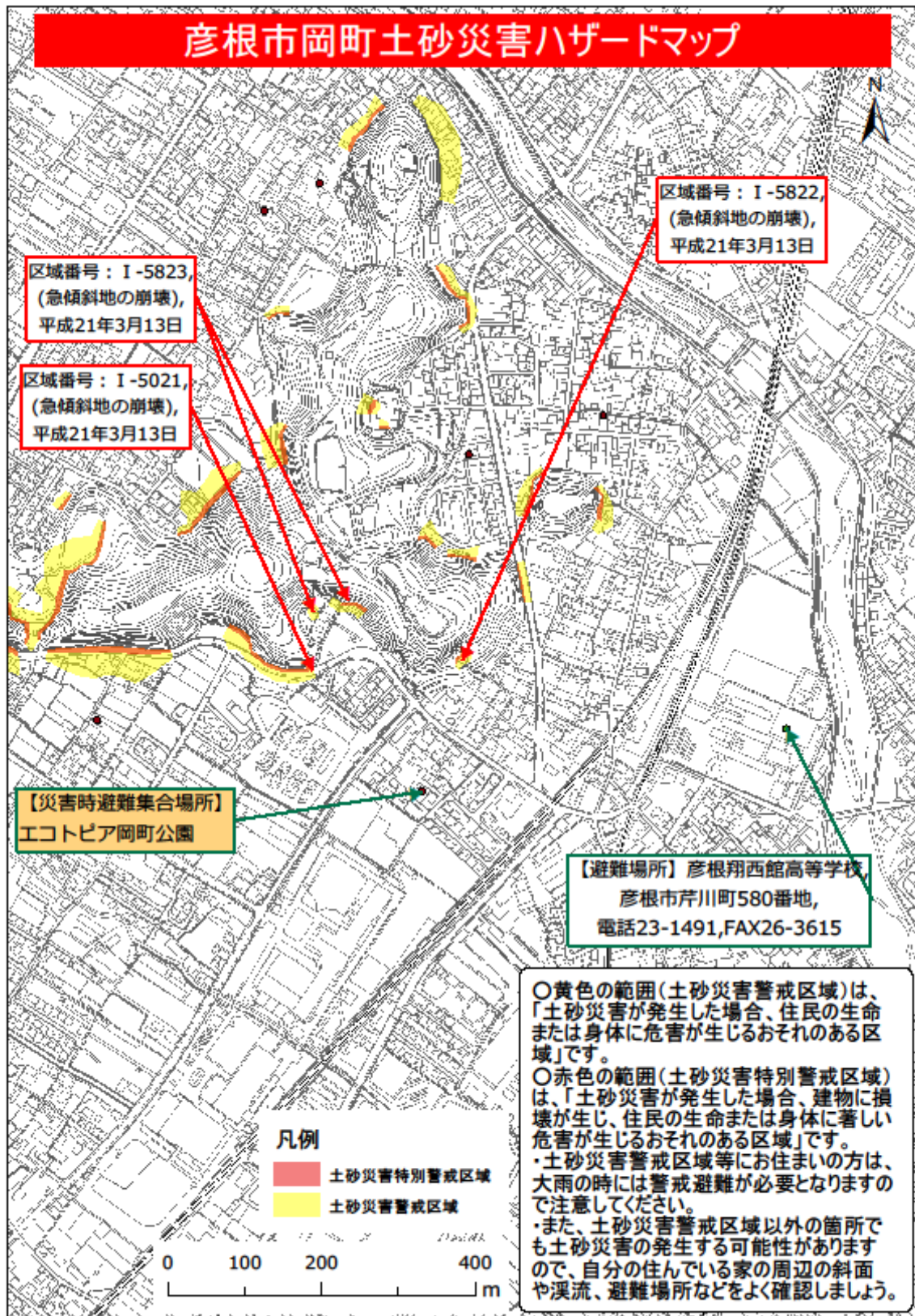
② 平田町



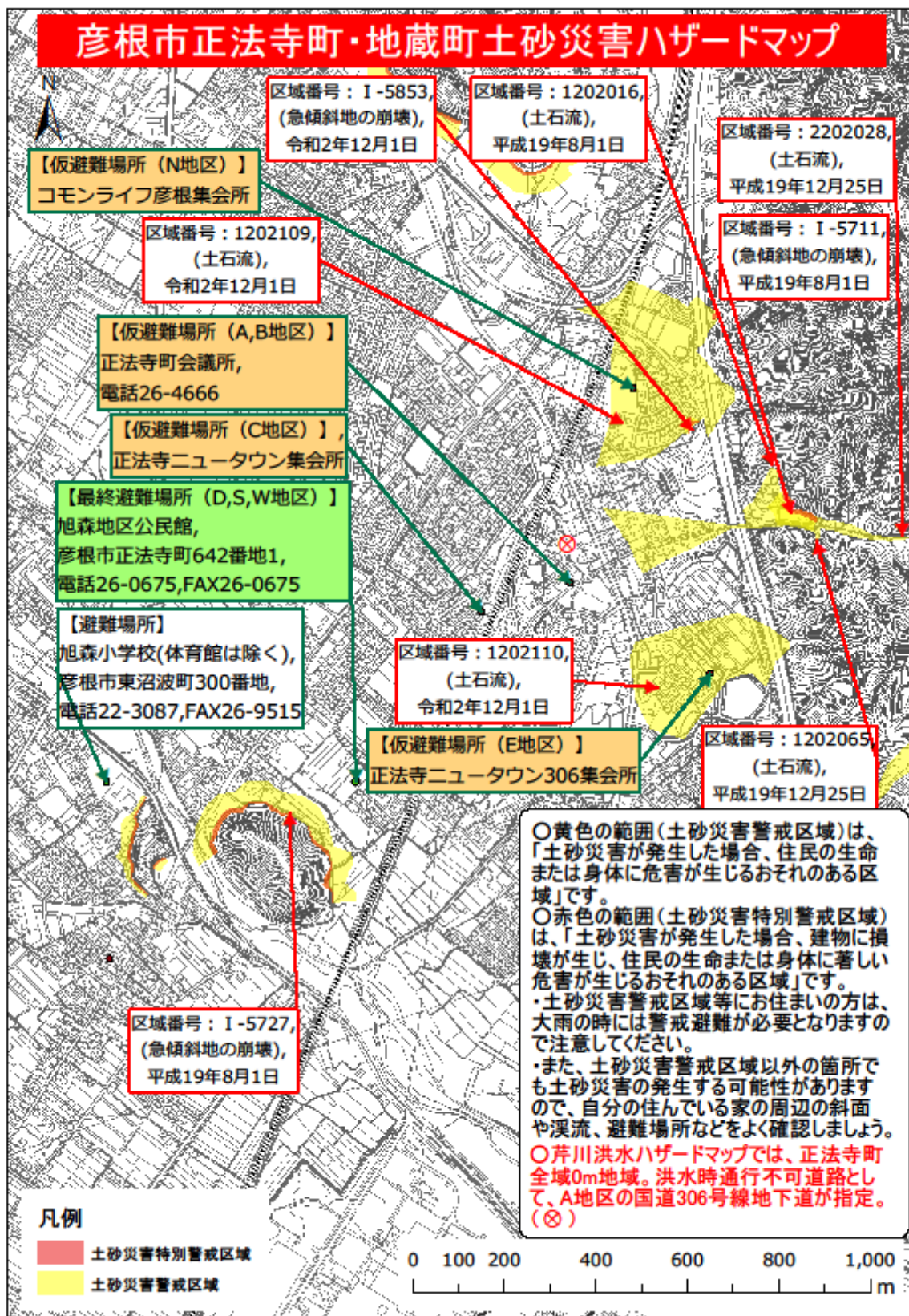
㊸ 山之脇町



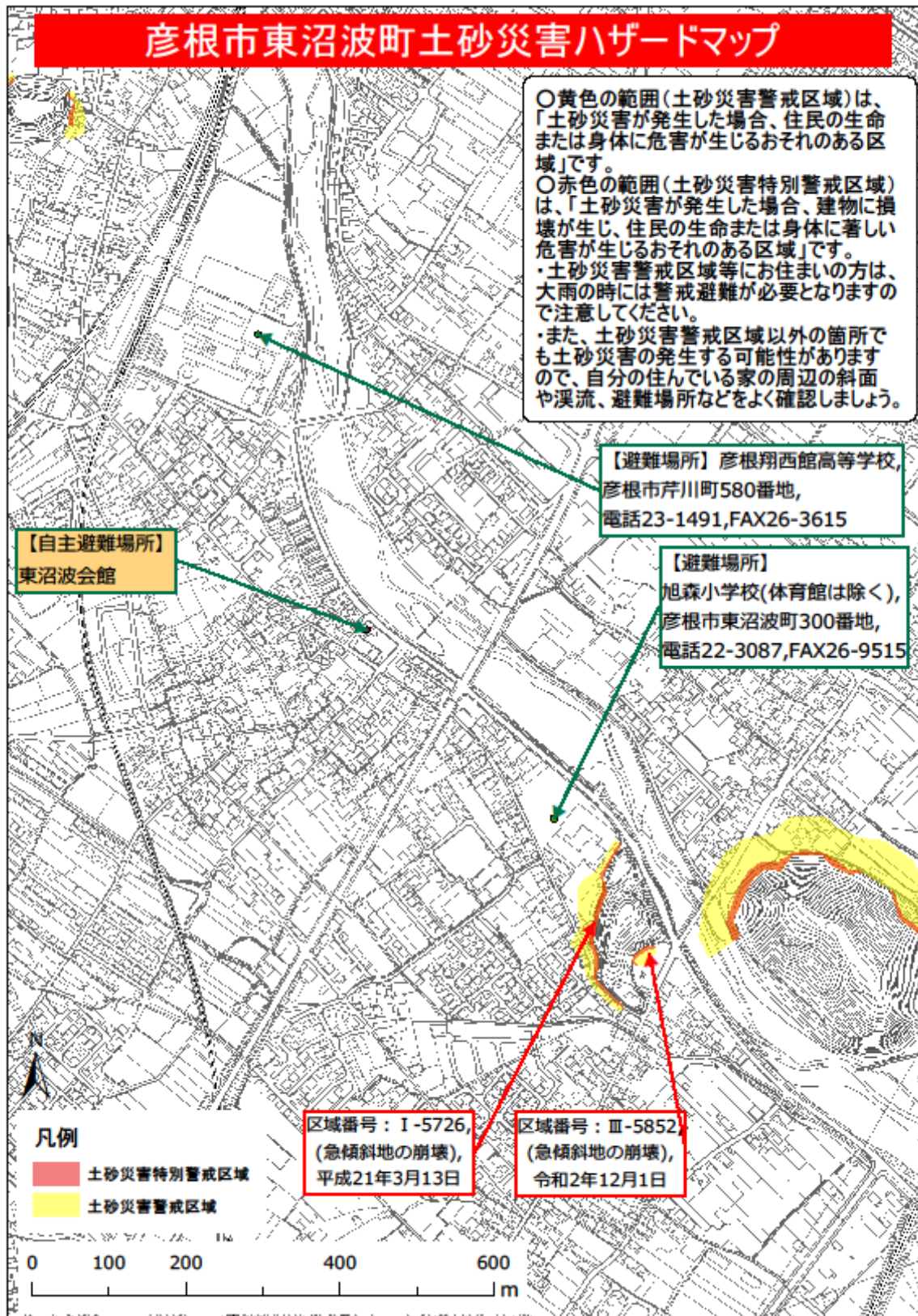
②9 岡町



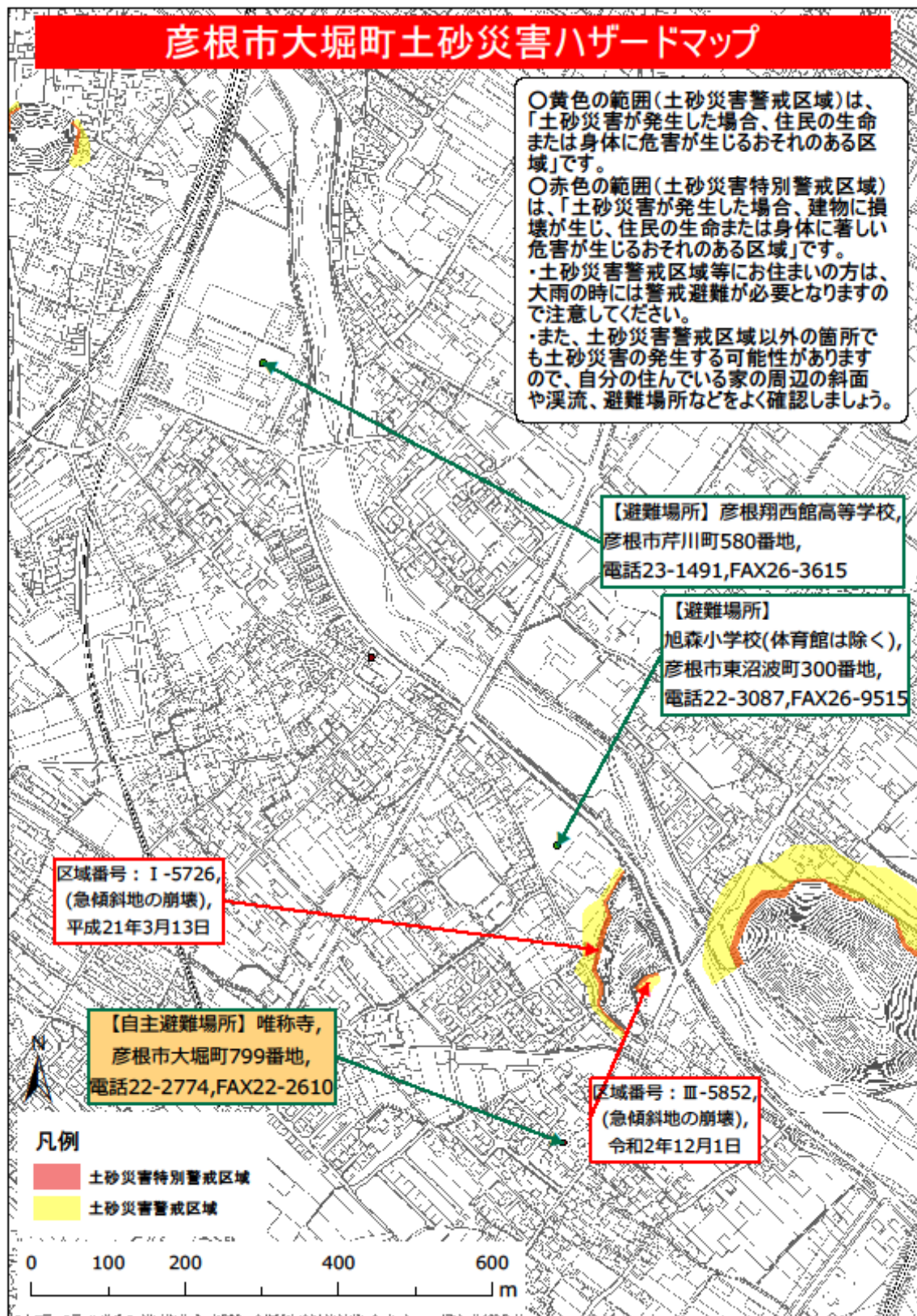
③〇 正法寺町・地蔵町



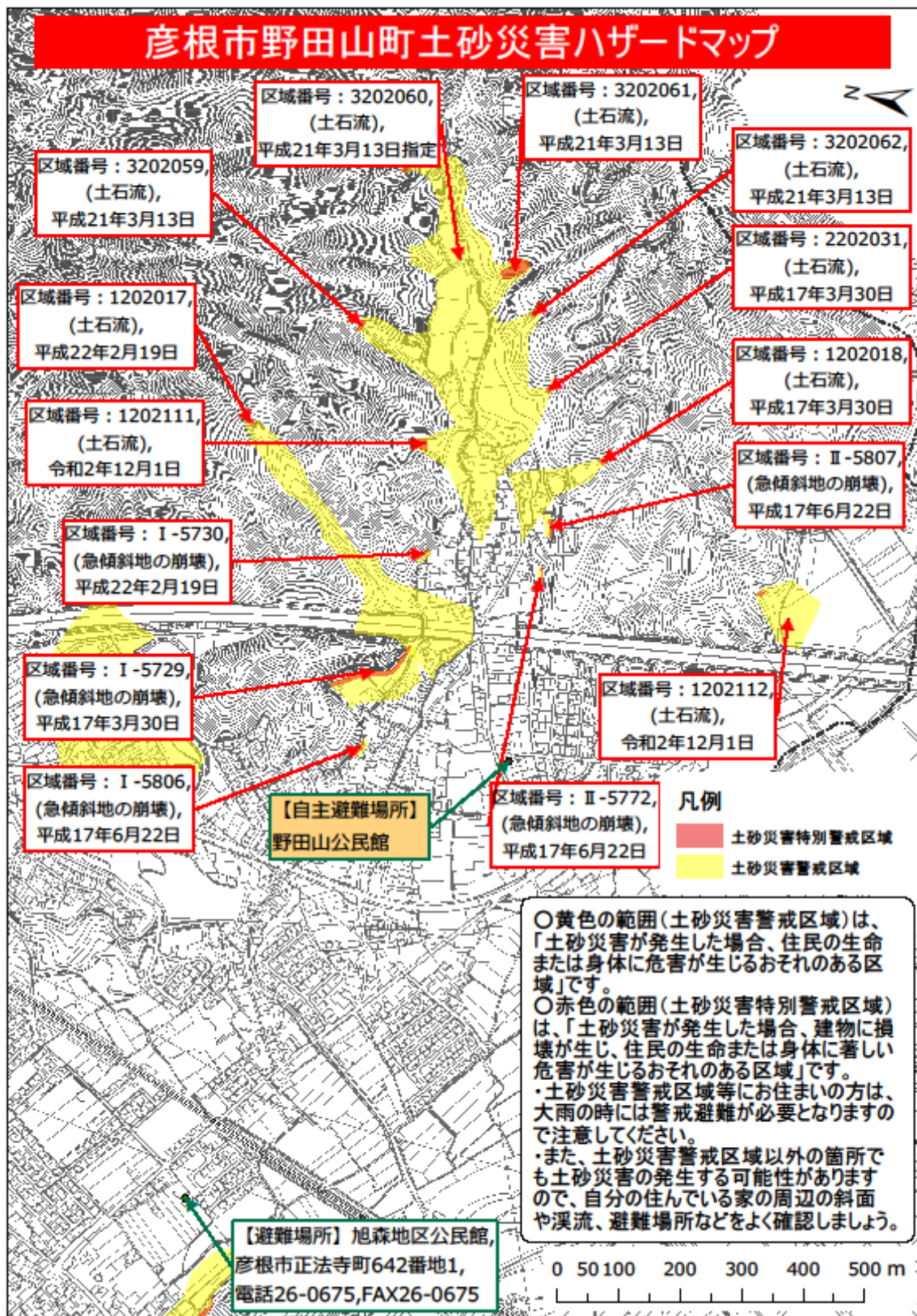
㊸ 東沼波町



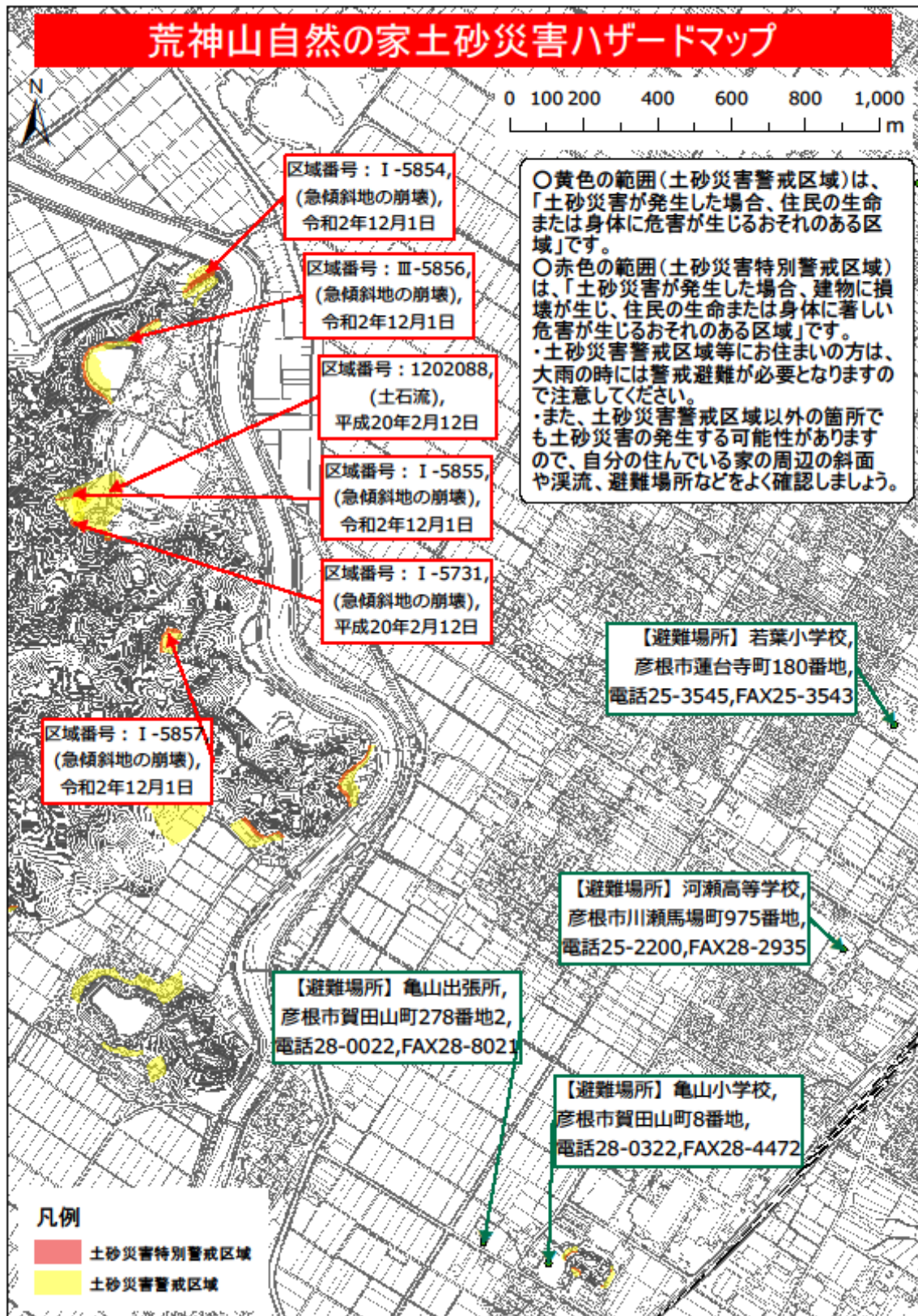
③ 大堀町



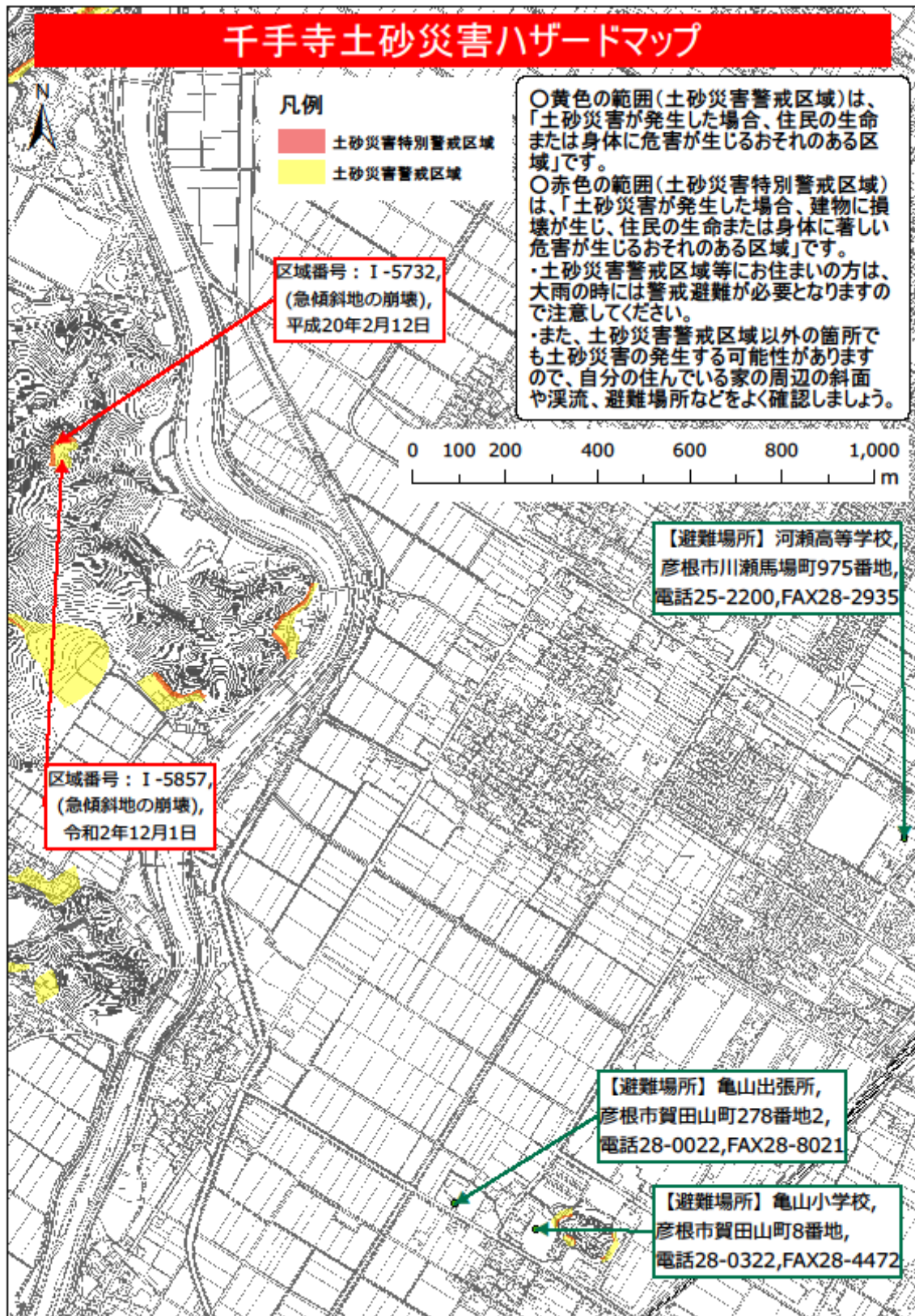
㊸ 野田山町



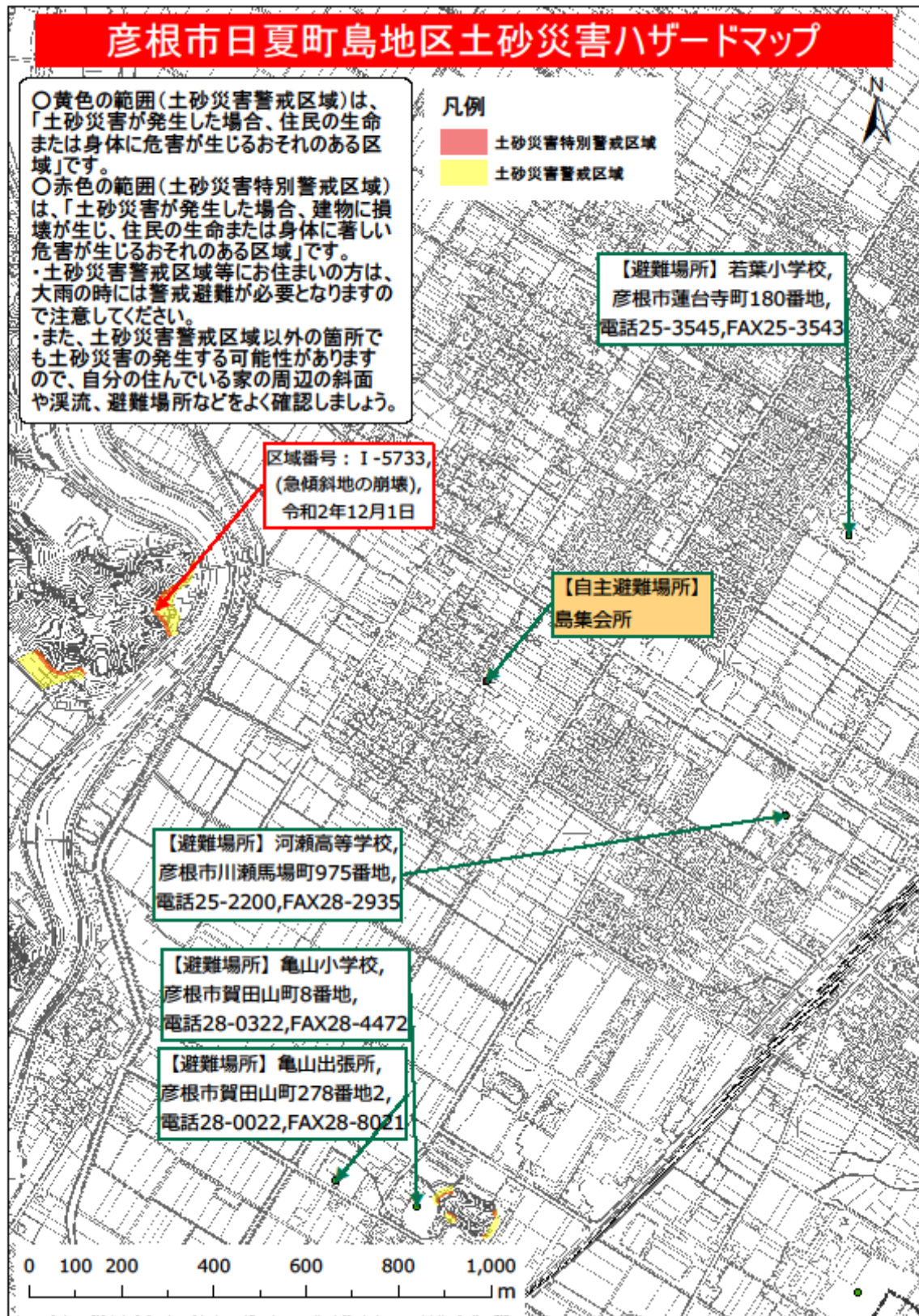
③4 荒神山自然の家



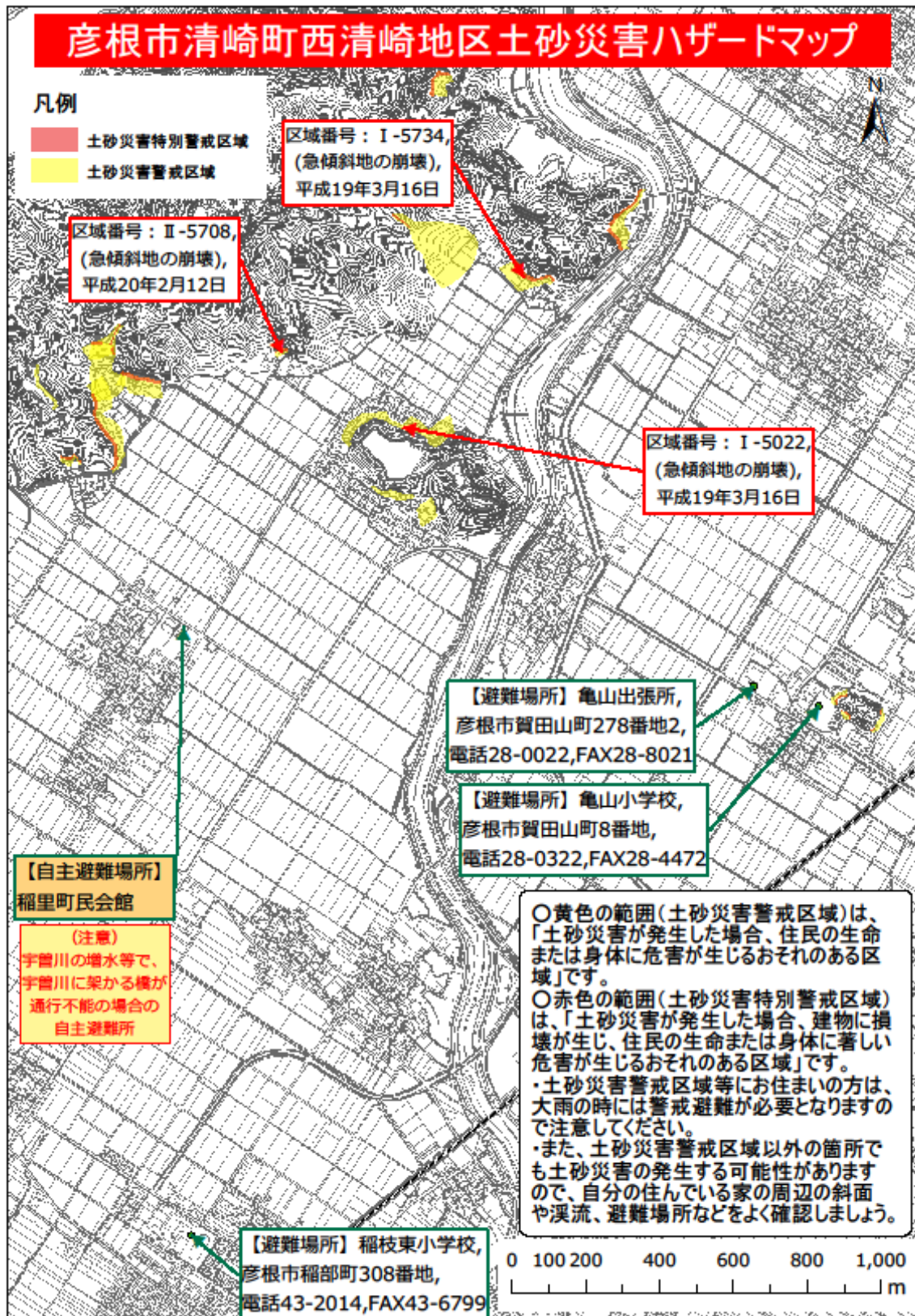
㊦ 千手寺



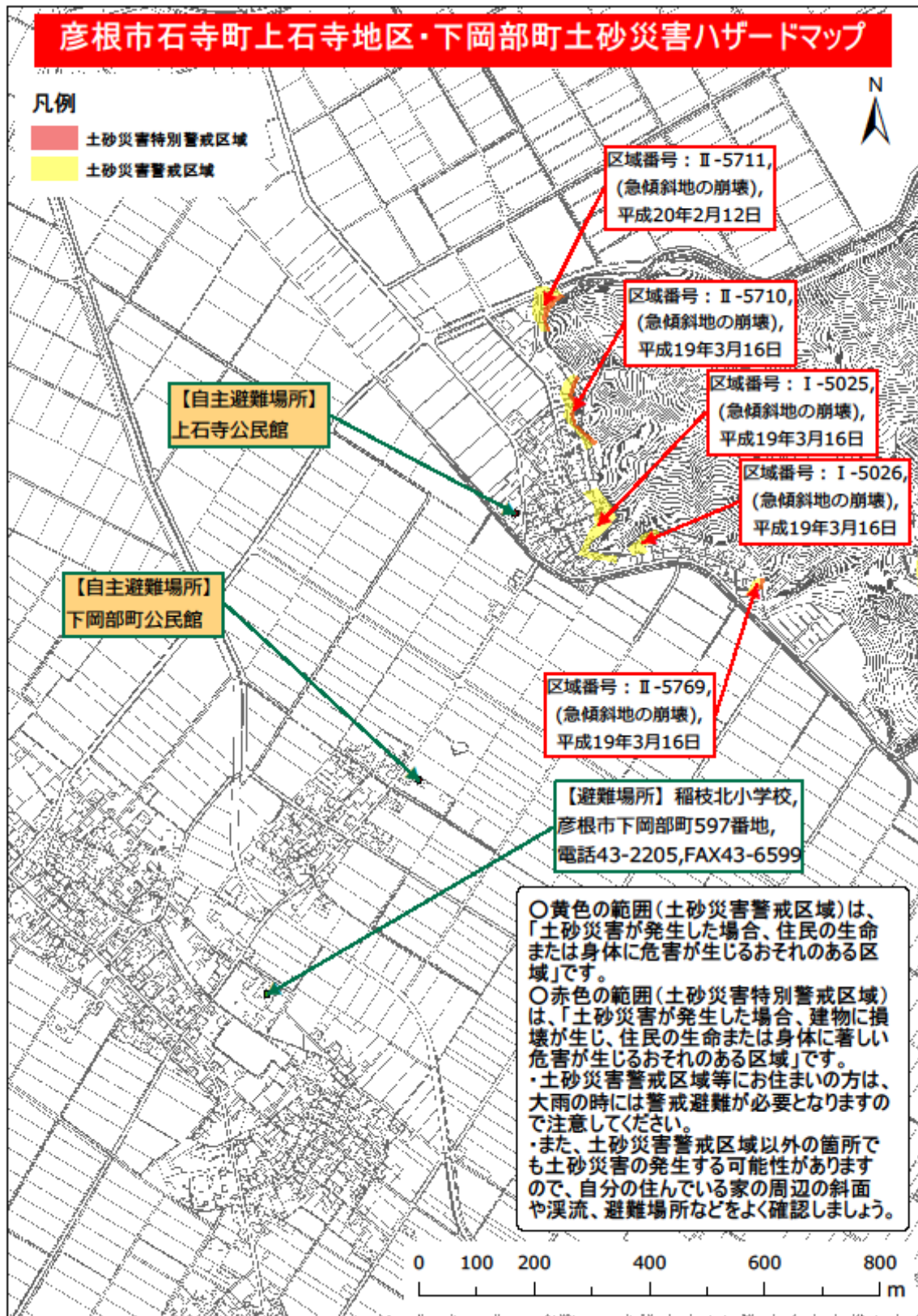
㊼ 日夏町島地区



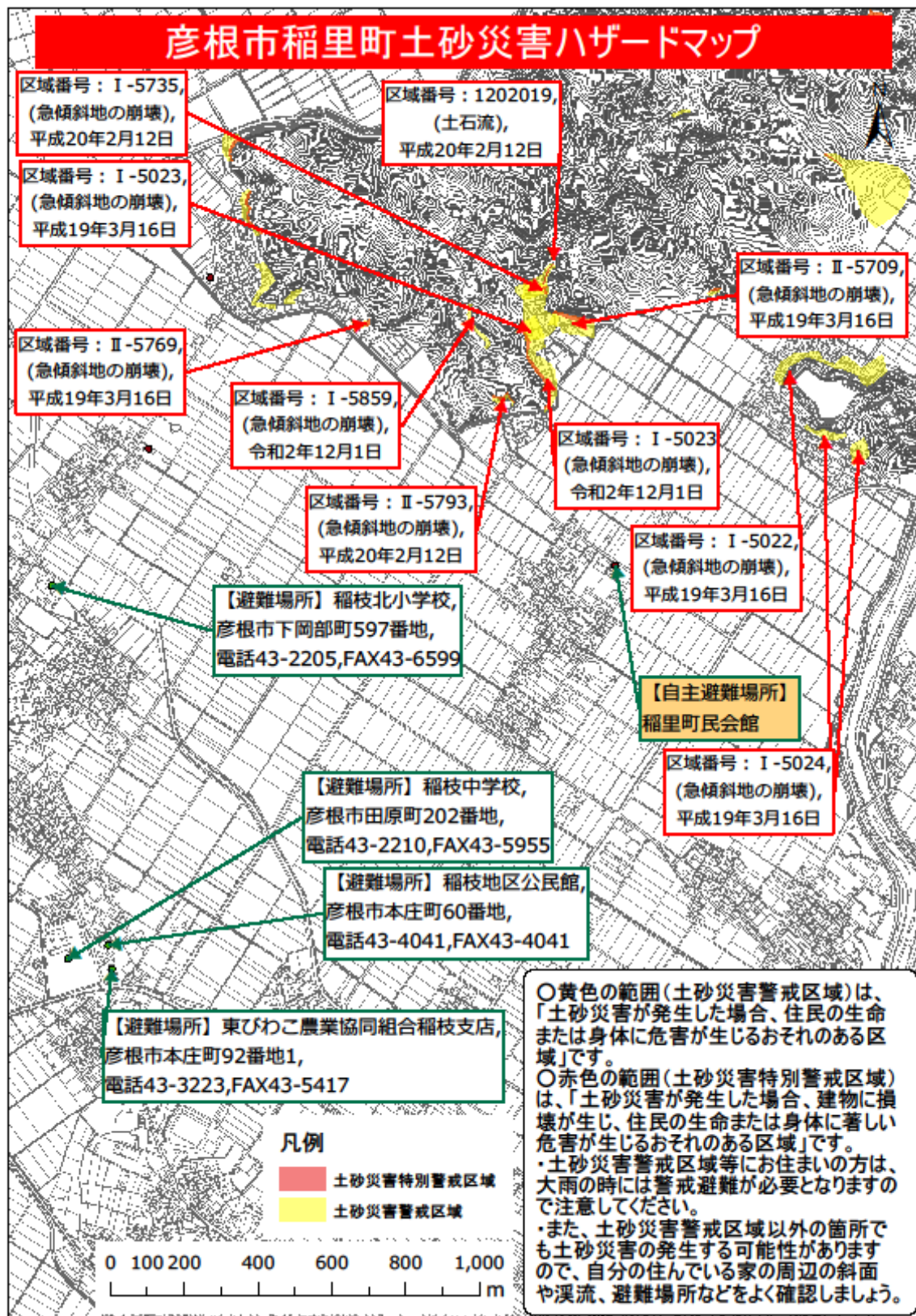
③7 清崎町西清崎地区



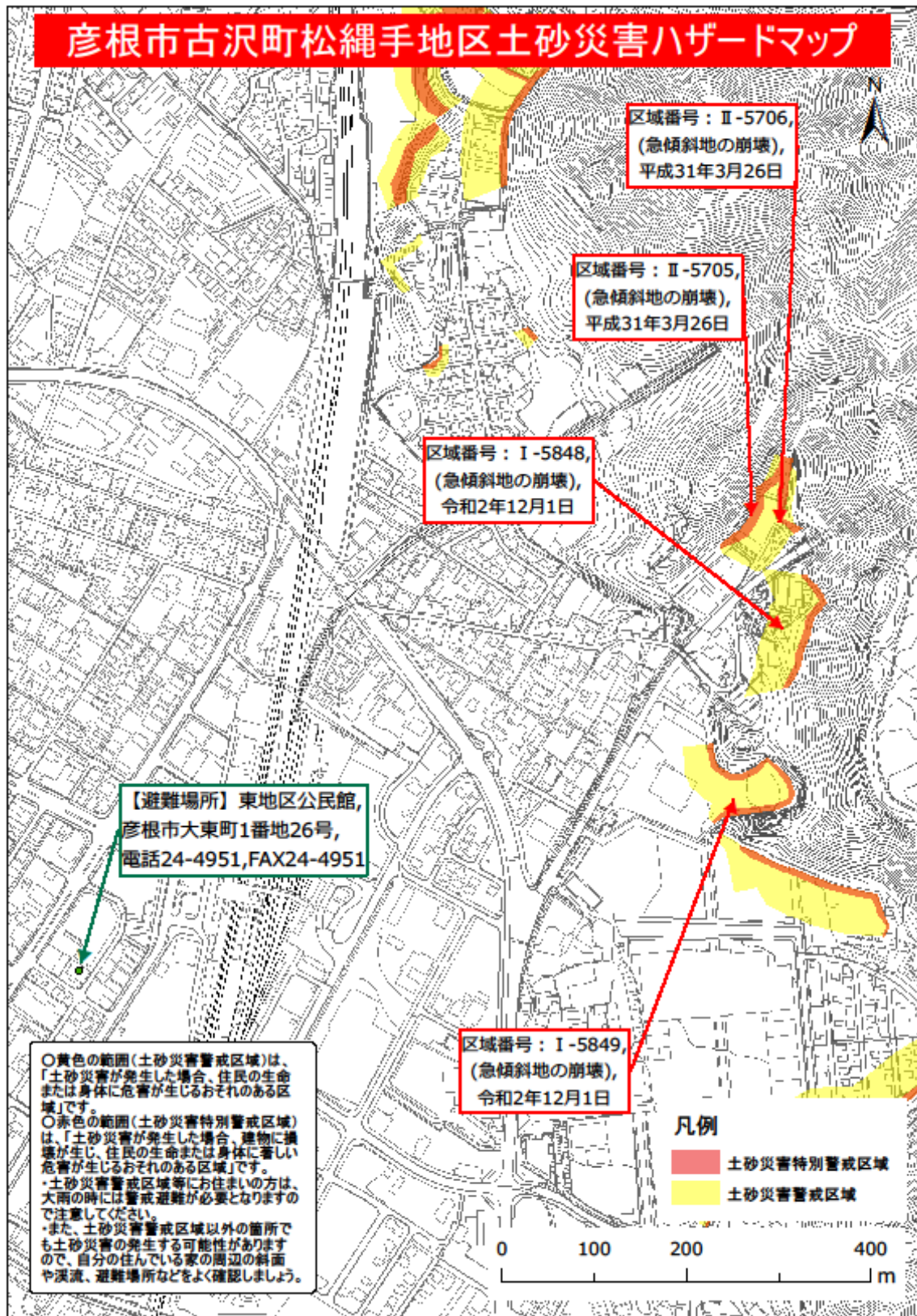
㊸ 石寺町上石寺地区・下岡部町



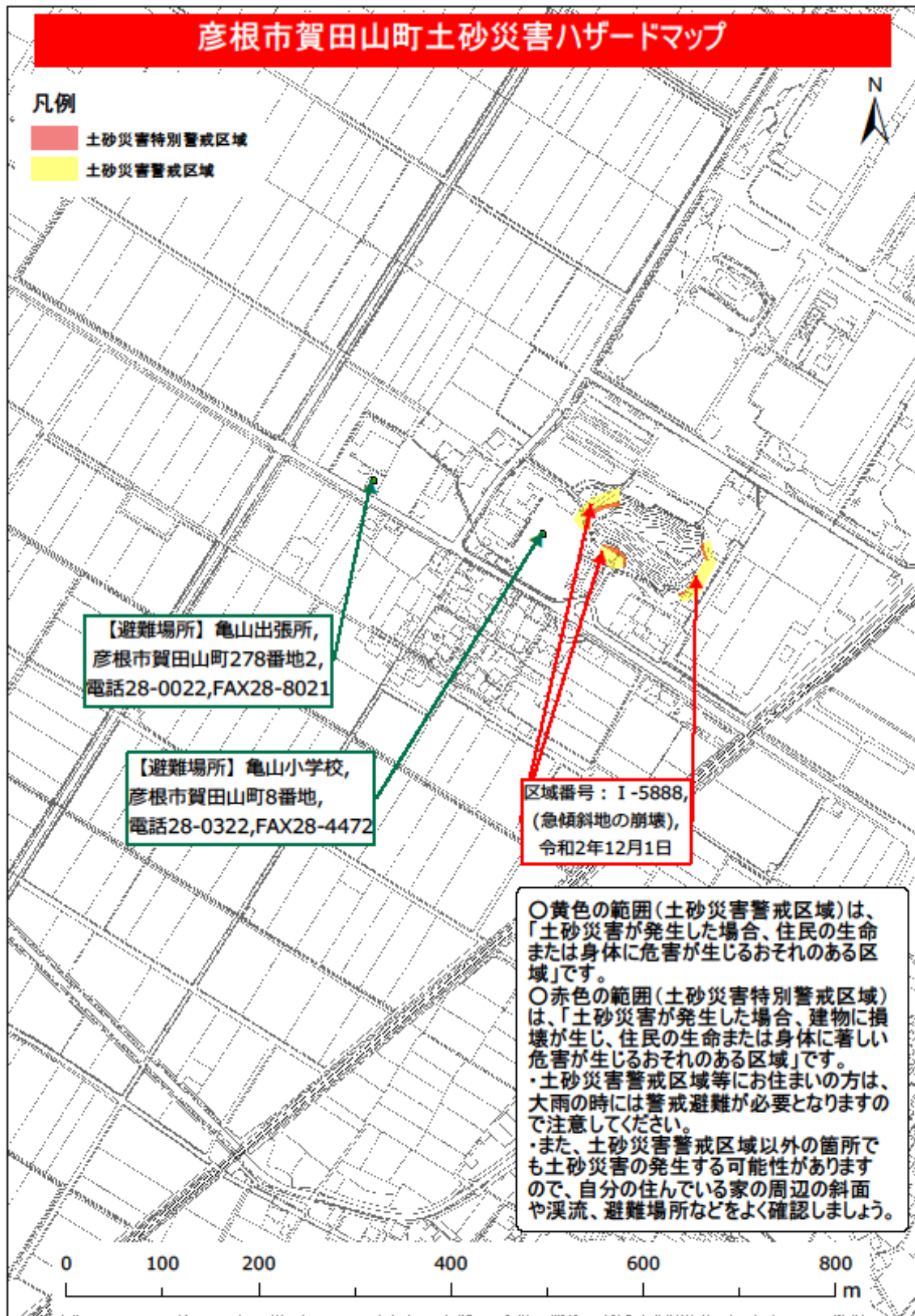
③ 稲里町



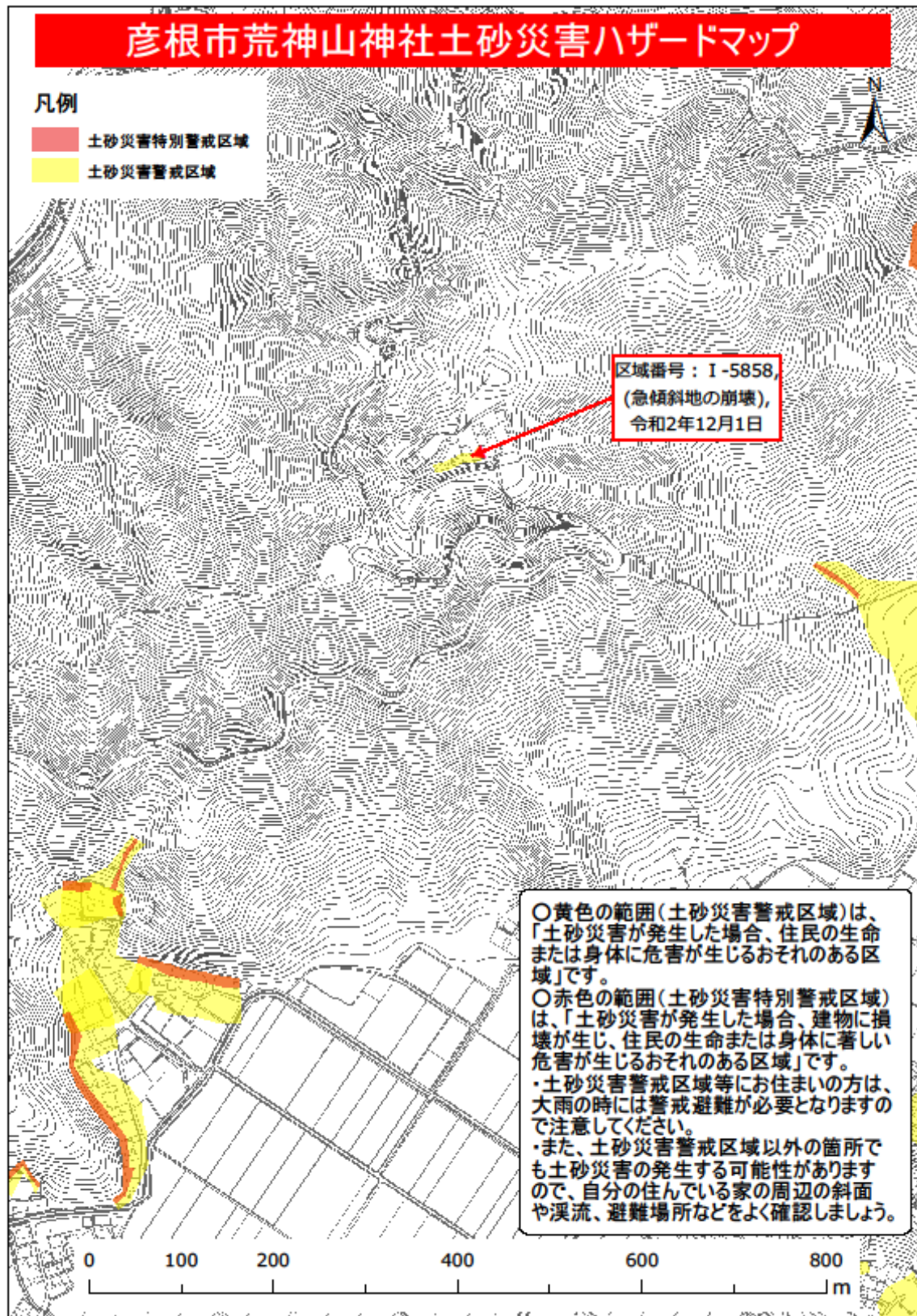
④古沢町松縄手



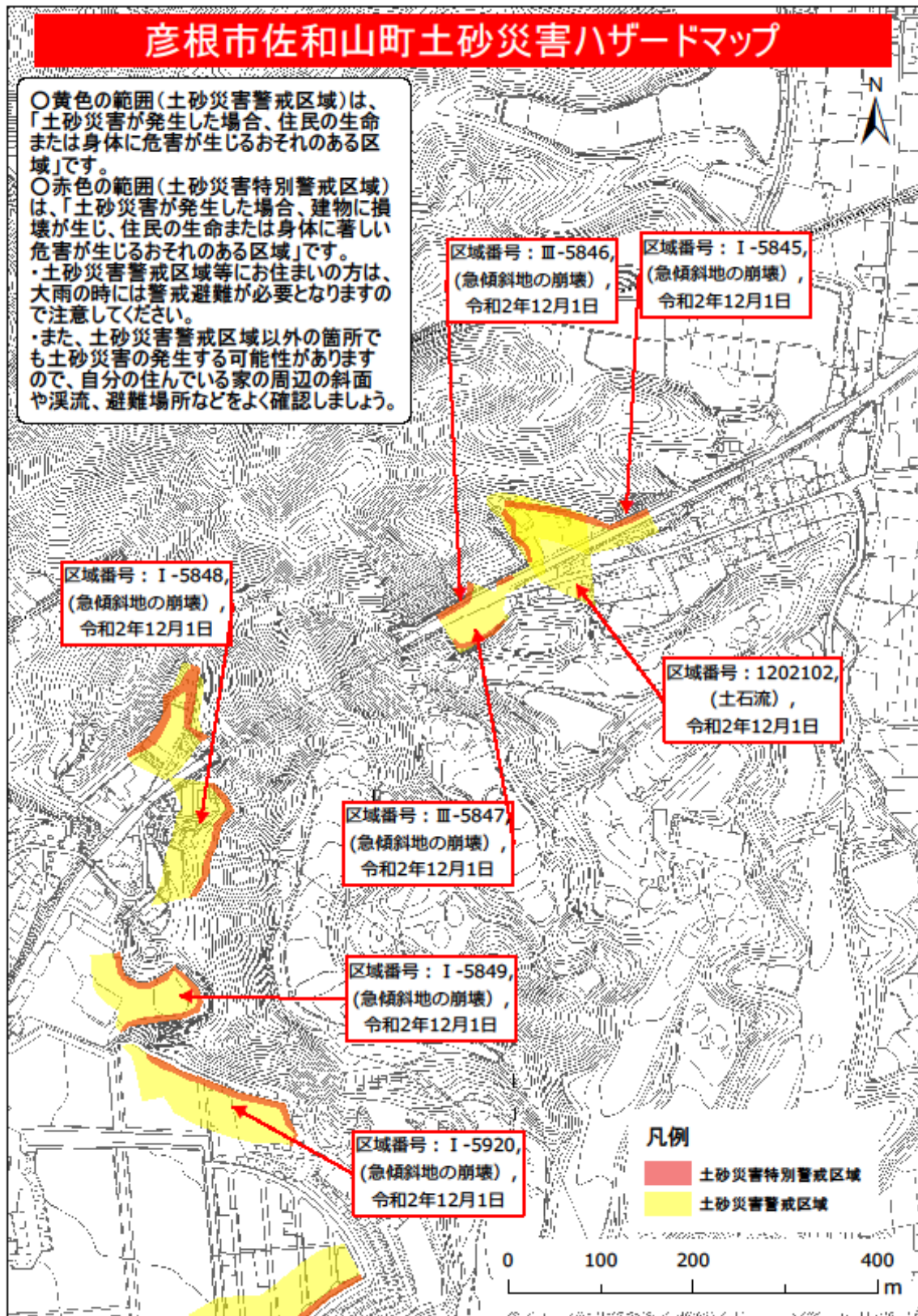
④ 賀田山町



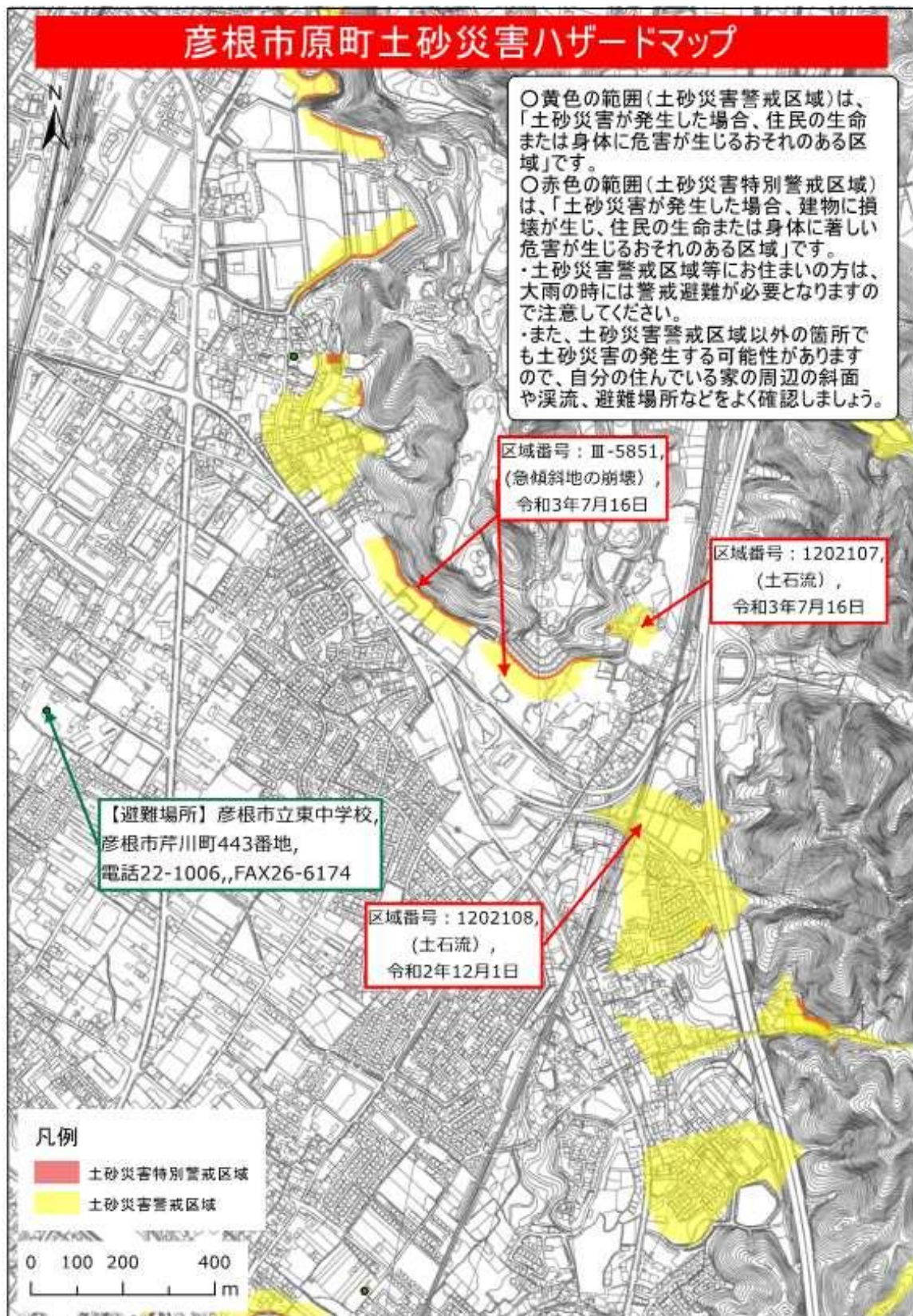
④ 荒神山神社



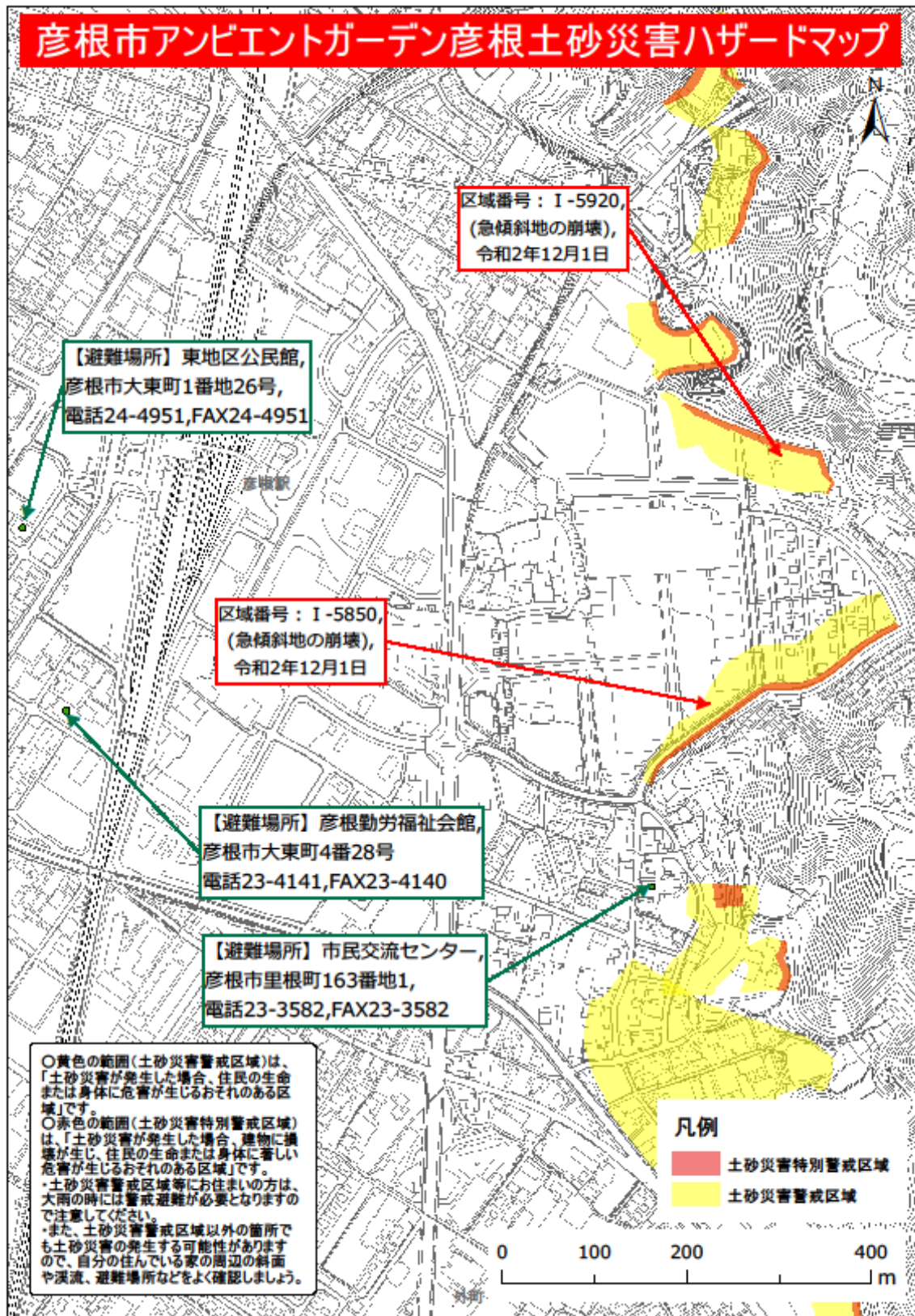
④ 佐和山町



④ 原町



④ アンビエントガーデン彦根



第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

(7) 土砂災害ハザードマップ付属資料

土砂災害ハザードマップ

付属資料

彦根市

土砂災害ハザードマップの活用方法

- ① 土砂災害ハザードマップを見て自分の家を確認し、土砂災害の可能性を知っておきましょう。
- ② 避難場所を確認しましょう。
 - ・ 万一、家族が離ればなれになった時のために、連絡方法や災害時の集合場所も決めておきましょう。
 - ・ 同じ学区でも町内によって避難場所が異なる地区があるので、注意しましょう。
- ③ 避難場所へ行く経路も調べておきましょう。
 - ・ 避難経路を一度歩いてみて、目標物や危険な場所を調べておきましょう。
 - ・ 家から避難場所までの経路近辺に、土砂災害の危険があることも考えられるますので注意しましょう。
- ④ 避難に関する情報の伝達が、だれからどのように行われるか知って、聞き漏らさないようにしましょう。
- ⑤ 土砂災害時の対応をよく理解して、いざという時に自主的に確実かつ安全に避難できるようにしましょう。

土砂災害の危険性

1 地域の土砂災害危険の把握

台風や大雨で一番被害を受けやすいのは、家屋とその周辺です。自分の家がどんな立地条件にあるかを知り、対策をたてます。

① 自分の家が、どんな立地条件のうえに建っているか確認します。

【例】	急な崖が家の裏にある	⇒	がけ崩れに注意
	川に沿った低地	⇒	風と洪水に注意
	谷川に沿った地域や出口	⇒	土石流に注意

② 降雨に関する情報が出たら、家の廻りを点検します。

2 土砂災害の種類と前兆現象

自分の家に起こる可能性がある土砂災害の種類を把握し、次のような前兆現象を見つけた場合は、土砂災害が起こる可能性が大きく、直ちに市役所および消防署に連絡するとともに、周りの人と安全な場所に避難します。

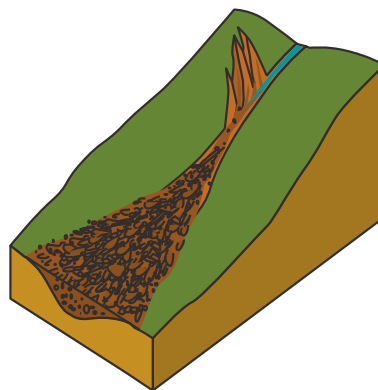
【土石流】

<土石流とは>

多量の岩石や土砂が流水によって運ばれることによって起きます。特に大雨のあとに起きやすく、川底や山腹の斜面の地盤を削って雪だるまのようにふくらみながら高速で下流を襲うので住宅や田畑が壊滅状態になります。

<前兆現象>

- ・ 谷川の水が濁る。流木混ざる。
(上流で山が崩れ、その土砂で水が濁り、立木や流木が巻き込まれている)
- ・ 谷川の水が急に少なくなる。
(上流で山崩れが起こり、一時的に水をせき止めている。次は、一気に流れ出す可能性が高く、極めて危険)
- ・ 遠雷のような音がする。
- ・ 地鳴りや山鳴りがする。
(岩がぶつかったり、木が折れたり、斜面が崩れたときの音がする)
- ・ こげたような異様な臭いがする。
(石と石とが衝突して火花を発生し、こげたような臭いがする)



【がけ崩れ】

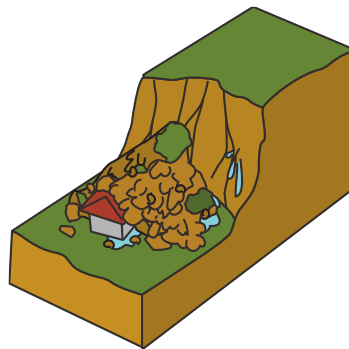
<がけ崩れとは>

大雨が降り続いて地中に水がしみこむと土の抵抗力が弱くなり、更に雨が降り続くことにより急激に斜面が崩れ落ちてしまう現象をいいます。

崩れ落ちるスピードが大変速いために、人家の近くなどで起きるとたくさんの人が逃げ遅れて犠牲者が出ます。

<前兆現象>

- ・ 斜面の途中から水が吹き出す。
(地中の水が新たに水道を作ったか、
普段は流れない水道に水が流れ始めた)
- ・ 小石がぱらぱらと落ちる。
(土の粘着性が弱くなっている。)
- ・ 樹木が倒れたり、揺れたりする。
(がけの上部で、地面が動いている。)
- ・ 地鳴りや山鳴りがする。
(地中や山の奥で山崩れなど異常が発生している。)



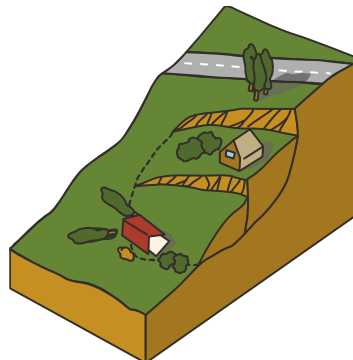
【地すべり】

<地すべりとは>

比較的なだらかな斜面で起きやすく、大雨の降った後などに斜面の一部あるいは全体が、滑りやすい地層などを滑り面にしてゆっくりと滑り落ちる現象です。非常に広い範囲に渡って大きな被害をもたらし、いったん起きると斜面の上の家屋や樹木が倒壊したり田畑が壊滅的な打撃を受けてしまいます。

<前兆現象>

- ・ 地面にひび割れができる。
- ・ 斜面から水がふきだす。
- ・ 沢や井戸の水がにごる。
- ・ 樹木が倒れたり、揺れたりする。
- ・ 地鳴りや山鳴りがする。



避難情報の種類と、とるべき行動

避難情報の種類	発令時の状況	みなさんがとるべき行動
高齢者等避難	要配慮者等、特に避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない状況であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況	・要配慮者等、特に避難行動に時間を要する方は、計画された避難場所への避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始） ・上記以外の方は、家族との連絡、非常用持ち出し品の用意等、避難準備を開始。
避難指示	通常の避難行動ができる方が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	通常の避難行動ができる方は、計画された避難場所への避難行動を開始。
緊急安全確保	・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が高いと判断された状況 ・人的被害の発生した状況	・避難情報等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了 ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動

非常持ち出し品を備えましょう

- ☐非常食・飲料水（3日分）
 ☐携帯ラジオ（電池）
 ☐懐中電灯
☐貴重品（現金・保険証）
 ☐救急医療品
 ☐衣服・タオル
☐雨具・ロープ
 ☐生理用品等
 ☐スペアキー
☐その他必要な物

要配慮者への協力

- 高齢者・病気の人には
複数の人で対応しましょう。急を要するときは、おぶいひもなどを使って背負い、安全な場所へ避難しましょう。
- 目の不自由な人には・・・
「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけましょう。話しかける相手の声が頼りなので、話すときは、はっきりゆっくり、大きな声で、誘導するときは、杖を持っていない方のひじの上のあたりを軽く触れるか、腕をかして、半歩前くらいをゆっくり歩きましょう。
- 体の不自由な人には・・・
それぞれの人に適した誘導方法を確認しましょう。車椅子の場合は、必ず3人で協力し、上がるときは前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。
- 耳の不自由な人には・・・
話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。
口頭で伝わりにくいようであれば、紙とペンで筆談をしましょう。
紙やペンがなければ、相手の手のひらに指で字を書いて筆談しましょう。

災害情報の入手手段

—災害などに備えましょう—

○ 彦根市メール配信システム

あらかじめ登録していただいている方にメールで情報を配信しています（多言語配信もあります。）。

○ アプリ「彦根市 LINE 公式アカウント」

防災情報のほか、各種イベントやごみの出し方の情報などを掲載しています。

○ アプリ「Yahoo!防災速報」「全国避難所ガイド」

市の避難情報や気象情報等、様々な防災情報を確認できます。

○ 同報系屋外放送設備（防災スピーカー）

屋外に設置したスピーカーを使用して、避難情報や緊急情報などを放送します。

○ ダイヤルサービス

050-5533-8171に電話することで、災害情報等に関するメール配信の内容や同報系屋外放送設備での放送内容を自動応答で確認できます。

○ 彦根市民防災マニュアル ※市内全戸へ配布した黄色の冊子

災害に備えてのマニュアルです。市内の避難場所の確認もできます。

○ 彦根市災害用ツイッター（彦根市防災@bousai_hikone）

災害時には、市内の被害状況や避難施設情報をつぶやきます。

○ 彦根市ホームページ（緊急情報）（<https://www.city.hikone.lg.jp/>）

「彦根市緊急情報」を表示し、避難情報などの緊急情報を知らせます。

○ ラジオ エフエムひこね（78.2MHz）

災害時には、市内の被害情報や、避難施設情報を発信しています。

○ NTTドコモ「エリアメール」ソフトバンク・KDDI・楽天モバイル「緊急速報メール」

避難情報などの緊急連絡手段、配信時に彦根市内にいる各社の対象端末を持つ方が対象となります。

彦根市メール配信システムをご利用ください

—安心・安全情報をメールで配信します—

彦根市では、災害情報、防犯情報、火災情報を、いち早く市民の皆さんの「携帯電話」や「パソコン」にメール配信するサービス（登録無料）を提供しています。

※一部の情報を除き、登録された方が配信情報を選択することが可能です。

1 利用方法

◆ ① 空メールを送信してください

メールの配信を希望される人は、ご自分の携帯電話やパソコンから次のメールアドレスに空メールを送信してください。

アドレス・・・touroku@hikone-city.jp

※二次元コード読み取り機能があれば、右のQRからもアクセスできます。



日本語



English



Português



中文



한국어



Tiếng Việt

◆ ② 登録用のメールが返信されますので、記載してある URL から登録画面に進んでください

配信希望を登録するための URL 入りのメール(配信元アドレス：jouhou@hikone-city.jp)にアクセス（接続）してください。

◆ ③ 配信を希望する項目を選び、登録作業を行ってください

5 地震関係

(1) Jアラートシステム設置施設一覧

(令和7年4月1日現在)

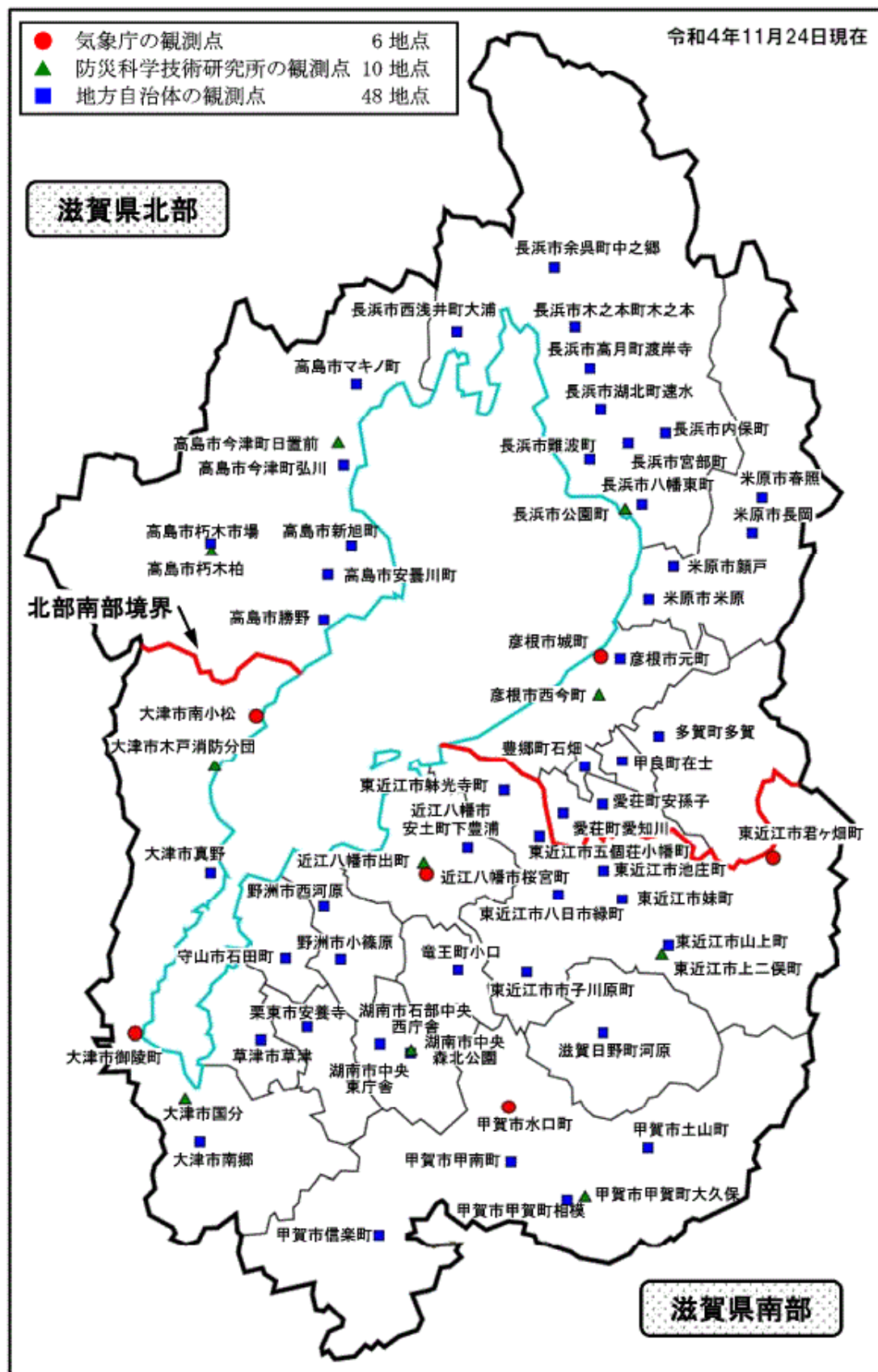
施設名	所在地	施設名	所在地
城東小学校	京町二丁目	医療情報センター	八坂町
城西小学校	本町三丁目	稲枝西小学校	本庄町
金城小学校	大藪町	西中学校	金亀町
城北小学校	松原町	中央中学校	西今町
佐和山小学校	安清町	東中学校	芹川町
旭森小学校	東沼波町	鳥居本中学校	鳥居本町
平田小学校	平田町	南中学校	甘呂町
城南小学校	西今町	彦根中学校	西葛籠町
城陽小学校	甘呂町	稲枝中学校	田原町
若葉小学校	蓮台寺町	彦根幼稚園	本町一丁目
鳥居本小学校	鳥居本町	高宮幼稚園	高宮町
高宮小学校	高宮町	平田こども園	平田町
河瀬小学校	極楽寺町	稲枝東幼稚園	稲部町
亀山小学校	賀田山町	旭森幼稚園	東沼波町
稲枝東小学校	稲部町	城北幼稚園	松原町
佐和山幼稚園	芹川町	市民交流センター(東山児童館含む)	里根町
城陽幼稚園	日夏町	福祉センター	平田町
東保育園	安清町	ひこね市文化プラザ	野瀬町
西保育園	長曽根町	高宮地域文化センター(出張所含む)	高宮町
ふたば保育園	金剛寺町	みずほ文化センター	田原町
子どもセンター	日夏町	人権・福祉交流館	犬方町
発達支援センター	平田町	亀山出張所	賀田山町
東地区公民館	大東町	市役所(別館含む)	元町
西地区公民館	本町一丁目	図書館	尾末町
稲枝地区公民館	本庄町	障害者福祉センター	平田町
旭森地区公民館	正法寺町	グリーンピアひこね	清崎町
鳥居本地区公民館(出張所含む)	鳥居本町	彦根城博物館	金亀町
河瀬地区公民館(出張所含む)	森堂町	清掃センター	野瀬町
中地区公民館	大藪町	消防本部他3施設 注4)	西今町
荒神山自然の家	日夏町	稲枝支所	田原町
市役所中央町別館	中央町	南地区公民館	甘呂町
くすのきセンター	八坂町	彦根市スポーツ・文化交流センター	小泉町

注1) Jアラートシステムは、彦根市の公的施設をカバーしている光回線網を構築している施設の館内放送設備を利用して緊急地震速報を伝達する。なお、今後は、回線を構築できた施設に対して整備を図るものとする。

2) 放送内容「(警報音)緊急地震速報 大地震です。大地震です。」と地震が到達するまで繰り返し放送。警報音(チャイム音)は、NHKで採用されているものと同一のものを利用。3) 放送された速報が誤報であった場合は、「ただいまの地震は誤報でした」と放送

4) 消防本部他3施設(消防北分署、消防南分署、消防犬上分署)

(2) 滋賀県の観測点配置図



(3) 気象庁震度階級関連解説表

使用にあたっての留意事項

- ア 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。
- イ 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。
- ウ 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の1回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。
- エ この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- オ この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。
- カ この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
まれに わずか 大半 ほとんど	極めて少ない。めったにない。 数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。 半分以上。ほとんどよりは少ない。 全部ではないが、全部に近い。
が(も)ある、 が(も)いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

※ 気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して、震度計の観測から得られる震度と区別しています。

第1部 災害リスクに関する資料

5 地震関係

(ア) 人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がある。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もある。	電灯のつり下げものが、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もある。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がある。
5 弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5 強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6 弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6 強	立っていることができず、はわないと動くことができない。 揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が増える。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに増える。補強されているブロック塀も破壊するものがある。

(イ) 木造建物（住宅）の状況

震度 階級	木造建物(住宅)	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5 弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5 強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6 弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6 強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。 傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

(注 1) 木造建物（住宅）の耐震性により 2 つに区分けした。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和 56 年（1981 年）以前は耐震性が低く、昭和 57 年（1982 年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 2) この表における壁の木造のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁（割り竹下地）、モルタル仕上壁（ラス、金網下地を含む）を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

(注 3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

(ウ) 鉄筋コンクリート造建物の状況

震度 階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5 強	—	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6 弱	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6 強	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1 階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1 階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1 階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが多くなる。

(注 1) 鉄筋コンクリート造建物では、建物年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和 56 年（1981 年）以前は耐震性が低く、昭和 57 年（1982 年）以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 2) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

第1部 災害リスクに関する資料

5 地震関係

(エ) 地盤・斜面等の状況

震度 階級	地盤の状況	斜面などの状況
5 弱	亀裂(※1)や液状化(※2)が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5 強		
6 弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6 強	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある(※3)。
7		

※1 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※2 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※3 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形などによっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

(オ) ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター(マイコンメーター)では震度 5 弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まる(※)。
断水、停電の発生	震度 5 弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある(※)。
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度 4 程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。(安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。)
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問い合わせが増加し、電話等がつながりにくい状況(ふくそう)が起こることがある。そのための対策として、震度 6 弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度 5 弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※ 震度 6 強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。

(カ) 大規模構造物への影響

長周期地震動(※)による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長いこと、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱い OA 機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらないうち、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング(タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象)が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※ 規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなることもある。

(4) 大規模な地震に関する情報の種類と発表条件

ア 南海トラフ地震に関連する情報

「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高くなっていることなどをお知らせするもので、この情報の種類と発表条件は以下のとおりです。

「南海トラフ地震に関連する情報」の種類及び発表条件

「南海トラフ地震に関連する情報」は、以下の2種類の情報名で発表します。

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 - 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震関連解説情報	- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く） ※すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります

気象庁 HP から抜粋

イ 「南海トラフ地震臨時情報」に付記するキーワードと各キーワードを付記する条件
情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表します。

発表時間	キーワード	各キーワードを付記する条件
地震発生等から5～30分後	調査中	下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合 - 監視領域内^(注1)でマグニチュード6.8以上^(注2)の地震^(注3)が発生 1カ所以上のひずみ計^(注4)での有意な変化と共に、他の複数の観測点でもそれに関係すると思われる変化が観測され、想定震源域内のプレート境界で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 - その他、想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測される等、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測
地震発生等から最短で2時間後	巨大地震警戒	想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
	巨大地震注意	- 監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震^(注3)が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く） - 想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
	調査終了	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

（注1） 南海トラフの想定震源域及び想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲。

（注2） モーメントマグニチュード7.0の地震をもれなく把握するために、マグニチュードの推定誤差を見込み、地震発生直後の速報的に求めた気象庁マグニチュードでM6.8以上の地震から調査を開始する。

（注3） 太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

（注4） 気象庁及び静岡県により東海地域に設置されたひずみ計、産業技術総合研究所により愛知県、三重県、和歌山県、高知県、愛媛県に設置されたひずみ計を使用します。

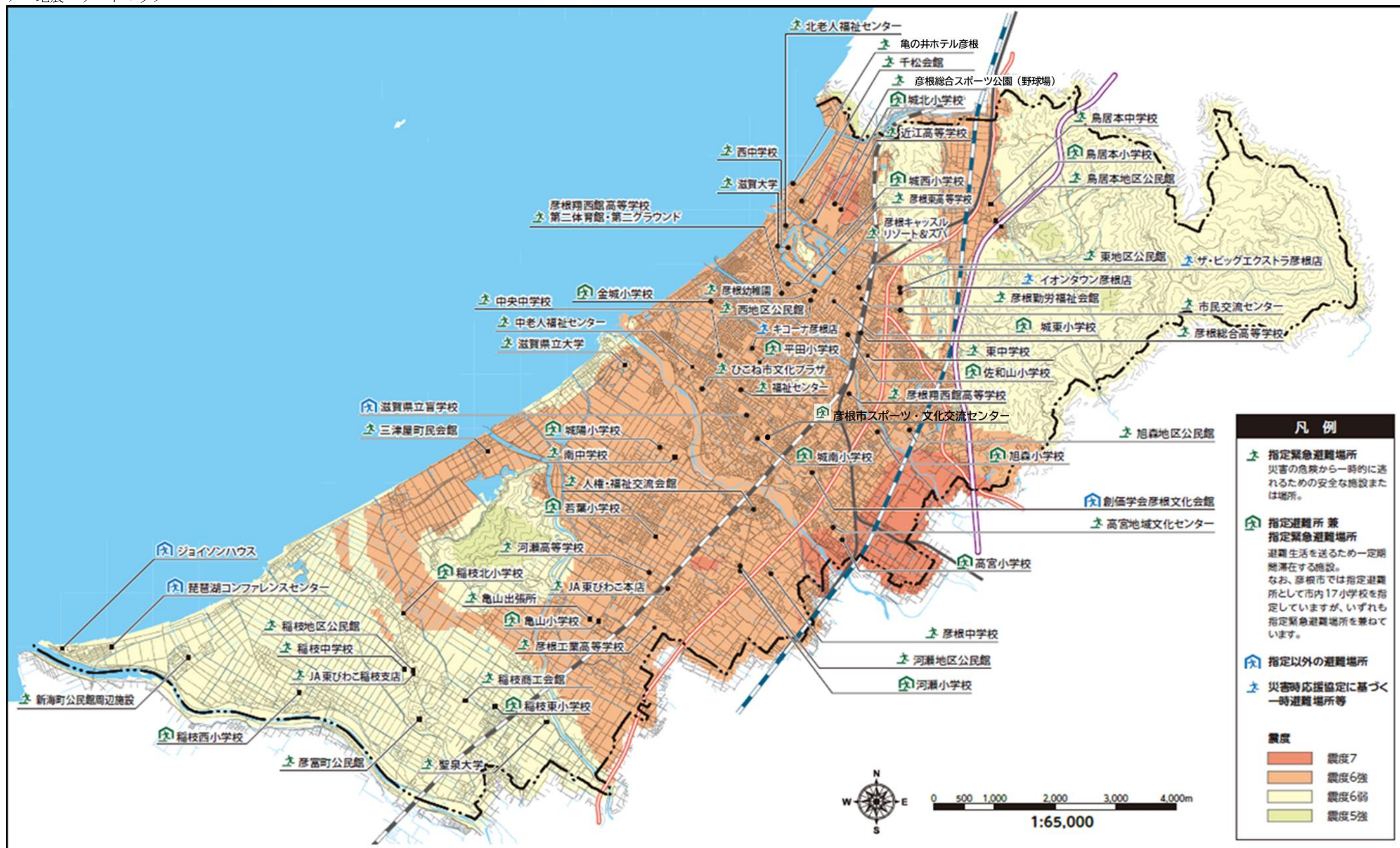
気象庁 HP から抜粋

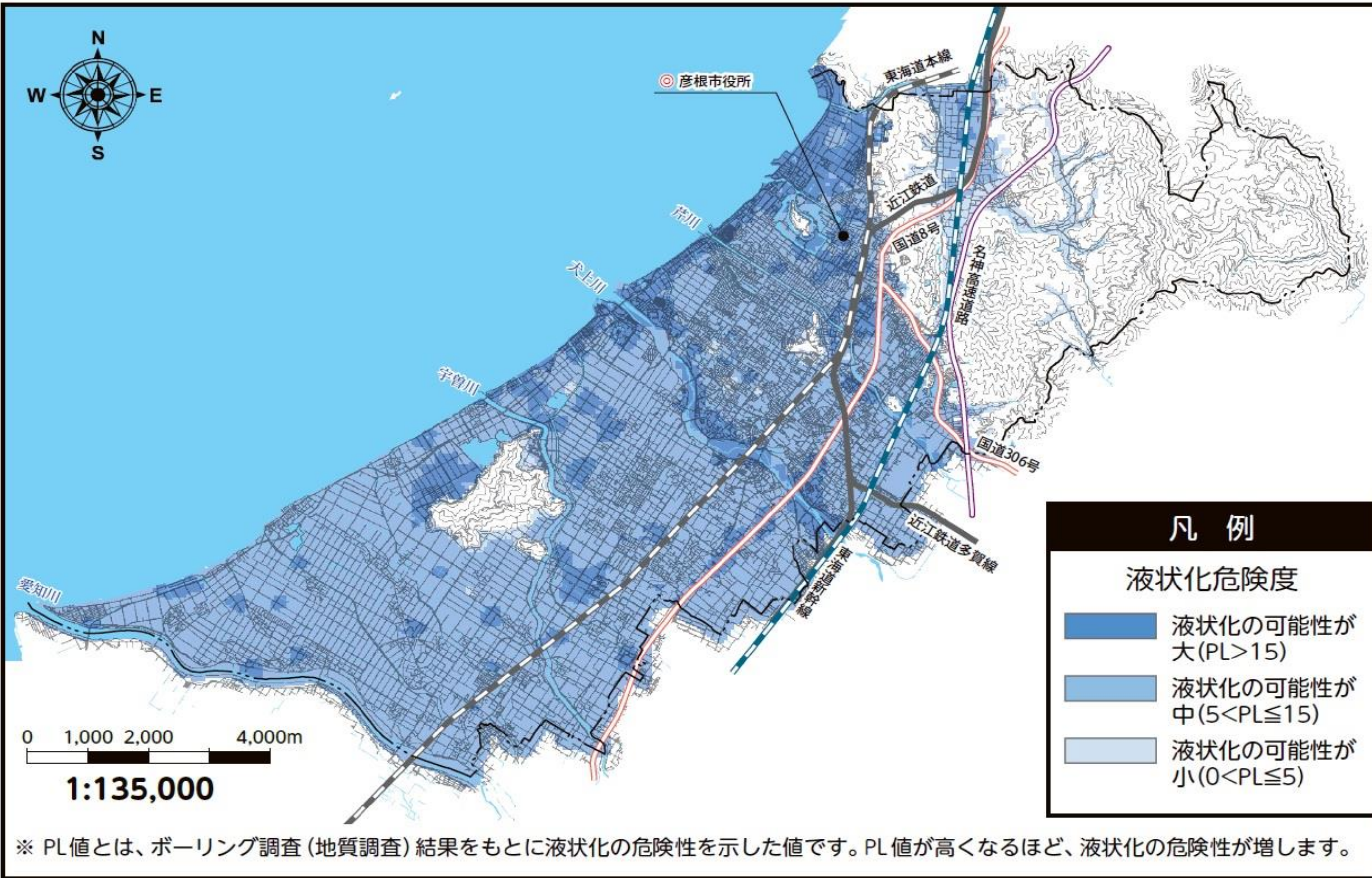
第 1 部 災害リスクに関する資料

5 地震関係

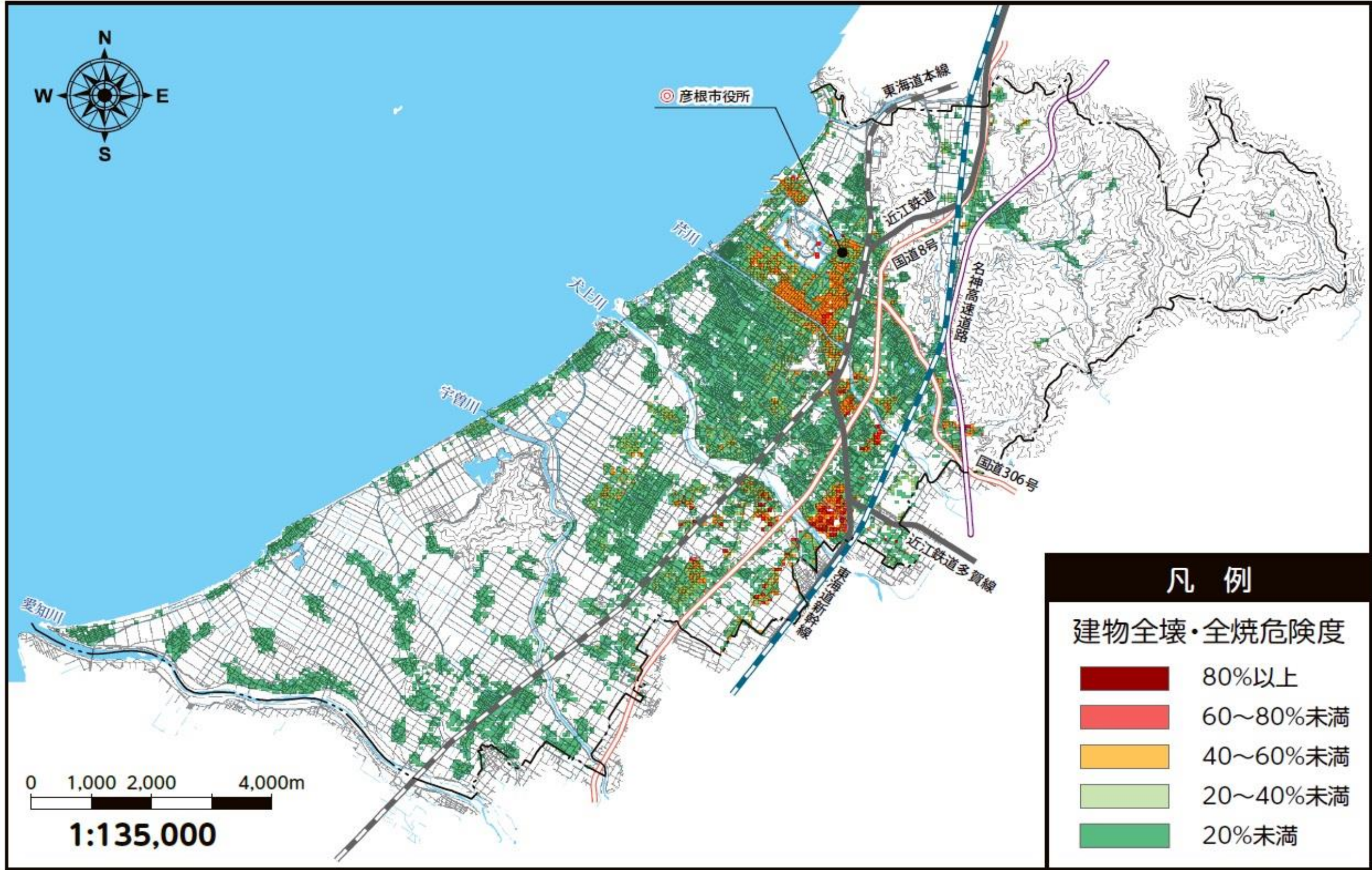
(5) 地震ハザードマップ等

ア 地震ハザードマップ



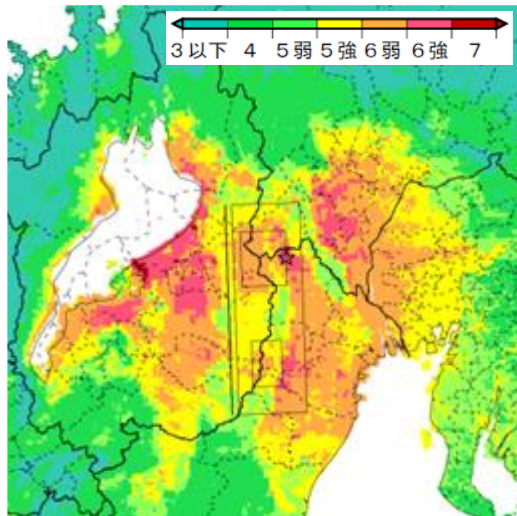


ウ 家屋倒壊マップ



(6) 本市近辺の主な活断層

鈴鹿西縁断層帯



マグニチュード：7.6

活断層の位置：市より東方向およそ 8km

最大震度：7

市域震度分布：

平野部全域で6強、山地部で5強

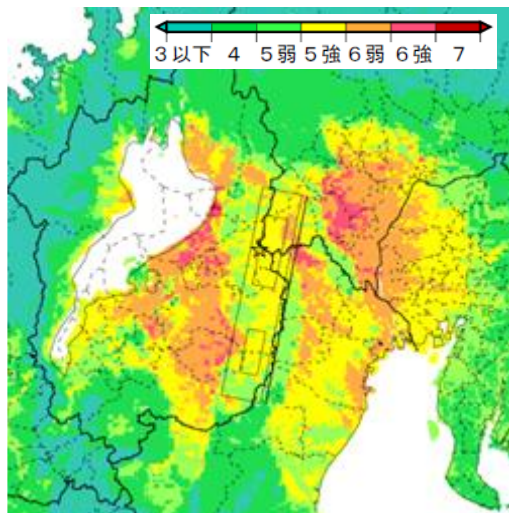
広域震度分布：

県内では東近江など彦根周辺部が6強以上と特に大きく、県外では岐阜県南西部や三重県北部等で6弱以上となっている。

想定：

平野部全域で家屋倒壊の発生、東海地域への交通遮断などが想定される。

鈴鹿東縁断層帯



マグニチュード：7.5

活断層の位置：市より東方向およそ 19km

最大震度：6強

市域震度分布：

西部で6弱、中部で6強、東部で5強～弱

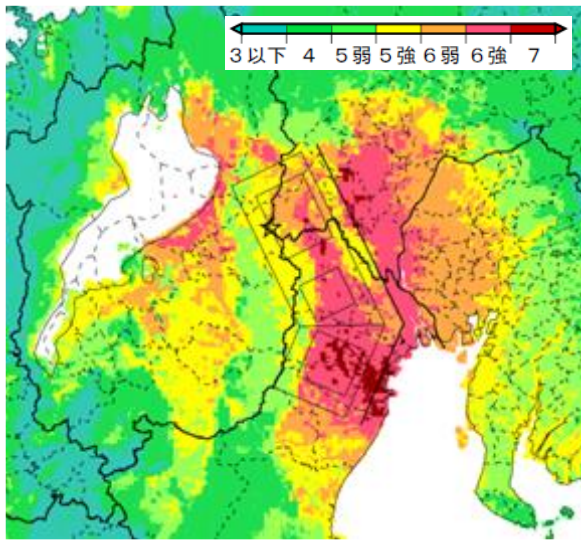
広域震度分布：

県内では彦根周辺から日野町付近まで6弱以上、県外では岐阜県南西部や三重県北部等で6弱以上となっている。

想定：

平野部全域で家屋倒壊の発生、東海地域への交通遮断などが想定される。

養老-桑名-四日市断層帯



マグニチュード：8

活断層の位置：市より東方向およそ 21km

最大震度：6 強

市域震度分布：

平野部の大部分で 6 強、山間部で 5 強～弱

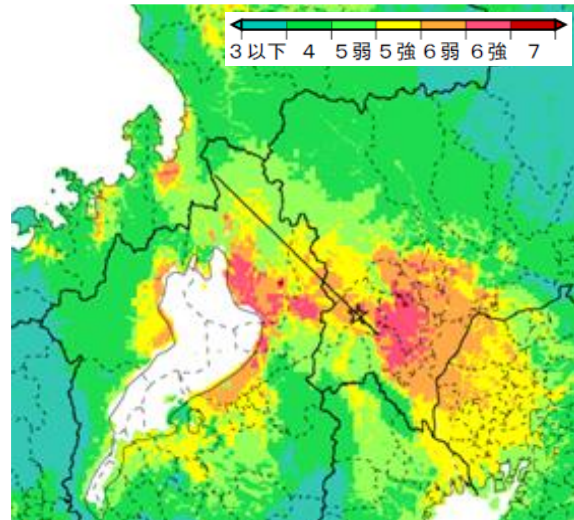
広域震度分布：

県内では彦根周辺から長浜付近まで 6 弱以上、
県外では岐阜県南西部や三重県北部等で 6 強以上
となっている。

想定：

平野部全域で家屋倒壊の発生、東海地域への交通遮断などが想定される。

柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯（主部南部）



マグニチュード：7.6

活断層の位置：市より北東方向およそ 22km

最大震度：6 強

市域震度分布：

平野部の大部分で 6 弱、一部 6 強、山間部で 4

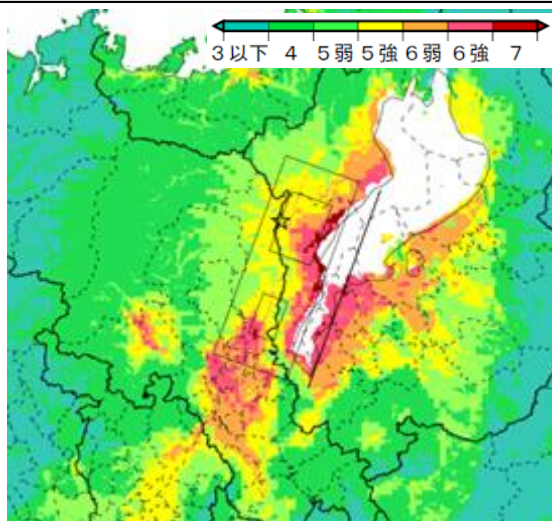
広域震度分布：

県内では長浜・米原付近で 6 強以上、県外では
岐阜県南西部等で 6 強以上となっている。

想定：

平野部全域で家屋倒壊の発生、東海道本線、名
神高速経由での東海地域への交通困難などが想
定される。

琵琶湖西岸断層帯（南部）



マグニチュード：7.5

活断層の位置：市より西方向およそ 25km

最大震度：6 弱

市域震度分布：

平野部大部分で 6 弱、東側・山間部で 5 強～4

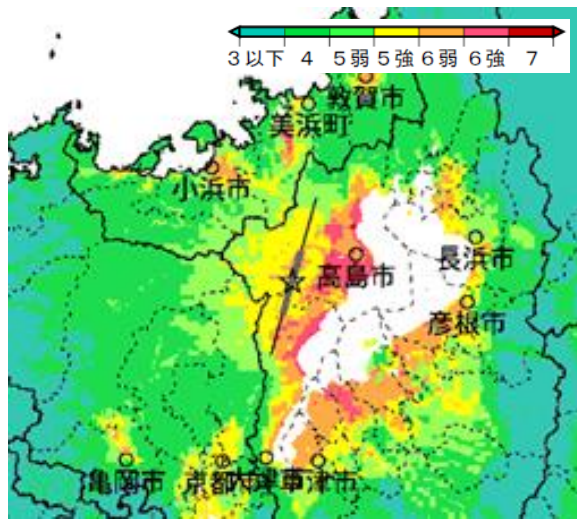
広域震度分布：

県内では大津など琵琶湖南部沿岸地域で 6 強以上、
県外では京都市域等で 6 弱以上となっている。

想定：

平野部で家屋倒壊の発生、京阪神への交通遮断
や県との連絡困難などが想定される。

三方・花折断層帯（花折断層帯〔北部〕）



マグニチュード：7.2

活断層の位置：市より西方向およそ 30km

最大震度：6 弱

市域震度分布：

平野部大部分で 6 弱、東側・山間部で 5 強～4

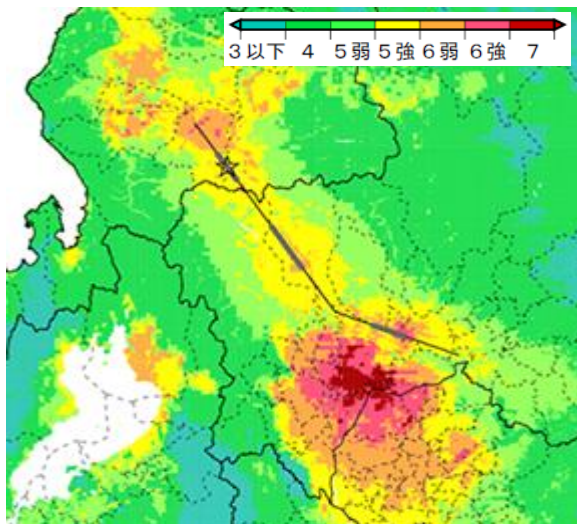
広域震度分布：

県内では高島など琵琶湖西部沿岸地域で 6 強以上、県外では京都市域等で 5 強以上となっている。

想定：

平野部で家屋倒壊の発生、京阪神への交通遮断などが想定される。

濃尾断層帯 (1891 年濃尾地震 [温見北西+根尾谷+梅原])



マグニチュード：8.0

活断層の位置：市より西方向およそ 49km

最大震度：5 強

市域震度分布：

平野部で 5 強、山間部で 5 弱～4

広域震度分布：

県内では長浜、米原などで震度 6 弱、県外では岐阜県と愛知県境界付近で 6 強以上となっている。

想定：

家屋が倒壊する程の被害はほとんど発生しない、東海地域への交通遮断などが想定される。

(7) 海溝型地震（南海トラフを震源域とする地震）

ア 南海トラフ巨大地震について

内閣府中央防災会議では、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」を設置し、過去に南海トラフのプレート境界で発生した地震に係る科学的知見に基づく各種調査について防災の観点から幅広く整理・分析し、想定すべき最大クラスの地震について検討を行っている。

以下に当検討会において検討された想定震源域、想定津波波源域を示す。

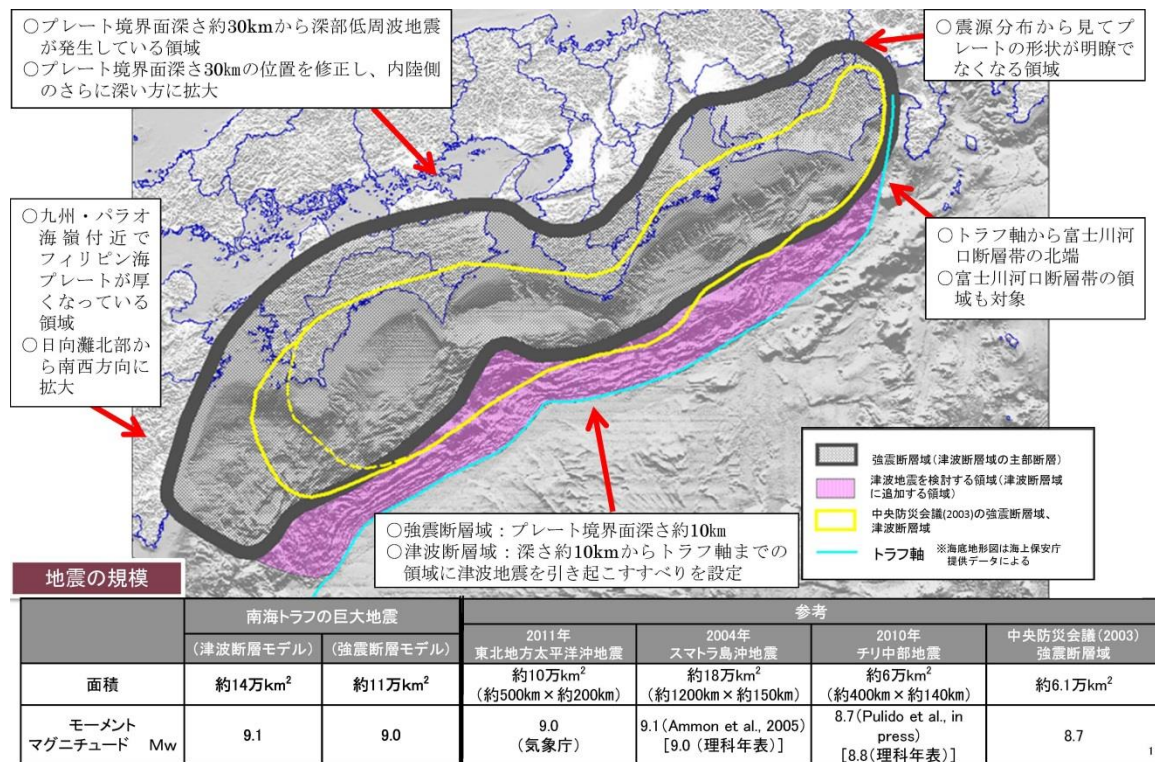


図 南海トラフ巨大地震の想定震源域モデル

（「南海トラフの巨大地震による津波高・震度分布等」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8）

また、この想定震源域において、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」では強震動生成域について、過去の地震時の強震動生成域と概ね同じ場所に位置する可能性が示唆されるが、その周辺で少し位置が変わる可能性や、やや深い場所にある可能性も考えられるため、以下 4 つのケースについて検討が行われている。その 4 ケースを次頁に示す。このうち、もっとも滋賀県に大きな揺れをもたらすのは、強震動生成域を、可能性がある範囲で最も陸域側に移動したケース（通称陸側ケース）の場合である。

よって、海溝型地震では南海トラフ巨大地震の陸側ケースについて後の地震危険度評価を行う。

- (ア) 基本ケース：中央防災会議による東海地震、東南海・南海地震の検討結果を参考に設定したもの

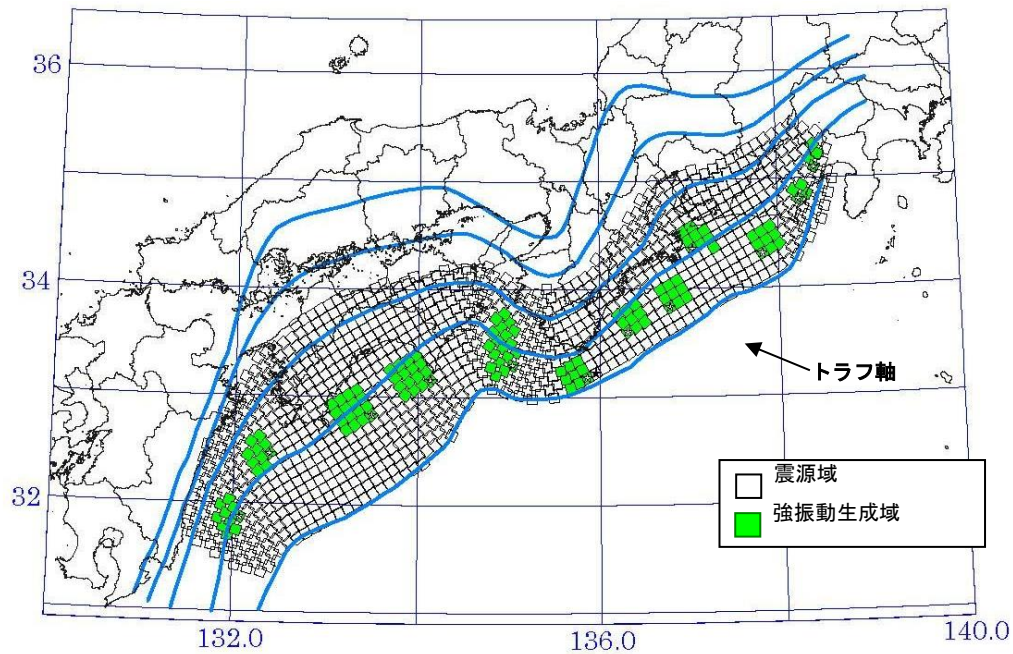


図 震源域設定（基本ケース）

(「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8)

- (イ) 東側ケース：基本ケースの強振動生成域を、やや東側（トラフ軸から見て、トラフ軸に概ね平行に右側）の場所に設定したもの

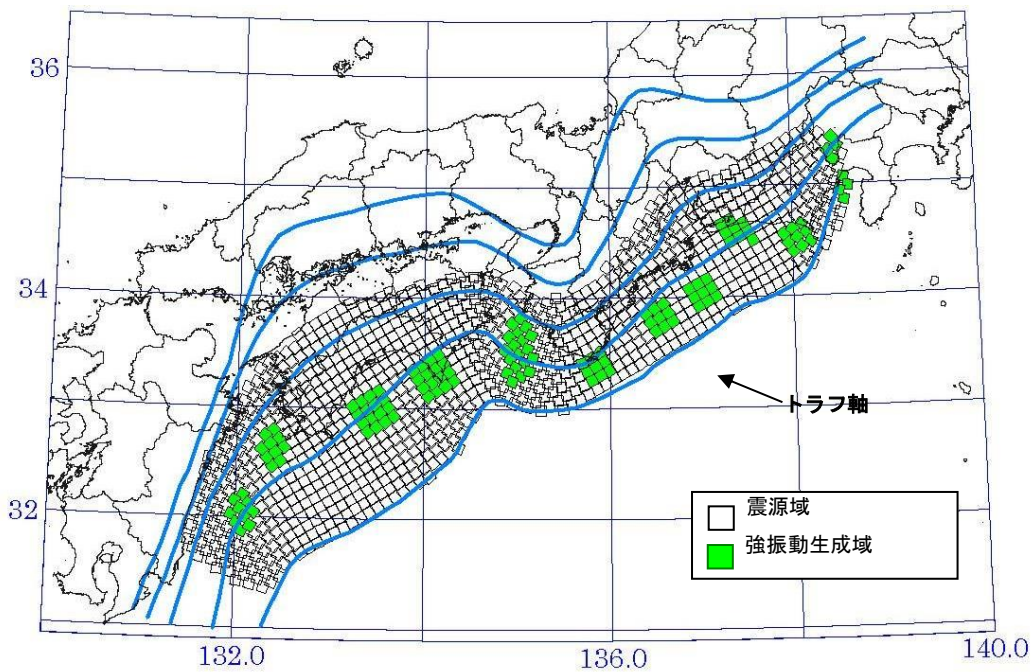


図 震源域設定（東側ケース）

(「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8)

第1部 災害リスクに関する資料

5 地震関係

- (ウ) 西側ケース：基本ケースの強震動生成域を、やや西側（トラフ軸から見て、トラフ軸に概ね平行に左側）の場所に設定したもの

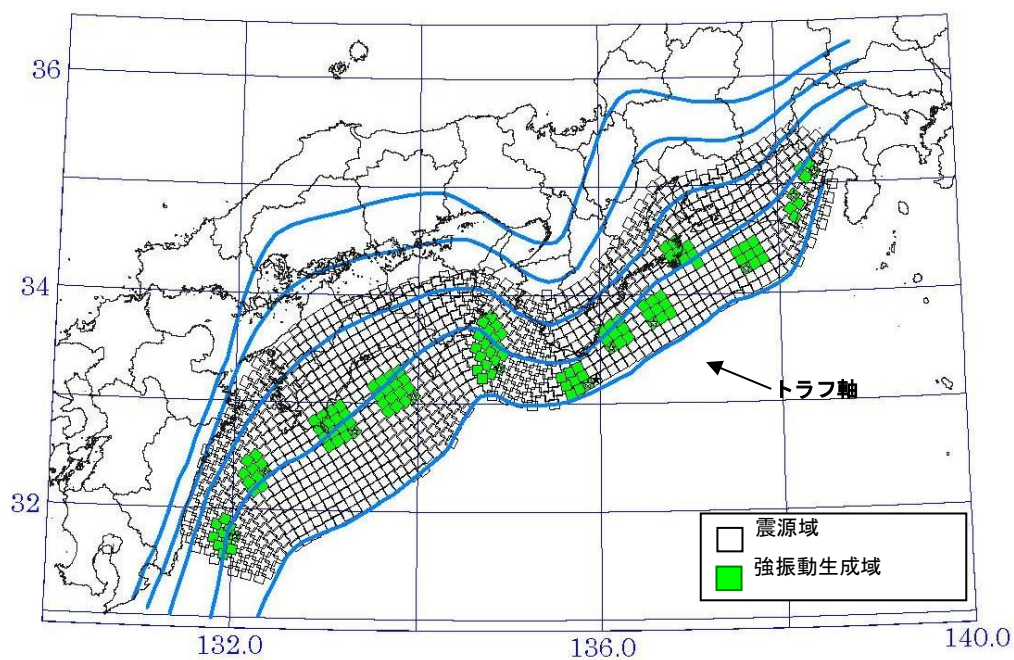


図 震源域設定（西側ケース）

（「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8）

- (エ) 陸側ケース：基本ケースの強震動生成域を、可能性がある範囲で最も陸域側（プレート境界面の深い側）の場所に設定したもの

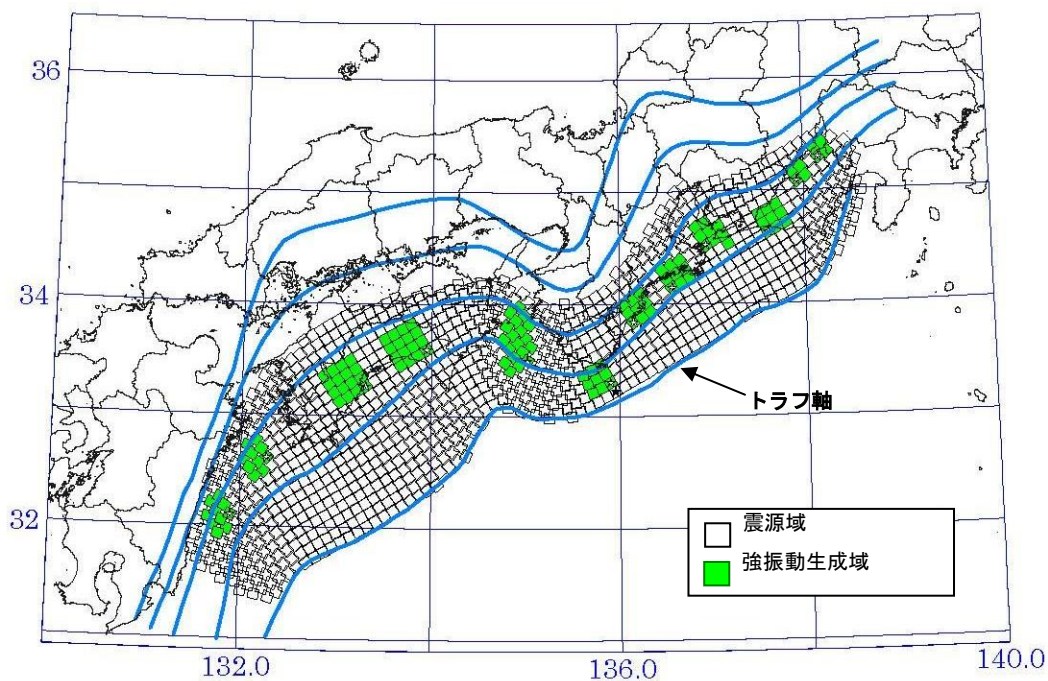


図 震源域設定（陸側ケース）

（「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8）

6 災害履歴

本市の災害形態別の主な災害履歴は、次のとおりである。

(1) 風水雪害（土砂害を含む。）

ア 昭和50年（1975年）以前の被害

細かな被害数量等の記録が残っていない室町時代から高度経済成長期までの被害を示す。

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
享禄元 (1528)	11.29	寒波	寒気のため、琵琶湖の水が岸から6、7町（約700m）まで凍ったとの情報が京に伝わる。	-
延宝2年 (1674)	4.	洪水	近江国が大洪水に見舞われ、彦根で浸水6尺4寸（約194cm）におよぶ。	-
延宝4年 (1676)	7.4	洪水	洪水。彦根城下の西ヶ原あたりでは船で往来する。	-
元文元年 (1736)	8.	洪水	近江国が洪水に見舞われ、彦根城下では浸水が5尺（約150cm）を超える。四十九町まで船にて往来する。北野寺前まで水1丈余。	-
元文2年 (1737)	5～6	長雨	5月7日より6月3日まで降雨続き、彦根大水、定尺より5尺2寸高く、四十九町も船で往来し、尾末町・東町で7寸（約27cm）浸水。	-
元文3年 (1738)	6.1	洪水	定水より5尺2寸（約198cm）高く、尾末町・京町で7寸（約27cm）浸水。	-
延享2年 (1745)	11.2	大雪	この年の冬から翌年にかけて、5尺（約150cm）余りの大雪に見舞われる。	-
宝暦6年 (1756)	9.16	大雨	この日から翌日にかけての大風雨のため彦根藩領内で4万9000石の損耗が出る。芹川堤防2箇所決壊し、新町あたり水2階に至る。	-
宝暦6年 (1756)	10.	洪水	愛知川と宇曽川の堤防が切れ、下岡部村では、22日間も水田が水に浸かった。洪水被害による稲の不作のため下岡部村が彦根藩に検使の派遣を願う。	-
明和2年 (1765)	8.2	風雨	大風雨のため彦根藩領内で5万石の損耗が出る。	-
明和5年 (1768)	7.21	洪水	彦根の浸水4尺8寸（約182cm）。	-
明和6年 (1769)	12.	大雪	彦根大雪、壊家多し。	-
安永7年 (1778)	7.	大雨	この月から翌閏7月まで大雨が繰り返し降り甚大な被害が出る。	-
寛政3年 (1791)	8.20	風雨	大風雨のため城下町・農村部で甚大な被害が出る。侍屋敷51軒、足軽町・扶持人共270軒、番所3か所、堂・宮拝殿・寺69か所、釣鐘堂8か所、町屋25軒、百姓家286軒、百姓小屋844軒等の家屋倒壊・半倒壊の被害有り。死者9人、負傷者6人。	-
享和2年 (1802)	6.29	風雨	大風雨のため善利川（芹川）が決壊したほか城下で家屋が倒壊するなど各地で被害が出る。溺死人多く、切通し番所流れ、新町辺所々壊家有り。芹川1升1合半・芹川石橋落下死者23名	-
文化4年 (1807)	6.	大雨	長雨のため彦根で浸水が6尺1寸（約185cm）に及ぶ。	-
文化6年 (1809)	7.9	大雨	大雨による愛知川堤決壊で神埼郡田附村国領などが被害にあう。家屋のほとんどが壊れ、残った家屋も砂礫で埋まってしまった。この洪水で多くの人命が失われた。	-
文政元年 (1818)	12.晦	大雪	この日から降り始めた雪のため、翌年正月に家屋倒壊の被害が出る。	-

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
文政2年 (1819)	1.	大雪	彦根・長浜、積雪最も甚だしという	－
文政4年 (1821)	12. 7	洪水	この年、彦根地域の洪水による被害者救済のための 囲米が放出される。	－
文政7年 (1824)	11. 21	大雪	大雪。彦根・長浜積もること7、8尺なりという。	－
天保7年 (1836)	6-8.	風雨	大雨・大風がくりかえし起こり、多くの水田が被害 にあう。 彦根にては四十九町・内船町・石ヶ崎町・中藪等浸 水し、弘道館勝手口の柵門通 30 日ばかり浸水する。	－
嘉永元年 (1848)	8. 12	風雨	大風雨のため犬上川や芹川が決壊するなど被害が 出る。芹川南切れ、大藪村まで白川になる。	－
嘉永5年 (1852)	正. 3	大雪	前年からの大雪で倒壊家屋が発生し、屋根の雪下ろ しを彦根藩筋奉行が命じる。	－
万延元年 (1860)		洪水	城下大洪水・四十九町大手橋まで舟。	－
文久3年 (1863)	11.	大雪	6日雪降り始め3尺(約114cm)ばかり積もる。26日 から28日にかけて降る。深さ5尺(約190cm)に 達し、その後も降りつづき、冬から春にかけて容 易に融けず。稀有の雪害なり。	－
明治元年 (1868)	閏 4.	水害	この月から翌月にかけて、琵琶湖沿岸が水害に見舞 われる。	－
明治3年 (1870)	9. 17	風雨	この日から翌日にかけて、暴風雨により犬上川や宇 曾川などの堤防が決壊する。 大橋・岡・沼波・芹中・橋向・後三条・中藪等芹川 沿岸に甚しい。高宮町倒壊家屋137戸、溺死32人、 農作物の被害多し。	－
明治17年 (1884)	7.	大雨	この年、琵琶湖沿岸が水害に見舞われる。 一週間以上昼夜降雨が続き、琵琶湖は平常より五尺 (約1.5メートル)も増水した。 石寺村では田畑とも水に浸かった。	－
明治18年 (1885)	6.	大雨	この月から翌月にかけて、彦根地方が水害に見舞わ れる。 愛知川・宇曾川・犬上川・矢倉川などの堤防が破壊 された。 広野村は21戸が流失。松原村では18戸の家屋が潰 れた。 松原・長曾根・中藪・大藪・八坂・甘呂・開出今の 村々の浸水は一尺四、五寸から五尺(0.4～1.5メ ートル)に至った。 宇曾川が決壊し、賀田山村の田畑は土砂に埋もれ て、見る影もなくなった。 古西法寺村(現佐和山町)では朝鮮人街街道が10 間(約18メートル)余りにわたって破壊された。 宮田村の田畑は過半が湖のようになった。 鳥居本村では矢倉川が決壊で家屋7、80戸が流失し た。	－
明治22年 (1889)	9.	台風	台風により芹川・犬上川などの堤防が決壊する。	－
明治25年 (1892)	6.	大雨	長雨により琵琶湖沿岸が水害に見舞われる。	－
明治25年 (1892)	9.	台風	台風により彦根地方が水害に見舞われる。	－

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
明治29年 (1896)	9.	停滞前線 による豪雨	琵琶湖沿岸が大洪水に見舞われる。 犬上川は開出今集落の東南で、200メートル近く決壊し、田畑はことごとく冠水し、多くの家も倒壊した。 開出今、大藪、須越、八坂などに多くの被害をもたらした。 長曾根村は浸水八、九尺(2.4～2.7メートル)に及んだ。 彦根城下の大半は湖面水量の増加に浸水し、一方、芹川の堤防決壊して、東南各町を害し市街は舟を浮かべて航行し、人は2階の窓から出入りした。 犬上郡の被害は死者3人・床上浸水20戸・床上浸水3856戸・床下浸水2459戸他	総雨量：1018.8mm 【観測史上1位】 日雨量：596.9mm(9/7) 【観測史上1位】
大正元年 (1912)	9.23	台風	※彦根市内の被害状況については不明。要調査。	最大風速：24.0m/s 【観測史上5位】 最低気圧：961.1 【観測史上3位】
大正6年 (1917)	1～3	大雪	2月の雪は、彦根測候所創立以来未曾有の大雪で、彦根付近でも約90cmに達し、湖北の山間部では3mを越えた所もあった。	最低気温：-7.1(2/2) 最深積雪：83cm(2/3)
大正6年 (1917)	9.29～ 30	台風	台風により、愛知川・宇曾川などの流域が水害に見舞われる。	総雨量：191.1mm(9/28～30) 最大風速：12.5m/s
大正10年 (1921)	9.15	洪水	千本村大堀、久徳村で芹川の堤防決壊	総雨量：65.4mm
昭和9年 (1934)	9.21	室戸台風	風台風で建物の倒壊が多かった。 犬上郡の被害は死者1・全壊住家20・半壊住家57他	総雨量：15.0mm 最大風速：31.2m/s 【観測史上1位】 最大瞬間風速：39.3m/s 【観測史上4位】 最低気圧：966.7hPa 【観測史上4位】
昭和25年 (1950)	9.3	ジェーン 台風	彦根市でジェーン台風の被害がでる。宇曾川の堤防決壊。 民家全壊9棟、家屋一部破壊751箇所、電柱倒壊95本、倒木96本、納屋・作業所全壊12棟	総雨量：64.9mm(9/2～4) 最大風速：27.8m/s 【観測史上2位】 最大瞬間風速：42.5m/s 【観測史上2位】
昭和26年 (1951)	7	豪雨	松原干拓田全滅・旧市内100戸浸水	総雨量：293.7mm(7/8～17) 日雨量：55.5(7/15)
昭和28年 (1953)	9.25	台風13号	彦根市城を台風13号が襲い、芹川等の堤防決壊、家屋損壊などの被害がでる。 芹川決壊により大橋町(仏具店街)を中心に1mの床上浸水。池州橋付近で越水し、市内冠水。 災害救助法適用：彦根市(日夏町・開出今町・鳥居本町)	総雨量：182.9mm(9/23～25) 最大風速：21.0m/s 最大瞬間風速：29.0m/s
昭和33年 (1958)	8.25	台風17号	台風17号が彦根市域を襲い、堤防決壊、家屋の浸水などの被害が出る。 浸水家屋627戸 他	総雨量：116.2mm(8/24～25) 最大風速：15.5m/s 最大瞬間風速：28.3m/s

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
昭和34年 (1959)	8.13	台風7号	台風7号が彦根市域を襲い、堤防決壊、家屋損壊などの被害が出る。 死者1人・床上浸水385戸・床下浸水3778戸 他	総雨量：280.0mm (8/12～14) 最大風速：12.9m/s (8/14) 最大瞬間風速：16.2m/s (8/14)
昭和34年 (1959)	9.26	伊勢湾 台風	伊勢湾台風(台風15号)で甚大な被害をうける。 この影響により、この年の城まつり行事が中止となる。 清崎地先の宇曾川堤防が決壊。 芹川が多賀町中川原で6m決壊、彦根市にも被害。 芹川支流、および本流で被害が大きく、上流の山間部では河川に並行した道路は殆どずたずたに切断された。 旧稲枝町などに災害救助法が適用された。 床上浸水804戸・床下浸水5754戸 他	総雨量：337.5mm (9/24～26) 日雨量：195.8mm (9/26) 【観測史上3位】 最大風速：21.9m/s 最大瞬間風速：36.0m/s 最低気圧：949.2hPa 【観測史上1位】
昭和36年 (1961)	6.26	梅雨前線 豪雨	堤防決壊、橋りょう流失などの被害が出る。稲枝町などの田畑の冠水。	総雨量：376.2mm (6/24～29)
昭和36年 (1961)	9.16	第2室戸 台風	第2室戸台風(台風18号)が彦根市域を襲い、家屋損壊の被害が出る。この影響で城まつりが中止となる。 負傷者30人、住家全壊60戸、住家半壊485戸、床下浸水15戸、非住家全壊683戸、非住家半壊859戸	総雨量：65.7mm (9/14～16) 最大風速：25.7m/s 【観測史上第3位】 最大瞬間風速：38.9m/s 【観測史上5位】 最低気圧：954.5hPa 【観測史上2位】
昭和40年 (1965)	9.17	台風24号	台風24号により、芹川・宇曾川などが氾濫し、彦根市域で家屋流失、床上・床下浸水などの被害が出る。 芹川白山神社付近で溢水。国道8号旭橋上流左岸で堤防法面20m崩壊。 後三条橋下流左岸で堤防法面10m崩壊。後三条橋の橋脚流失。 床上浸水292戸・床下浸水2698戸 他	総雨量：321.8mm 日雨量：174.2mm 最大風速：21.0m/s 最大瞬間風速：32.0m/s
昭和40年 (1965)	12.17	大雪	大雪により彦根市内の交通が麻痺する。	降雪の深さの日合計：33cm (12/17) 最深積雪：35cm (12/17) 最低気温：-2.2℃
昭和41年 (1966)	1.19 ～21	大雪	彦根地方が大雪に見舞われる。	降雪の深さの日合計：50cm (1/20) 最深積雪：40cm (1/20、1/21) 最低気温：-4.8℃ (1/21)
昭和41年 (1966)	2.8	寒波	寒波に見舞われ、彦根市内で水道管の破裂が相次ぐ。	最低気温：-8.8℃
昭和43年 (1968)	8.25	台風10号	床下浸水38戸、彦根城石垣高さ4m、巾8mにわたり崩壊、水稻300ha	総雨量：213.5mm (8/24～8/29) 最大1時間降水量：54.5mm (8/25) 【観測史上5位】 最大風速：10.7m/s (8/29) 最大瞬間風速：16.8m/s (8/29)

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
昭和 46 年 (1971)	7. 6～8	台風 13 号	この日から 8 日まで、台風 13 号と梅雨前線による集中豪雨があり、宇曾川が氾濫する。	総雨量：136. 5mm 最大 1 時間降水量：63mm (7/8) 【観測史上 2 位】 最大風速：10. 7m/s 最大瞬間風速：20. 9m/s

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

イ 昭和51年（1975年）以降の被害

市町村別の被害状況が整理されている昭和51年以降、彦根市に被害をもたらした風水雪害を以下に示す。

年	月 日	気象 条件 等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数 量	単位	
			総雨量 (mm)	最大 日雨 量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最 大 瞬 間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)				
昭和 54 年 (1979 年)	9 月 30 日 ～ 10 月 1 日	台 風 16 号	33.5	30.5	12.5	23.9	41.5 観 測 史 上 3 位	974.9	軽傷	3	人	－
									住家一部 破損	7	棟	－
									非住家 公共建物	4	棟	－
									非住家 その他	49	棟	－
昭和 55 年 (1980 年)	7 月 23～ 24 日	前線 豪雨	74.5	60	17	－	－	－	道路	2	箇所	－
		大雨	36.5	32	21	－	－	－	河川	18	箇所	－
	8 月 19～ 20 日	豪雨	67.5	50.5	18.5	－	－	－	床下浸水	19	棟	－
									道路	3	箇所	－
昭和 56 年 (1981 年)	11 月 2 日	強 風	－	27	6.5	9.5	19.5		ビニール ハウス	1	件	－
									農作物	0.16	ha	－
昭和 57 年 (1982 年)	8 月 1 ～ 2 日	台 風 10 号	158	124	19.5	11.6	19.4	979.7	床上浸水	1	棟	肥田町
									床下浸水	9	棟	北甲田町、稲里町、三津町、 善光寺町、金沢町、甘呂町 3 棟 他
									田冠水	0.2	ha	－
									畑冠水	12.5	ha	－
									道路	11	箇所	野田山町、笹尾町 他
									崖崩れ	3	箇所	日夏町 他
	9 月 12 日	台 風 18 号	－	101	22.5	13.8	25.2	989.4	田冠水	0.01 5	ha	笹尾町
昭和 58 年 (1983 年)	6 月 20～ 21 日	大 雨	139.5	88	16	－	－	－	畑冠水	5.07	ha	－
									道路	1	箇所	－
									橋りょう	5	箇所	－
									河川	1	箇所	－
	9 月 27～ 28 日	台 風 10 号	143.5	90.5	13	11.7	22.0		崖崩れ	2	箇所	－
畑冠水									20.4	ha	－	
昭和 59 年 (1984 年)	1～3 月	昭和 59 年 豪雪	330cm 総降雪量 1～3 月	73 cm 最深積 雪 (2/1 0) 観測史上 9 位	－	－	－	－	重傷	2	人	－
									住家一部 破損	13	棟	京町 1 丁目、京町 2 丁目、 河原 2 丁目、後三条町、長 曾根南町、船町、佐和町、 極楽寺町、開出今町、幸町、 本町 1 丁目、東沼波町、西 葛籠町
									非住家	1	棟	－
昭和 60 年 (1985 年)	6 月 21 日 ～ 7 月 19 日	台 風 6 号 と 梅 雨 前線 豪雨	522.5	88	47	10.0	17.7		道路	3	箇所	－
									河川	1	箇所	－

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考								
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位									
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)												
昭和 62 年 (1987 年)	7 月 14～21 日	梅雨前線豪雨	253	100.5	34	－	－	－	床下浸水	6	棟	－								
	10 月 16～17 日	台風 19 号	25	17	5	13.4	29.9		住家 その他	1	棟	－								
									非住家一部損壊	2	棟	－								
									学校	7	箇所	－								
									電話	1	回線	－								
									電気	2	戸	－								
昭和 63 年 (1988 年)	6 月 2～3 日	豪雨	112.5	91.5	12.5	－	－	－	道路	1	箇所	－								
	6 月 8 日～7 月 16 日	梅雨前線豪雨	－	90	34.5	－	－	－	田冠水	100	ha	－								
									河川	1	箇所	－								
									崖崩れ	3	箇所	－								
	9 月 11～12 日	大雨・雷雨	31	17.5	23.5	－	－	－	電話不通	136	回線	－								
									電気（停電）	300	回線	－								
	平成元年 (1989 年)	4 月 27～28 日	風浪	9.5	8.5	8.5	12.4	20.6		河川	3	箇所	－							
8 月 26～28 日		台風 17 号	57.5	53	19.5	10.1	21.3		崖崩れ	1	箇所	－								
9 月 2～7 日		豪雨	213.5	89.5	24.5	－	－	－	道路	2	箇所	－								
									崖崩れ	2	箇所	－								
平成 2 年 (1990 年)	7 月 24～25 日	大雨	52	51	46.5	13.3	26.1	－	床下浸水	1	棟	－								
	9 月 15～20 日	秋雨前線・台風 19 号	279	172	44.5	16.6	30.1	972.5 観測史上第 8 位	住家一部破損	18	棟	京町三丁目、堀町他								
									床上浸水	27	棟	鳥居本町、下矢倉町、古沢町、松原町(大洞)、外町、八坂町(八坂北)、野田山町、小泉町、野瀬町、地蔵町								
									雨台風であり、愛知川・犬上川・芹川・矢倉川等で溢水などの他、用水で内水氾濫が多かった								床下浸水	349	棟	辻堂町、船町、高宮町日の出、野田山町、小野町、鳥居本町、外町、下矢倉町、古沢町、原町、芹橋二丁目、西今町、八坂北町、日夏町(安田・泉)、松原町(千原・大洞北)、野瀬町、新海町、戸賀町、荘厳寺町、小泉町、地蔵町、後三条町、中藪一丁目、矢倉町、宮田町、安清町、安清東町他
									非住家公共建物	3	棟	八坂北町会館、(社)シルバー人材センター車庫兼倉庫シャッター、辻堂町公民会館								
									非住家その他	114	棟	床上 3、床下 104、流失 1(荘厳寺町)、半壊 3(荘厳寺町他)、一部破損 3								

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象 条件 等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考						
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位							
			総雨量 (mm)	最大 日雨 量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最大瞬間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)										
平成 2 年 (1990 年) 〔 続 き 〕									田流失・ 埋没	1	ha	鳥居本地区(甲田町、仏生 寺町、中山町)						
	9 月 15～ 20 日 秋雨 前線 ・ 台風 19 号		279	172	44.5	16.6	30.1	972.5	田冠水	505	ha	市内一円						
									畑冠水	2	ha	松原地区、北青柳地区、八 坂町北						
									学校	19	箇所	城南小、平田小、城北小、 旭森小、金城小、河瀬小、 高宮小、稲枝東小、稲枝西 小						
									病院	1	箇所	彦根市立病院						
									道路	24	箇所	男鬼町 14、野田山町 1、中 山町 3、荘厳寺町 1、善谷町 1、仏生寺町 3、古沢町 1						
									雨台風であり、愛知川・犬上川・芹川・矢倉川等で溢水 などの他、用水で内水氾濫が多かった						橋りょう	2	箇所	八坂町 1、鳥居本町 1
									河川	10	箇所	八坂町 1、田附町 1、中山町 5、小野町 2、下矢倉町～鳥 居本町 1						
									崖崩れ	3	箇所	中山町 2、甲田町 1						
									鉄道不通	2	箇所	近江鉄道(鳥居本町区内)、 JR(愛知川付近)						
									水道	4	戸	八坂町						
									電話	1	回線	八坂町						
									電気	5	箇所	－						
									ブロック塀	9	箇所	地藏町他						
									その他	87	箇所	－						
平成 3 年 (1991 年)	9 月 27～ 28 日	台風 19 号	1	1	1.5	13.2	26.1	992.4	住家一部 損壊	1	棟	外町						
									学校	4	箇所	金城小学校、高宮小学校、 稲枝東小学校、彦根南中 学校						
									ビニール ハウス	42	箇所	松原町 他						
平成 5 年 (1993 年)	3 月 28～ 29 日	風 浪	20	13.5	2.5	13.2	25.2		河川	1	箇所	－						
平成 6 年 (1994 年)	9 月 28～ 30 日	台風 第 26 号	123.0	115.5	28.5	14.1	32.1	973.2	住家半壊	1	棟	三津町						
									住家一部 損壊	2	棟	京町 1 丁目、正法寺町						
									床下浸水	17	棟	鳥居本町 5 棟、京町 1 丁目 4 棟、安清町 1 棟、外町 3 棟、古沢町 2 棟、野田山町 1 棟、佐和山町 1 棟						
									非住家公 共建物	5	棟	鳥居本町 3 棟、野田山町 1 棟、葛籠町 1 棟、竹ヶ鼻町 1 棟、里根町(天寧寺)1 棟						
									非住家そ の他	7	棟	彦根総合地方卸売市場、彦 根城天秤櫓、楽々園、市庁 舎 2 棟						
									文教施設	3	箇所	城北小学校、鳥居本小学 校、稲枝北小学校						
									道路	13	箇所	男鬼町、善谷町、笹尾町、 中山町、甲田町、下矢倉町、 後三条町 他						

第 1 部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
平成 6 年 (1994 年) 〔 続 き 〕									河川	16	箇所	男鬼町、中山町、荘厳寺町、鳥居本町、小野町、古沢町、野田山町、笹尾町 他
									電気（停電）	1090	箇所	金亀町 30 箇所、葛籠町 60 箇所、正法寺町 1000 箇所
									ブロック塀	4	箇所	金亀町
平成 7 年 (1995 年)	1 月 13～15 日	大雪	63cm 総降雪量	46 cm 最深積雪	-	-	-	-	パイプハウス	9	棟	-
	1 月 30 日～2 月 1 日	大雪	76 cm 総降雪量	41 cm 最深積雪	-	-	-	-	彦根－竜王間 通行止め			-
	5 月 11～15 日	大雨	221	86.5	13	-	-	-	田冠水	5.2	ha	-
									畑冠水	0.2	ha	-
									道路	1	箇所	-
									河川	5	箇所	-
	7 月 20～22 日	梅雨前線豪雨	97.5	77	44	-	-	-	床下浸水	20	棟	-
									非住家その他	1	棟	-
									電気	20	戸	-
	12 月 24～27 日	大雪	56 c m 総降雪量	36 c m 最深積雪 12/27					ビニールハウス	13	棟	-
平成 8 年 (1996 年)	1 月 8～10 日	大雪	41cm 総降雪量	29 cm 最深積雪 1/10	-	-	-	-	電話	2500	回線	-
	8 月 14～15 日	台風 12 号	17.5	11	12.5	14.8	29.4	990.3	非住家公共建物	1	棟	-
平成 8 年 (1996 年)	9 月 20～22 日	台風 17 号	14.5	5	2	13	23.4	995.3	ビニールハウス	3	棟	-
平成 9 年 (1997 年)	1 月 21～23 日	寒波	16cm 総降雪量	12 cm 最深積雪 1/22	最低気温 -4.5℃	14.4	25.4	-	電気（停電）	900	戸	-
	7 月 26～28 日	台風 9 号	81.5	63	14.5	10.8	28.7	992.2	ビニールハウス	6	棟	松原町
	9 月 16～17 日	台風 19 号	34.0	32	14.0	11.2	23.6	1001.8	ビニールハウス	5	棟	松原町
平成 10 年 (1998 年)	9 月 21～23 日	台風 7 号 台風 8 号	74	37	16	16.6	36.6	980.0	軽傷	4	人	宮田町、松原町、南川瀬町 2 件
						6.7	12.4		住家一部破損	9	棟	高宮町 2 棟、地蔵町 2 棟、清崎町、西今町、須越町、古沢町、甘呂町
									非住家公共建物	5	棟	玄宮園、佐和口多聞櫓、楽々園、金亀公園テニスコート、彦根城(天秤櫓)
									非住家その他	1	棟	彦根城内(金亀町)

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象 条件 等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大 日雨 量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最大瞬間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)				
平成 13 年 (2001 年)	7 月 17 日	大雨 ・ 強風 ・ 雷	－	64	63.5	9.4	24.5	1004.2	床上浸水	4	棟	日夏町、外町、城町1丁目、古沢町
			発達した大規模な積乱雲による雨により、野瀬川、安食川、平田川等で家屋浸水の被害が出た						床下浸水	344	棟	松原町、松原2丁目、古沢町、外町、幸町、西沼波町、佐和町、京町1丁目、安清町、錦町、本町1丁目、城町1・2丁目、栄町1・2丁目、正法寺町、中藪1丁目、後三条町、大藪町、高宮町、平田町、西今町、開出今町、犬方町、南川瀬町、日夏町、辻堂町、安食中町、賀田山町茂賀
									非住家 その他	3	棟	古沢町、栄町1丁目、西今町
									田冠水	45.4	ha	大藪町、西今町、楡町
									畑冠水	4.2	ha	賀田山町大山、葛籠町、金剛寺町、千尋町、清崎町
									パイプ ハウス	1	棟	金沢町
									文教施設	24	箇所	－
									水道	1000	戸	彦根市東部地域(正法寺町、野田山町、地蔵町、原町、小野町、鳥居本町一部)
									電気 (停電)	450	戸	開出今町、中藪町
			平成 15 年 (2003 年)	5 月 31 日	台風 4 号	21.0	21.0	6.0	11.3	24.1	992.1	電気 (停電)
8 月 8 ～ 9 日	台風 10 号	70		39.5	14	14.5	31.4	979.7	電気 (停電)	150	戸	－
平成 16 年 (2004 年)	6 月 21 日	台風 6 号	－	26.5	11	16.2	36.4	981.0	非住家 その他	1	棟	古沢町
			道路	3	箇所	－						
			電気 (停電)	2030	戸	大東町、野瀬町、松原町、尾末町、金亀町、城町、高宮町、下岡部、小泉町 等						
			ビニール ハウス	70	棟	鳥居本町、松原町、甘呂町、石寺町、薩摩町、本庄町、服部町、金沢町、上岡部 他						
	8 月 30～ 31 日	台風 第 16 号	31.5	23.0	7.0	12.4	26.6	989.1	重傷	1	人	鳥居本町
									ビニール ハウス	2	棟	松原町、三津屋町
平成 17 年 (2005 年)	6 月 4 日	雹	14 時 3 分から 8 分にかけて、直径 1cm のひょうを観測	－	－	－	－	農作物 全般	753. 5	ha	高宮町、甘呂町、葛籠町、犬方町、金剛寺町、清崎町、千尋町、稲枝一帯	
								平成 18 年 (2006 年)	7 月 2 日	大雨	－	38.5
7 月 15～ 25 日	床下浸水	2	棟	新海町、大藪町								
	道路	1	箇所	馬場 1 丁目								
									法面崩壊	4	箇所	石寺町、野田山町、仏生寺町、日夏町

第 1 部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
平成 19 年 (2007 年)	7 月 12～15 日	大雨・台風 4 号	167.5	82	47.5	12.3	28.5	983.4	床下浸水	38	棟	西今町 4 棟、栄町 1 丁目 11 棟、立花町 1 棟、西沼波町 1 棟、平田町 12 棟、馬場 1 丁目 2 棟、芹川町 1 棟、開出今町 4 棟、高宮町 1 棟、京町 1 丁目 1 棟
									道路冠水	23	箇所	京町、栄町、平田町 他
									電気（停電）	10	戸	甘呂町付近
平成 20 年 (2008 年)	7 月 8～9 日	大雨	44.0	41.5	23.0	－	－	－	道路冠水	3	箇所	開出今町
	9 月 21～22 日	大雨	79.0	78.5	44.0	－	－	－	床下浸水	19	棟	栄町 1 丁目 13 件、中藪 1 丁目 2 件、城町 1 丁目 3 件、錦町 1 件
									道路冠水	4	箇所	栄町 1 丁目、中藪 1 丁目、開出今町、日夏町
平成 21 年 (2009 年)	10 月 5～8 日	台風 18 号	91.5	44.0	11.0	15.5	23.8	980.2	倒木	5	件	石寺町 2 件、本庄町 3 件
									土砂崩壊	1	箇所	野田山町
									文化財被害	2	箇所	特別史跡彦根城 1 箇所（石垣崩落）、太鼓門櫓（白壁崩落）1 箇所
平成 22 年 (2010 年)	7 月 11～16 日	前線による大雨	261.5	101.0	45.5	－	－	－	道路冠水	6	箇所	平田町、錦町、安清町、岡町、開出今町、日夏町
									床下浸水	3	棟	錦町、安清町、松原 2 丁目
									がけ崩れ	3	箇所	日夏町、野田山町、中山町
平成 23 年 (2011 年)	5 月 10～13 日	大雨	174.5	117.5	20.0	－	－	－	道路冠水	3	箇所	外町、開出今町、稲里町
									路肩崩落	4	箇所	仏生寺町 2 箇所、男鬼町 2 箇所
									公園冠水	1	箇所	金亀町
									土砂崩れ	3	箇所	野田山町、仏生寺町、稲里町
	7 月 18～21 日	台風 6 号	41.5	36.0	5.5	13.5	22.8	986.1	倒木	18	件	5 件（新海浜 1 丁目、開出今町、野口町、芹橋 1 丁目、中山町）、7 件（小野町、芹川町、金亀公園、蔵ノ町公園 A、庄堺公園、玄宮園・中堀）、6 件（芹川町、正法寺町、武奈町、男鬼町）
									土砂崩落	2	件	岡町 1 件、仏生寺町 1 件
平成 23 年 (2011 年)	9 月 1～5 日	台風 12 号	205.5	87.5	16.0	15.9	34	993.9	負傷者	3	人	重傷 2 人（甲良 1 件、高宮町 1 件）、軽傷 1 人（芹橋 2 丁目 1 件）
									停電	1,040	軒	高宮町、葛籠町、法士町、西葛籠町、犬方町
									倒木	10	件	中山町、後三条町、芹橋 2 丁目、竹ヶ鼻町、小野町、山之脇町、尾末町、開出今町、金亀町、鳥居本町
	9 月 19～22 日	台風 15 号	110.0	70.5	17.5	13.5	19.4	983.4	停電	70	軒	肥田町
道路冠水									2	箇所	稲里町、開出今町	
平成 24 年 (2012 年)	4 月 3 日	竜巻	23.5	23.5	13.0	15.4	24.1	983.9	建物被害	6	件	後三条町 1 件、薩摩町 1 件、金亀町 1 件、西今町 1 件、彦根市立病院（八坂町）2 件

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考								
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位									
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)												
平成 24 年 (2012 年) 〔 続 き 〕	9 月 29 日 ～10 月 1 日	台風 17 号	67.5	65.5	13.0	16.6	23.8	993.0	軽傷	1	人	岡町								
									倒木被害	1	件	三津屋町								
									軽微な建物被害	8	棟	雨漏りや外壁剥離（西沼波町 7 棟、鳥居本町（鳥居本地区公民館）1 棟）								
									倒木被害	4	件	小泉町 1 件、西今町 1 件、石寺町 1 件、金亀町 1 件								
									土砂崩落	1	件	仏生寺町								
									ビニールハウス	13	棟	本庄町、薩摩町、甲崎町（全壊 1 棟、一部損壊 1 棟、ビニール破損 11 棟）								
平成 25 年 (2013 年)	9 月 15～16 日	台風 18 号	159.5	102.5	22.0	16.6	24.4	985.1	軽傷	3	人	金亀町、野瀬町、								
									床下浸水	4	棟	鳥居本町								
									一部損壊	1	棟	古沢町								
									文化財被害	3	箇所	彦根城天守、西の丸三重櫓の漏水、鹿島家住宅の萱葺屋根のトタン一部損壊								
									道路冠水	4	箇所	仏生寺、甲田町、下岡部町、男鬼町								
									大雨特別警報が発表された											
	9 月 15～16 日	台風 18 号	159.5	102.5	22	16.6	24.4	985.1	公園冠水	3	箇所	金亀町、須越町、甘呂町								
									河川	4	箇所	本庄町 1 箇所、中山町 3 箇所								
									がけ崩れ	5	箇所	仏生寺町 2 箇所、日夏町 1 箇所、中山町 2 箇所								
									倒木被害	6	件	新海町、清崎町、芹橋 2 丁目、野口町、京町 2 丁目、下石寺町								
									ビニールハウス	33	棟	全壊（松原町 1 棟、本庄町 3 棟）、半壊（松原町、本庄町 2 棟）、一部破損（松原町 2 棟、石寺町 2 棟、薩摩町 8 棟、本庄町 8 棟、稲里町 2 棟、金沢町 1 棟、賀田山町 2 棟、海瀬町 1 棟）								
									農作地浸水	37.5	ha	須越町、日夏町、甘呂町、三津屋町、本庄町、田附町、甲崎町、普光寺町、石寺町他								
									10 月 15～16 日	台風 26 号	65.0	39.5	9.5	14.7	21.8	988.5	がけ崩れ	2	箇所	笹尾町
																	ビニールハウス	1	棟	松原町
平成 26 年 (2014 年)	8 月 8 ～ 10 日	台風 11 号	194.5	79.5	37.0	14.9	28.9	985.3	軽傷	1	人	中薮 2 丁目								
									一部損壊	2	棟	西沼波町 1 棟、大東町 1 棟								
									倒木	17	件	宇尾町、葛籠町、佐和町ほか市内一円								
									ブロック塀	1	件	原町								
									通行障害	4	件	笹尾町								
									ビニールハウス	1	件	松原町								
									梨園冠水	1	ha	石寺町								
									文化財被害	4	件	彦根城天秤櫓の漆喰壁剥落 2 箇所、西の丸前広場竹矢垣の倒壊、史跡内外の樹木倒木、大手門券売所案内板支柱折れて倒れる								

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
〔 続 き 〕	8月14～18日	大雨	139.5	57.5	49.0	－	－	－	床下浸水	6	棟	外町2棟、日夏町2棟、東沼波町、平田町
									林道通行止め	1	箇所	上岡部町（小規模土砂災害により）
									文化財被害	1	箇所	彦根城石垣崩れる
		8月23日	大雨	－	46.5	31.0	－	－	－	床下浸水	3	棟
平成27年 (2015 年)	7月16～18日	台風11号	96.0	45.0	13.0	13.8	24.7	998.0	倒木	1	箇所	千尋町
									文化財被害	3	箇所	彦根城内の倒木、金亀児童公園の樹木枝折れ、国指定重要文化財有川家住宅（壁崩落）
									林道	4	箇所	（滝谷武奈線）倒木1箇所、落石1箇所、法面崩落1箇所、看板破損1箇所
									ビニールハウス	1	棟	松原町（1棟倒壊）
									梨落果	2000～3000	個	石寺町
									一部損壊	8	箇所	中藪町、元町、開出今町2箇所、松原町2箇所、本町、森堂町
									公園	1	箇所	本町（元町公園）塀倒壊
	9月8～9日	台風18号	126	100.5	26.5	11.3	16.1	1000.8	文化財被害	3	箇所	金亀町 土砂崩れ（国特別史跡彦根城跡）、倒木2箇所（市指定史跡山崎山城跡の登山道）、壁落ち4箇所（重要文化財西の丸三重櫓
									河川	2	箇所	小野町（泉水谷川）石垣崩壊及び断面阻害
									林道	2	箇所	（滝谷武奈線）道路陥没及び倒木
									塀倒壊	1	箇所	栄町
平成28年 (2016 年)	9月20日	台風16号	131.5	65.0	17.5	13.7	18.3	998.8	一部損壊	1	箇所	鳥居本町（公民館）
									農業被害 陸上交通一時不通	161	箇所件	
平成29年 (2017 年)	1月23日～1月25日	大雪	66 cm 総降雪量	60 cm 最深積雪 (1/24)	－	－	－	－				
平成29年 (2017 年)	9月17日～18日	台風18号	6.5	5.0	4.0	13.4	24.6	981.0	倒木	1	箇所	市道通行止め
									一部破損	1	箇所	ソーラーパネルおよび屋根瓦
									梨園	2.7	ha	防鳥ネット破損
									ビニールハウス	4	棟	薩摩町3棟一部破損 甲崎町1棟全部破損
平成29年 (2017 年)	10月21日～23日	台風21号	228.5	200.0	26.5	19.6	30.3	978.4	文化財被害	4	箇所	・彦根城跡：倒木14本、板塀倒壊（木俣屋敷27.5㎡、旧滋賀大学弓道場90㎡） ・多聞櫓の外壁漆喰剥落 ・旧彦根藩松原下屋敷庭園：倒木1本 ・金亀会館：壁倒壊

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
									公共施設被害	9	箇所	・市営住宅 15 戸 ・学校：倒木 6 本、屋根破損 3 箇所、庇 1 箇所、フェンス 3 箇所、看板 2 箇所、壁面 2 箇所、太陽光パネル欠落 1 箇所 ・幼稚園等：倒木 6 本、フェンス 2 箇所、物置転倒 ・公園等：倒木 13 本 ・市民体育センター：倒木 1 本 ・啓発塔：看板剥離 1 塔 ・防犯灯：架線切断 1 箇所 ・野田沼周辺施設：冠水 1 箇所、倒木 7 本 ・農村下水道施設：電線断線 1 箇所、フェンス一部破損 1 箇所、倒木 1 本
									市道	23	件	・斜面崩落 3 件 ・倒木 9 件 ・倒木、架線断線、電柱倒壊 1 件 ・ごみ集積場転倒 2 件 ・カーブミラー損壊 3 件 ・冠水 1 件 ・路面洗掘 1 件 ・土砂堆積 1 件 ・舗装隆起 1 件
									農道	1	件	・倒木 1 件
									林道	11	箇所	・斜面崩落 1 件 ・倒木 3 件 ・滝谷武奈線 7 箇所（斜面崩落、路肩崩壊、倒木）
									河川	3	件	・護岸崩壊 3 件
									住家	8	件	・一部破損
									民間施設	1	箇所	・ガソリンスタンド：天井の一部および照明 3 台剥落
									ビニールハウス	208	棟	・全壊 23 棟 ・半壊 11 棟 ・一部破損 22 棟 ・ビニール破損 152 棟
									床上浸水	1	棟	・野田山町（集合住宅 4 戸）
									床下浸水	3	棟	・平田町 1 棟、鳥居本町 1 棟、宮田町 1 棟
平成 30 年 (2018 年)	6 月 29 日	大雨	64.5	64.5	33.5				文化財被害	1	箇所	・黒門山道山側法面崩壊
	7 月 5 日～7 月 8 日	平成 30 年 7 月 豪雨	279	177.5 (7/5) 観測史第 5 位	47.5 (7/5)				林道	2	箇所	・倒木 1 本（高根町） ・土砂崩れ（林道滝谷武奈線 笹尾町）
									崖崩れ	1	箇所	・荒神山神社駐車場
									文化財被害	2	箇所	・内堀沿い腰巻石垣崩壊 ・桜の木枝折れ 1 本
7 月	台風	29.5	27	10.5	12.7	23.7	989.8	市道	1	箇所	・倒木（立花町）	

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
	28 日 ～7 月 29 日	12 号							文化財被害	2	箇所	・冠木門かんぬきの金具破損（名勝旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園冠木門） ・冠木門の下部破損（博物館正門玄関横冠木門）
	8 月 23 日 ～8 月 24 日	台風 20 号	45	25.5	13	17.3	34	996.6	文化財被害	12	箇所	・漆喰壁剥落（彦根城天秤櫓・彦根城二の丸佐和口多聞櫓） ・倒木 6 本 ・歴史的建造物障子窓等のき損（1 枚）歴史的建造物の内壁の雨水侵入によるき損、歴史的建造物以外の建物の壁板の剥落（名勝玄楽々園） ・後補門扉の倒壊（名勝旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園）
									市営住宅	4	箇所	・窓ガラス破損、アンテナ破損、街路灯転倒、ベランダ間仕切り破損
									学校	11	箇所	・旭森小学校、佐和山小学校、城東小学校、鳥居本小学校、平田小学校、亀山小学校、稲枝西小学校、西中学校、中央中学校、南中学校、稲枝中学校
									公園	2	箇所	・倒木（金亀公園）
									彦根商工会議所	3	箇所	街灯破損、倉庫シャッター破損、駐車場案内板破損
									市立みはた児童遊園	1	箇所	・倒木 1 本
									公民館	2	箇所	・森地区公民館、東地区公民館
									天王山配水池	2	箇所	・有刺鉄線断裂
									農業集落排水施設	1	箇所	・地下室浸水害
									市道	17	箇所	・倒木 13 本、ごみ集積場転倒 1 件、カーブミラー損壊 2 件、標識損壊 1 件
									ビニールハウス	22	箇所	・全壊 1 棟、半壊 1 棟、ビニール剥がれ 15 棟、梨園の防虫ネット剥がれ 4 園、水稻倒伏被害（1 ha）（南三ツ谷町）

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
	9月3日～9月5日	台風21号	68.5	68	29	24.9 観測史上4位	46.2 観測史上1位	974.3	文化財被害	84	箇所	・漆喰壁剥落（彦根城天守、附櫓及び多聞櫓、彦根城天秤櫓、彦根城二の丸佐和口多聞櫓、市指定文化財旧彦根藩足輕組辻番所） ・倒木43本（表門山道、大手山道、鐘の丸便所横、特別史跡内40本以上） ・登録有形文化財旧石橋家住宅入口シャッター、塀倒壊 ・市指定文化財旧彦根藩足輕組辻番所の東面壁剥落 ・市指定文化財金亀会館の本堂入口木建具破損、書院東側建具破損 ・二の丸休憩所 鉄板葺屋根破損 ・木塀破損（旧職員会館旧弓道場、楽々園作業小屋） ・名勝玄宮楽々園内楽々園建造物の建具（9枚）、屋根一部破損 ・名勝玄宮楽々園内臨池閣（旧八景亭）の建具（14枚）、屋根一部破損 ・名勝旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園内建造物の建具（1枚）板壁破損 ・市指定文化財旧井伊神社社殿の覆屋の波板
									彦根城博物館	12	箇所	・博物館庭園入口木戸屋根瓦（5枚） ・庭園内梅木倒木1本 ・外庭園倒木1本および枝折れ（数本） ・屋外灯破損1灯 ・警備用赤外線センサー ・彦根城天守引き込み用電柱1本 ・彦根城表門券売所側土塀破損 ・彦根城表門山道側外周フェンス破損

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象 条件 等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大 日雨 量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最大瞬間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)				
									学校	20	箇所	・城北小学校、平田小学校、城南小学校、佐和山小学校、稲枝北小学校、金城小学校、稲枝東小学校、亀山小学校、城西小学校、若葉小学校、城東小学校、城陽小学校、河瀬小学校、高宮小学校、稲枝西小学校、鳥居本小学校、彦根中学校、南中学校、中央中学校、稲枝中学校
									公民館	8	箇所	・河瀬地区公民館、東地区公民館、南地区公民館、旭森地区公民館、鳥居本地区公民館、西地区公民館、中地区公民館、稲枝地区公民館
									公共施設 関係	47	箇所	・学校給食センター、荒神山自然の家、武道場、図書館、ひこね市文化プラザ、みずほ文化センター、ふれあいの館、市立旭森幼稚園、市立金城幼稚園、市立高宮幼稚園、市立城北幼稚園、彦根市発達支援センター、市立彦根幼稚園、市立稲枝東幼稚園、稲枝地区青少年健全育成塔、市立高宮児童遊園、市立みはた児童遊園、市立ふたば保育園、市立西保育園、市立東保育園、市立平田こども園、彦根市福祉センター別館、北デイサービスセンター、中老人福祉センター、彦根市障害者福祉センター、北老人福祉センター、清掃センター、中蔵倉庫、市営広野墓地、人権・福祉交流会館、猿ヶ瀬川河川計画用地、彦根市立病院、市庁舎・喫煙室、市庁舎耐震補強・増築・改修工事現場、中央町仮庁舎・車庫、旧 芹橋二丁目 1 部自治会集会所貸付地、市庁舎別館、高宮出張所、稲枝商工会館、夢京橋あかり館、農村環境改善センター、観光駐車場、松原水泳場管理事務所、湖岸緑地松原、佐和山城跡、俳遊館
									公園	8	箇所	・庄堺公園、千鳥ヶ丘公園

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
												園、金亀公園、新海浜公園、東山公園
									改良住宅	3	箇所	・西部団地、堀団地、地区内団地
									市営住宅	10	箇所	・開出今団地、西沼波住宅、肥田団地、中藪団地、堀団地、春日団地、里根団地、和田西団地、高宮竹之腰団地、稲枝西団地
									市道	89	箇所	・倒木 42 箇所 65 本 ・カープミラー 11 本 ・標識 2 基 ・塀倒壊 7 箇所 ・倉庫倒壊 4 庫 ・その他被害箇所 11 箇所
									農業集落排水施設	2	箇所	・下石寺地区処理場、両浜農村集落排水処理場
									梨園	3 万	個	・豊水の収穫量の約 2 割程度（約 3 万玉に相当する量）が落下被害 ・7～8 園で防虫ネット破
									ビニールハウス	258	棟	損被害 ・全壊（70%以上の破損）36 棟 ・半壊（30～70%の破損）37 棟 ・一部破損（30%未満の破損）13 棟 ・ビニールハウス破れ 172 棟
									倒木	34	箇所	・野田沼、神上沼、林道日夏山線、林道荒神山線、林道滝谷武奈線
									マンホールポンプ	5	箇所	・停電によるマンホールポンプの機能停止
									住家被害	35	件	・半壊 7 件 ・一部損壊 1 件 ・その他 27 件
	9 月 29 日～9 月 30 日	台風 24 号	62	31.5	8.5	16.8	29.8	972.3 観測史上第 7 位	市営住宅	1	棟	・屋根の破損
									学校	4	箇所	・平田小学校、高宮小学校、西中学校、彦根中学校
									公民館	4	箇所	・河瀬地区公民館、西地区公民館、鳥居本地区公民館、東地区公民館
									市道	6	箇所	・倒木 3 本 カープミラー 2 本 標識 1 基
									ビニールハウス	4	棟	・ビニールハウス破れ
									倒木等	4	箇所	・野田沼、林道日夏山線、林道荒神山線、稲村山農道

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
									農業集落排水施設	4	箇所	・新海地区処理場 服部地区処理場 下石寺地区処理場 下石寺地区No.1中継ポンプ場
									住家被害	1	件	・一部損壊
令和元年 (2019 年)	8月9日～8月16日	台風10号	74.5	44	15.5	13.7	26.2	987.8	人的被害	1	件	中軽症
									建物被害（公共施設）	2	件	図書館屋根剥離、福祉施設屋根瓦剥離
									その他被害	8	件	倒木5本、法面崩落、防鳥ネット破損、農作物被害
	10月7日～10月13日	台風19号	108	100	12	19.4	29.2	986.3	建物被害	5	件	公共施設：市民交流センター、大藪浄水場、河瀬駅前西口自転車駐車場 民間施設：エレベーター停止、フェンス倒壊
									その他被害	7	件	公共施設：福満公園 文化財：彦根城跡内石垣一部崩落 民間施設等：シート離脱、倒木3本、ビニールハウス破損
令和3年 (2021 年)	8月11日～8月20日	大雨	275	118.5	39.0	9.2	15.5	1003.6	床上浸水	1	棟	高宮町1棟
									床下浸水	9	棟	安食中町4棟、稲枝町2棟、服部町2棟、日夏町1棟
令和3年 (2021 年)～ 令和4年 (2022 年)	12月26日～1月1日	大雪	57cm （降雪の深さの日合計） 12/26 観測史上第1位	73cm （最深積雪） 12/27	—	—	—	—	人的被害	30	件	除雪作業後の体調不良、転倒による負傷者等
									建物被害（文化財関係）	6	件	彦根城域の停電・倒木・屋根破損等 お浜御殿、いろは松、旧魚屋町長屋、旧石橋家住宅、彦根城博物館のフェンス、屋根、街路灯、雨樋等の破損
									建物被害（公共施設）	38	件	小学校、中学校、幼稚園、保育所、こども園、公園、市営住宅、市立病院、稲枝地区体育館、松原湖岸水泳場管理事務所、大藪浄水場、障害者福祉センター、庄堺公園管理事務所、ひこね燦ばれず、野田沼、荒神山自然の家、西地区公民館のフェンス・屋根・瓦・樹木・雨樋等の破損多数
									その他			住家被害134件 非住家被害53件 パイプハウス等8件
									その他被害			道路・防犯灯2件
									市有設備等			公用車破損多数 救急車破損個所多数

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大 日雨 量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最大瞬間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)				
令和 6 年 (2024 年)	4 月 16 日 ～17 日	降雹 突風 雷	—	—	—	7.2	11.2	—	建物被害	1	件	天王山配水池の水位計交換機（落雷）
	7 月 15 日 ～7 月 17 日	大雨	156	116.5	40.5	8.5	14.6	—	文化財関係	3	件	倒木 1 件、枝折れ 1 件、特別史跡彦根城跡内米蔵水門石垣の崩壊
									建物被害	2	件	雨漏れ 2 件
									その他被害	2	件	倒木 1 件、法面崩壊
	8 月 30 日 ～31 日	台風 10 号	29.5	27.0	8.5	6.6	11.8	—	その他	1	件	倒木 2 本によるガードレール、NTT 柱破損
令和 7 年 (2025 年)	2 月 7 日～9 日	大雪	33cm (総降雪量)	27cm (最深積雪)	—	15.4	23.3	—	人的被害	9	件	除雪作業中の体調不良、転倒による負傷者等
									建物被害	3	件	雨どいの変形、換気扇、給湯器の不調
									その他被害	4	件	倒木によるガードレール損傷、除雪作業により仕切弁ボックスの鉄蓋が破損
	2 月 18 日 ～24 日	大雪	68 cm (総降雪量)	18.5 (最深積雪)	—	10.8	16.3	—	人的被害	2	件	軽トラックが側溝に転落（不搬送）、転倒による負傷
建物被害									1	件	幼稚園天井の雨漏り	
その他被害									2	件	倒木、管理用資機材の破損	

（注）基にした資料は次のとおりである。

- 『彦根市史 第2巻・第3巻・第4巻・第8巻・第9巻・第11巻』2008, 2009, 2015, 2003, 2005, 2012 彦根市史編集委員会
- 『彦根地域防災計画』2014 彦根市
- 『滋賀県災害誌 第1部～第5部』1966, 1979, 1990, 2000, 2011 滋賀県
- 『平成24年度 大雨・台風・雷・竜巻被害』2012 彦根市
- 『平成25年度 大雨・台風・雷・竜巻被害 No.1、2』2013 彦根市
- 『平成26年度 大雨・台風・雷・竜巻被害 No.1、2』2014 彦根市

(2) 地震

過去 1000 余年間で、滋賀県下に被害をもたらせた地震は、次のとおりである。

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
745 年 6 月 5 日 (天平 17 年)	美濃	岐阜県 西部 北緯 35.2 東経 136.6	7.9	震度 5 以上 岐阜県南部		余震は月を 越えて止ま ず。	家屋全壊多数。	—
976 年 7 月 22 日 (貞元元年)	山城・近江	京都府 南部 北緯 34.9 東経 135.8	6.7 以上	震度 6 滋賀県南部 京都府南部		余震あり。	死者 50 人以上、家屋 全壊多数。 京都で寺社の倒壊多 数。	近江の国府庁並びに雑屋 30 余棟転倒す。
1185 年 8 月 13 日 (文治元年)	近江・山城・大 和	滋賀県 中部 北緯 35.0 東経 135.8	7.4	震度 6 滋賀県南部 京都府南部		余震が 2 ヶ 月ほど続く。	死者多数、家屋全壊 多数。 京都で社寺の倒壊多 数。	近江の湖水大いに減じ、 傍近の田、陥落して深淵と なる。
1325 年 12 月 5 日 (正中 2 年)	近江北部	福井県 南部 北緯 35.6 東経 136.1	6.5 ± 1/4	震度 6 滋賀県北部 福井県南部		余震が年末 まで続く。	家屋全壊有。	琵琶湖北方に山崩れあ り。竹生島の一部が崩れ る。
1586 年 1 月 18 日 (正平 13 年)	畿内・東海・東 山・北陸	岐阜県 西部 北緯 35.6 東経 136.8	7.8 ± 0.1 (8.2 と する文 献もあ る)	震度 6 滋賀県中東部 岐阜県全域 愛知県西部 三重県北部 富山県西部		余震が翌年 まで続く。	推定死者 1,500 人 余、家屋全壊多数。	近江長浜で城・城下に被 害甚大。1,000 戸の人家の うち半分は顛覆し、半分は 出火で焼滅。
1596 年 9 月 5 日 (慶長元年)	『慶長伏見地 震』 京都および畿 内	兵庫県 南部 北緯 34.8 東経 135.4	7 1/2 ± 1/4	震度 6 京都府南部 大阪府 兵庫県東南部 和歌山県北部 徳島県東部		余震が翌年 春まで続く。	死者 1,500 人余、家 屋全壊多数。 伏見城の天守大破、 石垣崩れる。	栗田郡葉山村(現・栗東 市)でも死者多数、家屋全 壊多数。

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
1662年6月16日 (寛文2年)	『寛文地震』 山城・大和・河内・和泉・摂津・丹後・若狭・近江・美濃・伊勢・駿河・三河・信濃 【滋賀県下最大級の地震】	比良山の東麓 琵琶湖畔 北緯 35.3 東経 135.9	7 1/4 ～ 7.6	震度6～7 滋賀県中部			死者 883 人、家屋全壊 4,000～4,700 棟。	比良岳付近を中心に被害甚大。 佐和山(彦根):地震強く、大分破損、城ゆがみ、石垣5～600間崩れ、櫓土崩れ、家1,000軒余壊れ、或いは破損し、死人30人余りあり。 死者は大溝(現・高島市)で37人、榎村300人余、町居村260人余。 家屋全壊3,600棟以上。
1707年10月28日 (宝永4年)	『宝永地震』 五畿七道	北緯 33.2 東経 135.9	8.6	震度6 滋賀県全域 震度7 山梨県中部 静岡県南部 大阪府中部 高知県南部 愛知県南部		余震あり。	死者 5,000 人余、家屋全壊 6 万棟余、家屋流失 1 万 8,000 棟余。 津波が伊豆半島から九州に至る太平洋沿岸および大阪湾、播磨、伊予、周防に襲来。	死者 1 人、家屋全壊 80 棟。
1819年8月2日 (文政2年)	近江・伊勢・美濃	滋賀県中部 北緯 35.2 東経 136.3	7 1/4 ± 1/4	震度6 滋賀県中部 三重県北部		同日、揺れあり。	家屋全壊 310 棟。	近江八幡で家屋全壊 82 棟、半壊 160 棟、死者 5 人。 彦根城の石垣が損壊。甘呂(彦根の西)では 70 棟余り潰れる。 琵琶湖西北岸の大溝で被害甚大。
1830年8月19日 (天保元年)	『文政京都地震』 京都および隣国	京都府南部 北緯 35.1 東経 135.6	6.5 ± 0.2	震度5 滋賀県南西部 震度6 京都府南部		余震は非常に多かった。	死者 300 人。	大津で死者1人、負傷者2人、家屋全壊6棟。
1854年7月9日 (安政元年)	『伊賀上野地震』 伊賀・伊勢・大和および隣国	三重県西部 北緯 34.75 東経 136.1	7 1/4 ± 1/4	震度6 滋賀県南部 奈良県北部 三重県北西部 京都府南部		7月7日に前震が発生。 7月15日までは規模の大きな余震が多かった。	死者 1,352 人、家屋全壊 7,603 棟。	甲賀・野洲・蒲生で家屋全壊 264 棟、半壊 352 棟、山崩れ 80 箇所など。 膳所で死者 8 人、家屋全壊 96 棟。 水口で死者 9 人、家屋全壊 181 棟。
1854年12月23日 (安政元年)	『安政東海地震』 東海・東山・南海諸道	東海道沖 北緯 34.0 東経 137.8	8.4	震度5 滋賀県 震度7 静岡県南部 山梨県中部			死者 2,634 人、家屋全壊 5 万 5,173 棟、家屋焼失 1 万 4,496 棟、津波による家屋流失 1 万 8,485 棟、その他分類不能多数。	彦根で家屋全壊 140 棟、半壊 250 棟。

第 1 部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
1854 年 12 月 24 日 (安政元年)	『安政南海地震』 北陸・南海・畿内・東海・東山・山陰・山陽道	北緯 33.0 東経 135.0	8.4	震度 6 高知県南部 徳島県東南部 和歌山県南部				
1891 年 10 月 28 日 (明治 24 年)	『濃尾地震』 愛知県・岐阜県	岐阜県南西部 北緯 35.6 東経 136.6	8.0	震度 6 滋賀県東部 愛知県・岐阜県 静岡県西部 三重県北部 福井県南部		余震数は非常に多く、岐阜では 10 月中に 720 回にも達した。	死者 7,273 人、負傷者 17,175 人、全壊 14 万 2,177 棟、半壊 8 万 324 棟。 美濃国大野・本巣両郡に跨る根尾谷近傍の根尾谷断層で生じた。	死者 6 人、負傷者 47 人、家屋全壊 404 棟、半壊 776 棟、道路破裂 47 箇所、橋りょう損落 7 箇所、堤防崩壊 177 箇所、山崩れ 1 箇所 <u>彦根町 2 名、北青柳村 1 名の死者。</u> 犬上郡では負傷者 10 名、建物の全壊 101 棟、半壊 223 棟、一部破損 3302 棟にのぼった。 東海道線では米原・彦根間で貨物列車が脱線して不通となった。
1899 年 3 月 7 日 (明治 32 年)	『紀和地震』 奈良県・三重県	紀伊半島南東部 北緯 34.1 東経 136.1	7.0	震度 5 彦根			死者 7 人、負傷者 62 人、全壊 35 棟、半壊 40 棟。 奈良県吉野郡南部では山岳の崩壊、地面の亀裂などが甚だしかった。	滋賀県全域で家屋全壊 1 棟、半壊 2 棟、破損 149 棟。 犬上郡で全壊 1 棟、破損 53 棟 蒲生郡では、家屋半壊 2 棟、破損 25 棟。
1909 年 8 月 14 日 (明治 42 年)	『姉川地震』 滋賀県姉川付近	姉川流域 北緯 35.4 東経 136.3	6.8	震度 6 彦根 岐阜県西南部		8 月 18 日までに余震数は彦根において 88 回。	死者 41 人、負傷者 784 人、住家全壊 978 棟、半壊 2,444 棟	琵琶湖北岸付近を中心に被害。 死者 35 人、負傷者 643 人、住家全壊 972 棟、半壊 2,367 棟。 <u>彦根町で全壊 2 戸、半壊 2 戸。松原村で半壊 2 戸。</u>
1923 年 9 月 1 日 (大正 12 年)	『関東大震災』 関東地方	相模湾 北緯 35° 20' 東経 139° 08'	7.9	震度 4 彦根	23km	余震あり。	死者 9 万 9,3631 人、負傷者 10 万 3,733 人、行方不明者 4 万 3,476 人、家屋全壊 12 万 8,266 棟、半壊 12 万 6,233 棟、焼失 44 万 7,128 棟。	<u>彦根市内では人畜に死傷は無く、家屋にも大きな被害は無かったが、所々に古い壁が落ちたり、振り子時計が停止した。</u>

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
1927年3月7日 (昭和2年)	『北丹後地震』 京都北部	北丹後福田 川流域 北緯 35° 38′ 東経 134° 56′	7.3	震度4 彦根	18km		死者2,925人、負傷者多数、家屋全壊4,986棟、全焼2,019棟。	負傷者2人。 彦根地方:時計が止まる、電燈・電話線の切断、ガラスの破損、壁に亀裂が生じる。
1944年12月7日 (昭和19年)	『東南海地震』 東海道沖	紀伊半島南 東沖 北緯 33° 34′ 東経 136° 11′	7.9	震度5 彦根 震度6 静岡県南部 愛知県南部 三重県東部 岐阜県南部	40km		死者998人、負傷者3,059人、家屋全壊2万6,130棟、半壊4万6,950棟、流失3,059棟。 津波が伊豆半島から紀伊半島の間を襲った。	負傷者1人、家屋全壊13戸、半壊20戸
1946年12月21日 (昭和21年)	『南海地震』 南海道沖	潮岬沖 北緯 32° 56′ 東経 135° 51′	8.0	震度5 彦根 和歌山県 奈良県 三重県南部 大阪府南東部 高知県・徳島県 香川県・大分県	24km	21～31日の間に有感余震が183回あった	死者・行方不明者1,464人、負傷者3,3632人、家屋全壊1万392棟、半壊1万7,949棟、流失家屋2,109棟。 津波は房総半島から九州に至る沿岸を襲った。	彦根地方 死者2人、家屋全壊2戸、半壊3戸、納屋全壊1戸 大津地方 家屋全壊1戸 その他の地方 八幡町で民家破損1戸、蒲生郡苗村神社の門倒壊、速野村水保で住宅全壊1戸、死者1人、重傷者1人
1948年6月28日 (昭和23年)	『福井地震』 福井県	福井市 付近 北緯 36° 10′ 東経 136° 17′	7.1	震度4 彦根 震度6 福井県	0km		死者3,769人、負傷者2万2,203人、全壊3万6,184棟、半壊1万1,816棟、焼失3,851棟。	彦根地方:民家全壊1棟、石灯籠転倒。 近江八幡地方:時計が止まり、壁が落ち、ガラス戸の破損したところあり。
1952年7月18日 (昭和27年)	『吉野地震』 奈良県中部	奈良県 北部 北緯 34° 27′ 東経 135° 46′	6.7	震度5 彦根 奈良県北部	61km	余震は少なく4回のみ	死者9人、負傷者136人、家屋全壊20棟、半壊26棟。	死者1人、負傷者13人、住家全壊6棟、半壊6棟、一部損壊240棟。 八幡地方:八幡町の帝澤寺本堂倒壊、同町新町で石燈籠倒れ死亡者1人、重傷者1人、その他燈籠多数倒壊。
1994年5月28日 (平成6年)		滋賀県 北部 北緯 35° 19.6′ 東経 136° 16.7′	5.3	震度4 彦根市 三重県四日市市	44km			彦根市内:棚から皿が落ち幼児が顔に軽いけが。民家や商店の一部で陳列棚等から商品・箱等落下。

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
1995年1月17日 (平成7年)	『兵庫県南部地震』	淡路島 北部 北緯 34° 35.9′ 東経 135° 02.1′	7.2	震度5 彦根 京都府南部 震度7 兵庫県南部	16km	前震と思われる地震が3回。 余震(有感)は3月31日までに286回。	死者6,434人、負傷者4万3,792人、家屋全壊10万4,906棟、半壊14万4,274棟。	負傷者9人、家屋一部破損91棟。 負傷者2人。
2004年9月5日 (平成16年)	紀伊半島南東沖	三重県 南東沖 北緯 33° 08.3′ 東経 137° 08.5′	7.4	震度4 彦根 震度5弱 和歌山県南部 奈良県南部 三重県中部	44km	本震発生約5時間前にM7.1の前震あり 9月7日M6.5 9月8日M6.5の余震あり	負傷者36人。	負傷者1人。
2018年6月18日 (平成30年)	大阪府北部を震源とする地震	大阪府北部 北緯 34° 50.6′ 東経 135° 37.3′	6.1	震度4 彦根 震度6弱 大阪市北部	13km		死者6名 負傷者462人	負傷者3人

(注) 基にした資料は次のとおりである。
 ・『彦根市史 第3巻・第12巻』 2009, 2013 彦根市史編集委員会
 ・『彦根地域防災計画』 2014 彦根市
 ・『滋賀県災害誌 第1部～第5部』 1966, 1979, 1990, 2000, 2011 滋賀県
 ・『琵琶湖ハンドブック』 2008.3 滋賀県琵琶湖環境部
 ・『日本被害地震総覧 599-2012』 2013 宇佐美龍夫 東京大学出版会

6 災害履歴

(3) その他の災害

ア 雪害

大正 7 年(1918) 1 月 9 日 豪雪	月最深積雪 93cm	彦根～河瀬間で列車が運転不能となった。
昭和 59 年(1984) 1 月～3 月 豪雪	月最深積雪 73cm(2/10) 降雪の深さ日合計 43cm(2/7)	2 月 7 日路線バスが運休し、県・市で雪害対策本部・除雪対策本部が設置された。
平成 29 年 (2017) 1 月 豪雪	月最深積雪 60cm(1/24) 降雪の深さ日合計 37cm(1/14)	1 月 14 日に 770 軒の停電が発生した。 1 月 23 日～25 日の大雪では、転倒等により 11 人の負傷者が発生した。
令和 3 年 (2021) 12 月～1 月 豪雪	月最深積雪 73 cm (12/27) 降雪の深さ日合計 57 cm (12/26)	市災害警戒本部が設置された。 家屋被害・負傷者が発生した。

(参考) 降雪ランキング

	月最深積雪 (cm)	発生年月日
1 位	93	1918/1/9
2 位	85	1936/2/3
3 位	83	1917/2/3
4 位	80	1927/1/31
5 位	80	1922/1/21
6 位	78	1952/2/6
7 位	77	1940/2/9
8 位	73	2021/12/27
9 位	73	1984/2/10
10 位	71	1923/1/4

資料：彦根地方気象台（1893 年 10 月～2025 年 3 月）

(注) 月最深積雪（1893 年 10 月～2022 年 3 月）

降雪の深さ日合計（1953 年 1 月～2025 年 3 月）

イ 雹害

大正 15 年(1926) 9 月 14 日 降雹	直径 4～5cm(稲枝村) 範囲東西 57km 南北 7km 時間 1 時間 15 分程	愛知川河口から三重県境にかけて降雹があり、 農作物に大きな被害があった。
令和 6 年(2024) 4 月 16 日 降雹、雷、突風	稲枝地区の一部(雹) 市内の一部(雷、突風)	降雹および突風により、家屋、倉庫、カーポート等の屋根、窓、雨どいが一部破損した。 天王山配水池(上水道タンク)2, 3 号池の水位計交換機(落雷により誤作動)

ウ 市街地延焼火災

江戸時代には、焼失家屋 100 戸以上の大火が度々あったが、その後は明治 19 年の八坂村火災（焼失 40 戸）以降、大規模な延焼火災は起きていない。また、地震による火災の記録はない。